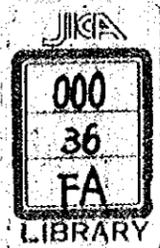


昭和57事業年度

収入支出予算明細書

国際協力事業団

昭和五十七事業年度 収入支出予算明細書



SC

JICA LIBRARY



1033720023

国際協力事業団	
積立金 7,848,331	000
総額 1,514,488	36
	LEA

目

一般勘定収入	3
(款) 交付金収入	5
(款) 出資金収入	5
(款) 雑収入	5
(款) 他勘定より受入	19
一般勘定支出	21
(款) 管理費	23
Ⅰ. 業務運営に必要な経費	23
1. 一般業務経費	23
(1) 人件費	23
(2) 管理経費	37
(3) 運営審議会経費	61
(4) 職員研修経費	62
2. 海外事務所に必要な経費	66
3. 国際協力計画実施調査及び効果測定経費	87
4. 情報管理に必要な経費	91
5. 電子計算機関係に必要な経費	97
6. 広報に必要な経費	103
7. 青年海外協力隊業務に必要な経費	108
(1) 協力隊事務局経費	108
(2) 駒ヶ根訓練所経費	113
Ⅱ. 事業運営に必要な経費	115
1. 研修員受入業務経費	115
2. 帰国研修員アフターケア業務経費	118

次

3. 専門家フォローアップ業務経費	120
4. 専門家派遣業務経費	121
5. 機材供与事業経費	123
6. 技術協力センター業務経費	125
7. 開発調査事業経費	128
8. 保健医療協力事業経費	131
9. 農林業協力事業経費	135
10. 産業開発業務経費	138
11. 開発協力事業経費	140
12. 開発投資事業経費	141
13. 無償協力業務経費	143
14. 特殊機材仕様書製作経費	145
15. 地域別・国別計画調査及び調整に必要な経費	147
Ⅲ. 附属機関及び国内支部に必要な経費	150
1. 附属機関に必要な経費	150
(1) 国際研修センター業務に必要な経費	150
(2) 海外移住センター業務経費	157
(3) 海外移住研修所業務経費	160
2. 国内支部に必要な経費	164
Ⅳ. 予備費	168
(款) 海外技術協力事業費	169
1. 研修員受入費	169
2. 専門家派遣費	182
3. 開発調査費	176
4. 技術協力センター費	242

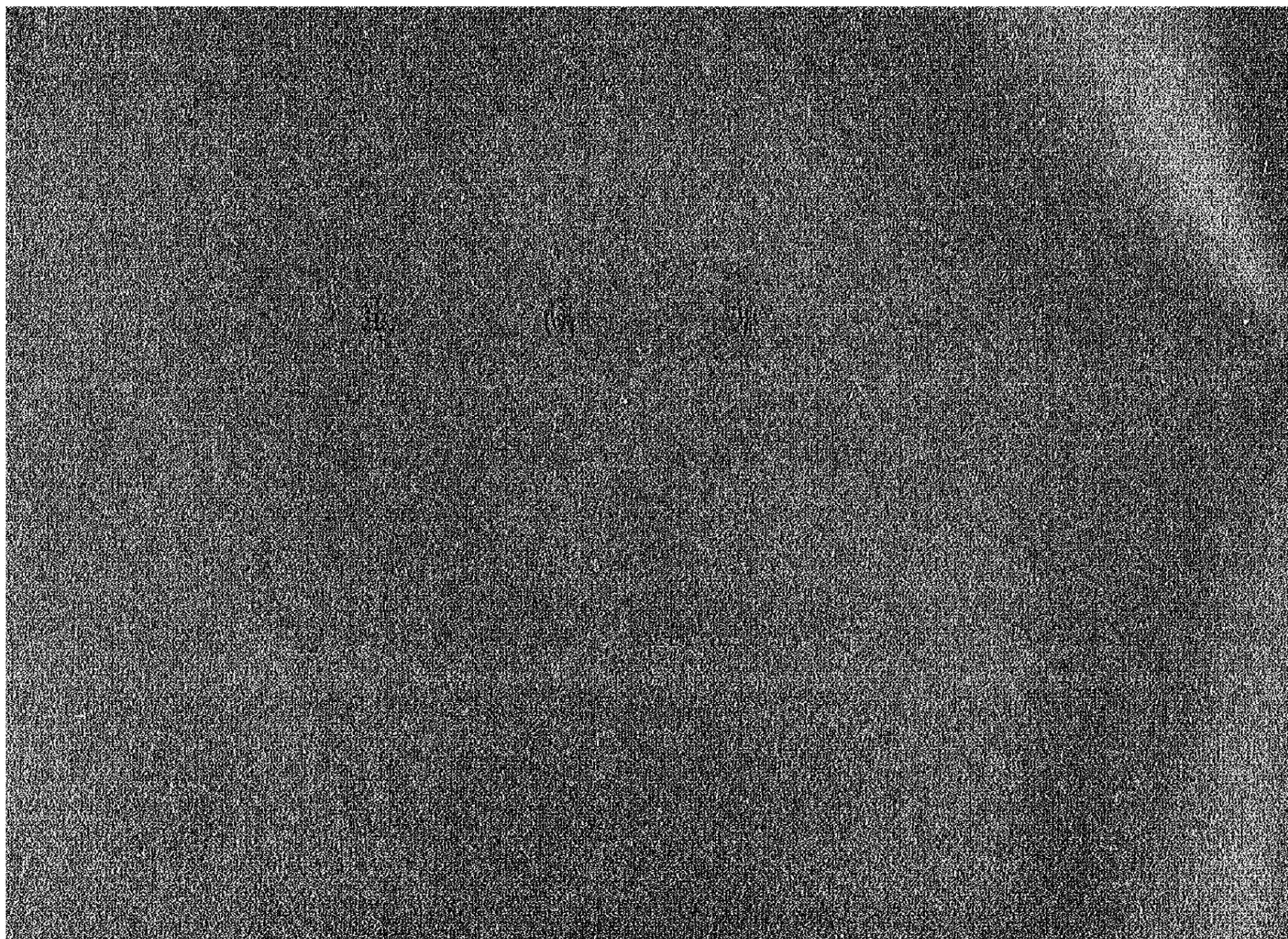
5. 機材供与費	267
6. 保健医療協力費	271
7. 人口家族計画協力費	296
8. 農林業協力費	310
9. 専門家等福利厚生費	337
10. 専門家養成確保費	341
11. 開発協力費	360
12. 産業開発協力費	379
13. 無償資金協力促進費	396
14. 青耳海外協力隊派遣費	403
(款) 海外移住事業費	434
1. 移住業務の調査統計に必要な経費	434
(1) 移住業務調査統計費	434
(2) 職業情報収集費	441
(3) 出資企業監督調査費	443
(4) 伯国移住対策調査費	444
2. 海外移住知識の普及および相談相談に必要な経費	446
3. 訓練講習に必要な経費	461
4. 移住者の送迎事業に必要な経費	487
5. 移住者の援助指導に必要な経費	498
(1) 営農普及費	499
(2) 医療衛生対策費	531
(3) 教育対策費	547
(4) 生活環境整備費	560
(5) 道路対策費	565
(6) 移住地電化対策費	567
(款) 出資金等施設整備費	568

国内研修施設勘定収入	575
国内研修施設勘定支出	529
開発投資勘定収入	603
開発投資勘定支出	607
入植地勘定収入	613
入植地勘定支出	621
移住投資勘定収入	639
移住投資勘定支出	643
受託等事業勘定収入	649
(款) 受託事業収入	651
(款) 直営事業収入	652
受託等事業勘定支出	655
(款) 海外開発計画調査事業費	655
(款) 東南アジア漁業開発センター事業費	668
(款) 直営事業費	672

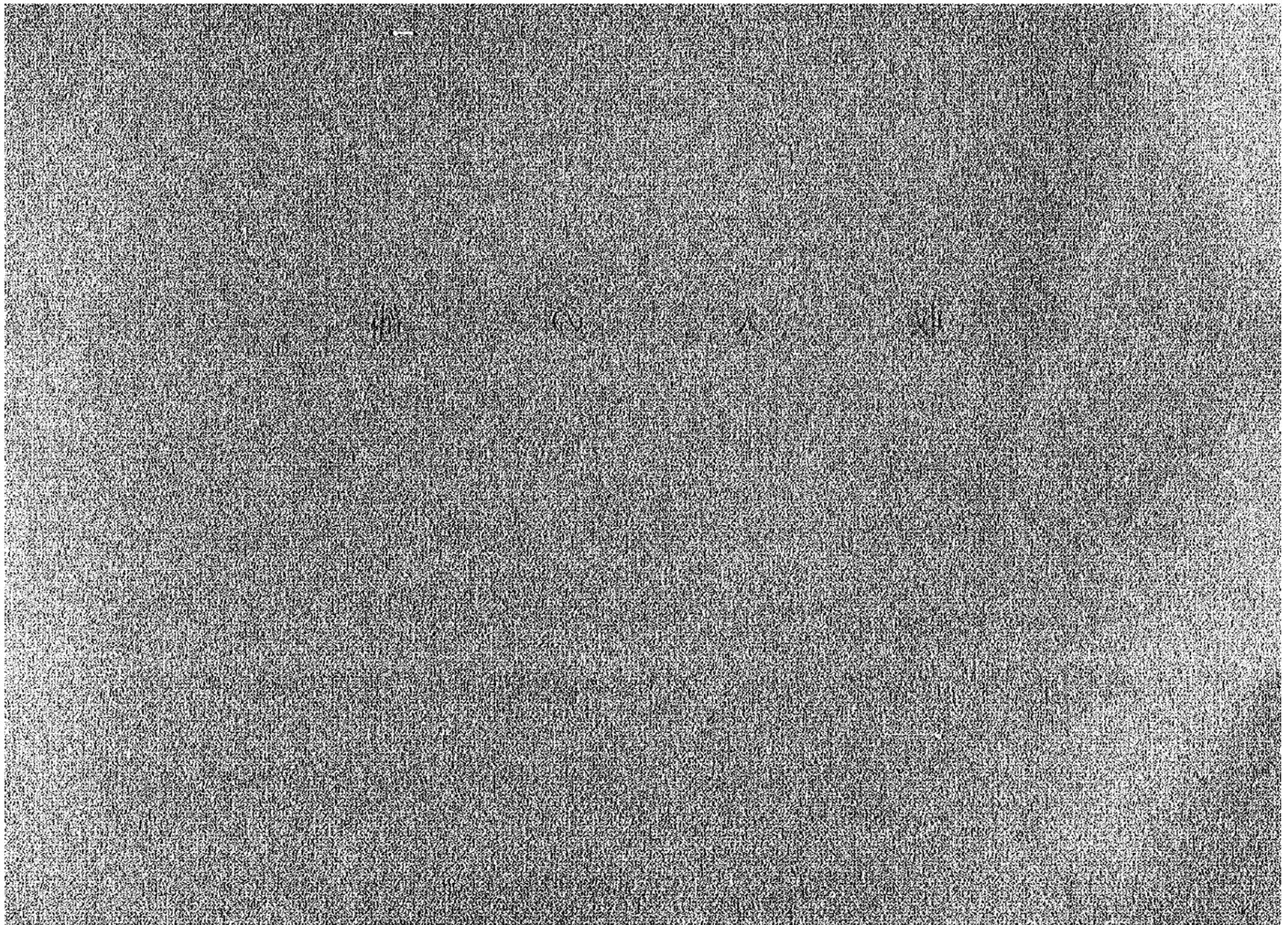
(参考)

1. 昭和57年度一般勘定外職員定員表	677
2. 昭和57年度自己収入見合等の収入支出予算	680

一 般 規 定



収 入 の 部



(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(款) 交付金収入	(60,637,724) 61,010,570	66,079,395	5,048,825	(注) 前年度予算額欄の上段()内額は、補正後の予算額である。なお、前年度比較額は当初予算額である。
(項) 管理費収入				
(目) 管理費収入	(10,086,133) 10,166,618	11,162,726	796,108	
(項) 海外技術協力事業費収入				
(目) 海外技術協力事業費収入	(48,763,713) 49,009,444	53,006,376	3,796,732	
(項) 海外移住事業費収入				
(目) 海外移住事業費収入	(1,788,078) 1,834,508	1,910,293	75,785	
(款) 出資金収入				
(項) 出資金収入				
(目) 出資金収入	(4,197,000) 4,260,000	5,068,000	808,000	
(款) 雑収入				
(項) 雑収入	(1,142,196) 1,142,196	1,080,663	△ 61,533	
(目) 利息収入	(502,177) 502,177	562,955	60,778	
(目) 前属先給与補てん収入	(197,025) 197,025	226,909	29,884	技術協力派遣職員給与 $\frac{(355,000)}{376,300 \text{ 人}} \times \frac{(555)}{603 \text{ 人}} = 226,909 (197,025)$

(単位: 十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比 増△減額	積算基礎																																																																							
(目)客賃収入	(72,110) 72,110	78,101	25,991	1. 職員宿舍収入 36,388,200円 × 1.16 = 42,212 (33,498)																																																																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>職員住宅</th> <th>積算基礎</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">〔東京〕</td> <td>新原町田グリーンハイツ</td> <td>@ 11,800円×12月×3戸</td> <td>424,800</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>@ 11,400円×12月×9戸</td> <td>1,231,200</td> </tr> <tr> <td>南海神田地</td> <td>@ 11,300円×12月×2戸</td> <td>271,200</td> </tr> <tr> <td>西八王子ハイツ</td> <td>@ 15,100円×12月×17戸</td> <td>3,080,400</td> </tr> <tr> <td>宮前平グリーンハイツ</td> <td>@ 10,800円×12月×4戸</td> <td>518,400</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>@ 11,200円×12月×6戸</td> <td>806,400</td> </tr> <tr> <td>練ヶ谷グリーンハイツ</td> <td>@ 10,500円×12月×10戸</td> <td>1,260,000</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>@ 8,300円×12月×10戸</td> <td>996,000</td> </tr> <tr> <td>京王北野マンション</td> <td>@ 14,600円×12月×2戸</td> <td>350,400</td> </tr> <tr> <td>指沢住宅</td> <td>@ 5,000円×12月×24戸</td> <td>1,440,000</td> </tr> <tr> <td>めじろ台ハイム</td> <td>@ 14,200円×12月×10戸</td> <td>1,704,000</td> </tr> <tr> <td>八王子セントラルマンション</td> <td>@ 14,600円×12月×12戸</td> <td>2,102,400</td> </tr> <tr> <td>八王子個人商売ハイム</td> <td>@ 24,900円×12月×1戸</td> <td>298,800</td> </tr> <tr> <td>町屋ハイム</td> <td>@ 12,800円×12月×12戸</td> <td>1,849,200</td> </tr> <tr> <td>宮前平ウインザーハイム</td> <td>@ 13,700円×12月×4戸</td> <td>657,600</td> </tr> <tr> <td>相模大野住宅</td> <td>@ 6,100円×12月×10戸</td> <td>732,000</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>@ 7,100円×12月×1戸</td> <td>85,200</td> </tr> <tr> <td>相岸住宅</td> <td>@ 8,700円×12月×12戸</td> <td>1,252,800</td> </tr> <tr> <td>相武台住宅</td> <td>@ 8,100円×12月×6戸</td> <td>583,200</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>@ 6,300円×12月×4戸</td> <td>302,400</td> </tr> <tr> <td>藤原町住宅</td> <td>@ 15,700円×12月×2戸</td> <td>376,800</td> </tr> <tr> <td>葛飾第2スカイハイツ</td> <td>@ 14,200円×12月×6戸</td> <td>1,022,400</td> </tr> </tbody> </table>	地区	職員住宅	積算基礎	金額	〔東京〕	新原町田グリーンハイツ	@ 11,800円×12月×3戸	424,800	〃	@ 11,400円×12月×9戸	1,231,200	南海神田地	@ 11,300円×12月×2戸	271,200	西八王子ハイツ	@ 15,100円×12月×17戸	3,080,400	宮前平グリーンハイツ	@ 10,800円×12月×4戸	518,400	〃	@ 11,200円×12月×6戸	806,400	練ヶ谷グリーンハイツ	@ 10,500円×12月×10戸	1,260,000	〃	@ 8,300円×12月×10戸	996,000	京王北野マンション	@ 14,600円×12月×2戸	350,400	指沢住宅	@ 5,000円×12月×24戸	1,440,000	めじろ台ハイム	@ 14,200円×12月×10戸	1,704,000	八王子セントラルマンション	@ 14,600円×12月×12戸	2,102,400	八王子個人商売ハイム	@ 24,900円×12月×1戸	298,800	町屋ハイム	@ 12,800円×12月×12戸	1,849,200	宮前平ウインザーハイム	@ 13,700円×12月×4戸	657,600	相模大野住宅	@ 6,100円×12月×10戸	732,000	〃	@ 7,100円×12月×1戸	85,200	相岸住宅	@ 8,700円×12月×12戸	1,252,800	相武台住宅	@ 8,100円×12月×6戸	583,200	〃	@ 6,300円×12月×4戸	302,400	藤原町住宅	@ 15,700円×12月×2戸	376,800	葛飾第2スカイハイツ	@ 14,200円×12月×6戸	1,022,400
地区	職員住宅	積算基礎	金額																																																																								
〔東京〕	新原町田グリーンハイツ	@ 11,800円×12月×3戸	424,800																																																																								
	〃	@ 11,400円×12月×9戸	1,231,200																																																																								
	南海神田地	@ 11,300円×12月×2戸	271,200																																																																								
	西八王子ハイツ	@ 15,100円×12月×17戸	3,080,400																																																																								
	宮前平グリーンハイツ	@ 10,800円×12月×4戸	518,400																																																																								
	〃	@ 11,200円×12月×6戸	806,400																																																																								
	練ヶ谷グリーンハイツ	@ 10,500円×12月×10戸	1,260,000																																																																								
	〃	@ 8,300円×12月×10戸	996,000																																																																								
	京王北野マンション	@ 14,600円×12月×2戸	350,400																																																																								
	指沢住宅	@ 5,000円×12月×24戸	1,440,000																																																																								
	めじろ台ハイム	@ 14,200円×12月×10戸	1,704,000																																																																								
	八王子セントラルマンション	@ 14,600円×12月×12戸	2,102,400																																																																								
	八王子個人商売ハイム	@ 24,900円×12月×1戸	298,800																																																																								
	町屋ハイム	@ 12,800円×12月×12戸	1,849,200																																																																								
	宮前平ウインザーハイム	@ 13,700円×12月×4戸	657,600																																																																								
	相模大野住宅	@ 6,100円×12月×10戸	732,000																																																																								
	〃	@ 7,100円×12月×1戸	85,200																																																																								
	相岸住宅	@ 8,700円×12月×12戸	1,252,800																																																																								
	相武台住宅	@ 8,100円×12月×6戸	583,200																																																																								
	〃	@ 6,300円×12月×4戸	302,400																																																																								
藤原町住宅	@ 15,700円×12月×2戸	376,800																																																																									
葛飾第2スカイハイツ	@ 14,200円×12月×6戸	1,022,400																																																																									

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎		
				地区	職員住宅	金額
					パイロットハウス東村山	@ 18,200円×12月×4戸 873,600
					ハイマート聖蹟桜ヶ丘	@ 16,800円×12月×4戸 806,400
					三軒茶屋スカイハイツ	@ 4,200円×12月×6戸 302,400
					高円寺レジデンス	@ 4,400円×12月×14戸 739,200
					小岩レジデンス	@ 4,400円×12月×20戸 1,056,000
					ハイネス立川	@ 4,300円×12月×2戸 103,200
					相武台住宅	@ 3,300円×12月×10戸 396,000
				(神奈川県)	神奈川センター住宅	@ 9,600円×12月×1戸 115,200
					横須賀ハイム	@ 12,200円×12月×1戸 146,400
						@ 18,700円×12月×1戸 224,400
					湘南長沢グリーンハイツ	@ 17,300円×12月×1戸 207,600
				(大阪)	前春日丘住宅	@ 8,200円×12月×4戸 427,200
					桃山台マンション	@ 13,300円×12月×3戸 478,800
					ルネ4聖丘	@ 15,800円×12月×6戸 1,137,600
					ピアン西宮	@ 13,000円×12月×1戸 156,000
					メゾン新大阪	@ 5,300円×12月×2戸 127,200
						@ 8,000円×12月×1戸 96,000
						@ 14,200円×12月×1戸 170,400
						@ 9,300円×12月×2戸 223,200
				(名古屋)	名古屋センター住宅	@ 9,000円×12月×1戸 108,000
					千種住宅	@ 10,700円×12月×1戸 128,400
					ハイツサンライズ	@ 16,600円×12月×1戸 199,200
					日蓮町住宅	@ 6,600円×12月×2戸 158,400
					平和ヶ丘サンハイツ	@ 25,000円×12月×1戸 300,000

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎		
				地 区	職 員 住 宅	積 算 基 礎 金 額
					名技新築街ハイツ	@ 17,000円×12月×1戸 204,000
					パールマンション金山	@ 16,000円×12月×1戸 192,000
					エスポア一社	@ 11,000円×12月×1戸 132,000
				(兵庫)	須磨一の谷グリーンハイツ	@ 10,500円×12月×2戸 252,000
					〃	@ 11,100円×12月×1戸 133,200
					甲南木山コーポ	@ 8,600円×12月×1戸 103,200
				(筑波)	筑波センター構外住宅	@ 11,000円×12月×12戸 1,584,000
					〃	@ 5,500円×12月×4戸 264,000
				(駒ヶ根)	駒ヶ根訓練所構外住宅	@ 10,500円×12月×2戸 252,000
					〃	@ 5,250円×12月×2戸 126,000
				(群馬)	海外移住研修所構外住宅	@ 7,700円×12月×5戸 462,000
				(横浜)	海外移住センター住宅	@ 4,900円×12月×2戸 117,600
				(札幌)	GSハイム中島公園	@ 13,800円×12月×1戸 156,600
				(仙台)	コーポ花環野村	@ 12,600円×12月×1戸 151,200
				(福岡)	スガイマンション高宮	@ 19,700円×12月×2戸 458,400
					エクスセルハイツ大濠公園	@ 18,400円×12月×1戸 220,800
				(沖縄)	ロイヤルマンション泉崎	@ 14,500円×12月×1戸 174,000
					(借上職員住宅)	
				(札幌)	大石千尋	@ 12,000円×12月×1戸 144,000

(單位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎			
				地区	借上職員姓名	積算基礎	金額
				(仙台)	長内次雄	@ 4,800円 × 12月 × 1戸	57,600
					小林吉次	@ 3,300円 × 12月 × 1戸	39,600
					澄子 実	@ 13,100円 × 12月 × 1戸	157,200
				(友島)	藤田年男	@ 2,700円 × 12月 × 1戸	80,400
					田辺忠雄	@ 6,400円 × 12月 × 1戸	76,800
				(高松)	斎藤法夫	@ 8,600円 × 12月 × 1戸	103,200
				(福岡)	石神幸雄	@ 8,700円 × 12月 × 1戸	104,400
					永山盛章	@ 8,100円 × 12月 × 1戸	97,200
					佐藤保雄	@ 11,900円 × 12月 × 1戸	142,800
				(熊本)	味野悦子	@ 4,200円 × 12月 × 1戸	50,400
				(横須賀)	高橋満行	@ 4,100円 × 12月 × 1戸	49,200
					米坂浩昭	@ 5,000円 × 12月 × 1戸	60,000
	佐々木克宏	@ 4,100円 × 12月 × 1戸	49,200				
(名古屋)	上月秀高	@ 8,200円 × 12月 × 1戸	98,400				
(駒ヶ根)	阿部憲子	@ 6,200円 × 12月 × 1戸	74,400				
				2. 厚生施設利用収入(伊東、那須、箱根保養所)			
				1. 伊東	800円 × 478人 =	382,400円	
				2. 那須	800円 × 536人 =	428,800円	
				3. 箱根	1,500円 × 1,000人 =	1,500,000円	
				4. 内原処分場施設		1,000円	
				計		2,312(602)	

(16)

(単位 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎						
					3. 派遣職員借上げ社受取入						
					53,598 (38,010)						
派遣地感	氏名	住居手 当の号	住居手当の月額限度額	契約家賃の月額			年間借上げ住宅使用料			積算基礎	契約期間
				現地通貨	円換	邦 貨	月数	円 換	邦 貨		
ジャカルタ	宮本	1	\$ 1,171 × 125% = \$ 1,463.75	\$ 1,350	1,350	309,150	12	14,052	3,218,000	\$ 1,171 × 12月	55. 9. 1 ~ 58. 8. 31
	後藤	2	\$ 962 × 125% = \$ 1,202.50	\$ 1,000	1,000	229,000	12	11,544	2,644,000	\$ 962 × 12月	56. 11. 11 ~ 59. 11. 10
	内田	3	\$ 836 × 125% = \$ 1,045	\$ 770	770	176,330	4	3,080	705,000	\$ 770 × 4月	54. 7. 27 ~ 57. 7. 26
	"	"	"	\$ 1,300	1,300	297,700	8	7,264	1,663,000	(\$ 836 + \$ 712) × 8月	57. 7. 27 ~ 60. 7. 26
	父野	3	\$ 836 × 125% = \$ 1,045	\$ 900	900	206,100	12	10,032	2,277,000	\$ 836 × 12月	55. 5. 14 ~ 58. 5. 13
	猪俣	4	\$ 711 × 125% = \$ 888.75	\$ 900	900	206,100	12	8,600	1,967,000	(\$ 711 + \$ 5.62) × 12月	56. 10. 10 ~ 59. 10. 9
	吉元	4	\$ 711 × 125% = \$ 888.75	\$ 950	950	217,550	12	8,900	2,038,000	(\$ 711 + \$ 30.62) × 12月	57. 2. 16 ~ 60. 2. 15
	杉原	4	\$ 711 × 125% = \$ 888.75	\$ 715	715	163,735	12	8,532	1,954,000	\$ 711 × 12月	55. 10. 4 ~ 58. 10. 3
タツカ	村越	1	\$ 904 × 125% = \$ 1,130	TK 12,500	680	155,720	12	8,160	1,867,000	\$ 680 × 12月	56. 8. 10 ~ 58. 8. 9
	海老名	3	\$ 646 × 125% = \$ 807.50	TK 9,400.64	511	117,019	5	2,555	585,000	\$ 511 × 5月	55. 7. 10 ~ 56. 9. 9
	"	"	"	TK 14,700	799	182,971	7	4,522	1,036,000	\$ 646 × 7月	56. 9. 10 ~ 57. 9. 9
	表	2	\$ 743 × 125% = \$ 928.75	TK 9,000	489	111,981	6	2,934	672,000	\$ 489 × 6月	56. 10. 1 ~ 57. 9. 30
ラングーン	"	"	"	TK 14,000	761	174,267	6	4,458	1,021,000	\$ 743 × 6月	57. 10. 1 ~ 59. 9. 30
	武田	2	\$ 570 × 125% = \$ 712.50	K 4,570	616	141,064	11	6,270	1,436,000	\$ 570 × 11月	57. 3. 28 ~ 58. 3. 27
	"	"	"	K 5,300	714	163,506	1	570	131,000	\$ 570 × 1月	58. 3. 28 ~ 59. 3. 27
	新現	3	\$ 496 × 125% = \$ 620	K 4,700	633	144,957	6	3,015	670,000	(\$ 496 + \$ 6.52) × 6月	57. 10 ~ 58. 10

(単位: 千円)

事項及び科目		前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算基礎						
派遣地域	氏名	住居手 当の号	住居手当の月額限度額	契約家賃の月額			年間増上げ住宅供料料		積算基礎	契約期間	
				現地通貨	円換	租 項	月数	円換			租 項
リアド	小森	3	$(\$4,140.22)$ $DM 9,776 \times 12.5\%$ $= DM 12,220 / \$ 5,174.22$	SRI 14,167	4,158	952,182	7	28,987	6,638,000	$\$ 4,140.22 \times 7$ 月	57.11.1 ~ 57.10.31
				SRI 18,000	5,283	1,209,807	5	20,972	4,803,000	$(\$ 4,140.22 + \$ 53.22) \times 5$ 月	57.11.1 ~ 60.10.31
グレサラム	谷川	2	$\$ 304 \times 12.5\% = \$ 380$	TSh. 7,500	786	179,594	12	4,748	1,087,000	$(\$ 304 + \$ 91.20) \times 12$ 月	56.7.1 ~ 57.6.30
	大西	2	$\$ 304 \times 12.5\% = \$ 380$	TSh. 6,000	629	144,041	12	4,748	1,087,000	$(\$ 304 + \$ 91.20) \times 12$ 月	57.4.1 ~ 59.3.31
	新現	3	$\$ 284 \times 12.5\% = \$ 330$	TSh. 6,000	629	144,041	6	2,071	474,000	$(\$ 284 + \$ 81.02) \times 6$ 月	57.10 ~ 59.10
ブラジリア	梅谷	2	$\$ 580 \times 12.5\% = \$ 725$	Ct# 67,401.20	645	147,705	7	4,060	930,000	$\$ 580 \times 7$ 月	56.10.23 ~ 57.10.23
	"	"	"	Ct# 137,000	1,310	299,990	5	3,209	735,000	$(\$ 580 + \$ 61.02) \times 5$ 月	57.10.23 ~ 58.10.23
	清水	3	$\$ 504 \times 12.5\% = \$ 630$	Ct# 67,770	648	148,392	8	4,104	940,000	$(\$ 504 + \$ 7.00) \times 8$ 月	56.11.21 ~ 57.11.20
コロンボ	57.3 赴任使者	2	$(\$ 673.22)$ $DM 1,571 \times 12.5\%$ $= DM 1,963.75 / \$ 842.42$	Re 16,350	723	165,567	12	8,087	1,852,000	$\$ 673.22 \times 12$ 月	57.3 ~ 58.3
	"	3	$(\$ 586.22)$ $DM 1,384 \times 12.5\%$ $= DM 1,730 / \$ 732.22$	Re 14,290	630	144,270	12	7,035	1,611,000	$\$ 586.22 \times 12$ 月	57.3 ~ 58.3
ブランタヤ	長倉	2	$\$ 363 \times 12.5\% = \$ 453.75$	MX 900	854	195,566	12	5,433	1,244,000	$(\$ 363 + \$ 89.22) \times 12$ 月	57.4.1 ~ 58.3.31
北京	57.3 赴任使者	2	$(\$ 1,682.02)$ $SFr. 3,393 \times 12.5\%$ $= SFr. 4,241.25 / \$ 2,111.36$	元 3,900	2,231	510,899	12	20,987	4,806,000	$(\$ 1,682.02 + \$ 52.22) \times 12$ 月	57.3 ~ 58.3
	新現	3	$(\$ 1,387.41)$ $SFr. 2,787 \times 12.5\%$ $= SFr. 3,483.75 / \$ 1,734.22$	元 3,200	1,831	419,299	6	8,615	1,973,000	$(\$ 1,387.41 + \$ 49.32) \times 6$ 月	57.10 ~ 58.10
イスマバド	新現	2	$\$ 560 \times 12.5\% = \$ 700$	PRe 6,900	698	159,842	6	4,188	959,000	$\$ 698 \times 6$ 月	57.10 ~ 58.10
合計	24名							233,964	53,578,000		

(12)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(目)施設利用収入	3,627	3,818	191	
				1. 宿泊料収入
				(1) 移住センター(横浜・沖縄)
				(450) 470円 × 650人 = 306 (293)
				(650) 680円 × 350人 = 238 (227)
				小計 544 (520)
				(2) 海外移住研修前
				(450) 470円 × 100人 = 47 (45)
				(650) 680円 × 100人 = 68 (65)
				小計 115 (110)
				計 (1) + (2) 659 (630)
				2. 宿泊者食費収入
				(1) 移住センター(横浜・沖縄)
				(1,110) 1,170円 × 1,000人 = 1,170 (1,110)
				(2) 海外移住研修前
				講師 (1,110) 1,170円 × 100人 = 117 (111)
				職員 (1,110) 1,170円 × 300日 × 5人 = 1,755 (1,665)
				外部 (1,110) 1,170円 × 100人 = 117 (111)
				小計 1,989 (1,887)
				計 (1) + (2) 3,159 (2,997)
				合計 3,818 (3,627)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(借) 海外移住研修預収入	(5,321) 5,321	5,531	210	1. 圃場(野菜, 果樹) 208 (198) 2. 温室(切花, 鉢物) 474 (470) 3. 畜産 (1) 肥育豚 $\frac{(43,000)}{45,150 \text{円}} \times 70 \text{頭} = 3,161 (3,010)$ (2) ブロイラー $\frac{(650)}{680 \text{円}} \times 500 \text{羽} = 340 (325)$ (3) 鶏卵 $20 \text{円} \times 23.5 \text{個} \times 240 \text{D} = 1,128 (1,128)$ (4) 肥育牛 $\frac{(190,000)}{199,500 \text{円}} \times 1 \text{頭} = 200 (190)$ 小計 (1) ~ (4) 4,829 (4,653) 合計 5,531 (5,321)
(用) 農場収入	(22,250) 22,250	24,658	2,408	1. 海外分 (1) パラグアイ農業総合試験場 本場 イ. 畜産売却収入 サンタヘルトルデイス(豚牛) $\frac{(58,060)}{60,960 \text{円}} \times 10 \text{頭} = 610 (581)$ サンタヘルトルデイス(育成牛) $\frac{(43,550)}{46,730 \text{円}} \times 20 \text{頭} = 915 (871)$ ネローレ種(育成牛) $\frac{(29,030)}{30,480 \text{円}} \times 10 \text{頭} = 305 (290)$ 小計 1,830 (1,742) 計 1,830 (1,742) (2) パラグアイ総合農業試験場 アルトパラナ分場 イ. 雑作物売却収入

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	前年度比増△減額	積算基礎
				大豆 $\frac{(60)}{63 \text{円}} \times 53,170 \text{kg} = 3,350 (3,190)$
				とうもろこし $\frac{(25)}{26 \text{円}} \times 25,540 \text{kg} = 664 (625)$
				小麦 $\frac{(60)}{63 \text{円}} \times 21,600 \text{kg} = 1,361 (1,296)$
				計 5,375 (5,111)
				(3) 又エバエスパンサ畜産試験場
				イ. 畜産売却収入
				雑牛(鹿牛) $\frac{(36,630)}{38,180 \text{円}} \times 40 \text{頭} = 1,527 (1,331)$
				パールドスイス(育成牛) $\frac{(22,230)}{23,340 \text{円}} \times 40 \text{頭} = 934 (445)$
				小計 2,461 (1,778)
				ロ. 薬品販売収入 $\frac{(130)}{140 \text{円}} \times 4,000 \text{頭} = 560 (520)$
				ハ. 往診料収入 $\frac{(180)}{190 \text{円}} \times 10 \text{件} \times 12 \text{月} = 23 (22)$
				計 3,044 (1,720)
				(4) サンタクルス支部. サンプアン試験農場
				イ. 畜産売却収入
				牛(鹿牛) $\frac{(36,630)}{38,180 \text{円}} \times 4 \text{頭} = 153 (147)$
				牛(育成牛) $\frac{(21,440)}{28,810 \text{円}} \times 9 \text{頭} = 259 (247)$
				小計 412 (394)
				ロ. 農産物売却収入

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				種子類 $\begin{matrix} (80) \\ 84円 \times 9,200kg \end{matrix} = 773(736)$
				大豆 $\begin{matrix} (80) \\ 84円 \times 11,000kg \end{matrix} = 924(880)$
				ホシカン $\begin{matrix} (15) \\ 16円 \times 14,200個 \end{matrix} = 227(213)$
				柑桶 $\begin{matrix} (10) \\ 11円 \times 10,000個 \end{matrix} = 110(100)$
				マンガ $5円 \times 10,000個 = 50(50)$
				マガミアナツ $\begin{matrix} (370) \\ 390円 \times 300kg \end{matrix} = 117(111)$
				果樹苗木 $\begin{matrix} (740) \\ 780円 \times 100本 \end{matrix} = 78(74)$
				小計 2,279(2,164)
				計 2,691(2,568)
				(5) アマゾン熱帯農業総合試験場
				(イ) 出取売却収入 $\begin{matrix} (450) & (17,000) \\ 470円 \times 17,200kg \end{matrix} = 8,084(7,650)$
				(ロ) 胡椒苗木売却収入 $\begin{matrix} (35) \\ 37円 \times 5,000本 \end{matrix} = 185(175)$
				(ハ) 畜産売却収入
				仔豚 $\begin{matrix} (2,030) \\ 2,380円 \times 11頭 \end{matrix} = 81(77)$
				鶏卵 $\begin{matrix} (20) \\ 21円 \times 12,000個 \end{matrix} = 252(240)$
				肉鶏 $\begin{matrix} (560) \\ 590円 \times 500羽 \times 1.5kg/羽 \end{matrix} = 443(420)$
				小計 776(737)
				(ニ) 土壌検査手数料収入
				$\begin{matrix} (1,380) & (263) \\ 1,450円 \times 2.53点 \end{matrix} = 367(363)$
				計 9,412(8,925)

(16)

(単位 千円)

申 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
				(6) アルゼンチン調査センター
				(4) 苗売却取入
				カーネーション苗 (20) (75,000) 21円 × 80,000本 = 1,680 (1,500)
				合 計 (1) ~ (6) 24,032 (21,624)
				2. 国 内 介
				筑波農業センター農場実習による収穫分換金収入
				米 200円 × 2,050kg = 410 (410)
				モ 菜 税 216 (216)
				合 計 626 (626)
				総 計 1 + 2 24,658 (22,250)
(甲) 医 療 収 入	(58,522) 58,522	40,942	△ 17,580	

支部及び診療所	区 介	数 量	単 価	金 額
			円	千円
(ベレン支部)				(19,282)
第2トマス診療所				0
(アスンシオン支部)				
アルトパラナ診療所				
	初 診 料	1,000 人	(320) 340	(320) 340
	再 診 料	3,000	(160) 170	(480) 510
	往 診 料	1,250	(630) 660	(788) 825
	処 置 料	5,000	(630) 660	(3,150) 3,300

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				
				支所及び診療所	区 介	数 量	単 価	金 額
							円 千円	
					注射料	3,500人	(320) 340	(1,120) 1,190
					入院料	1,200	(320) 340	(384) 408
					薬品代	12月	(412,210) 432,820	(4,947) 5,194
					雑収入			(2,431) 2,882
					計			(13,620) 14,649
				ワラム診療所	初診料	500人	(320) 340	(160) 170
					再診料	2,000	(160) 170	(320) 340
					往診料	500	(630) 660	(315) 330
					処置料	2,500	(630) 660	(1,575) 1,650
					注射料	2,000	(320) 340	(640) 680
					入院料	500	(320) 340	(160) 170
					薬品代	12月	(175,120) 183,880	(2,101) 2,207
					雑収入			(2,225) 2,319
					計			(7,498) 7,868
				イグアス診療所	初診料	500人	(320) 340	(160) 170

(単位 千円)

市 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	檢 査 基 礎				
				支部及び診療所	区 分	数 量	単 価	金 額
							円	4円
					再 診 料	1,200人	(160) 170	(192) 204
					往 診 料	500	(630) 660	(315) 330
					処 置 料	2,000	(630) 660	(1,260) 1,320
					注 射 料	1,500	(320) 340	(480) 510
					入 院 料	500	(320) 340	(160) 170
					薬 品 代	12月	(216,430) 227,250	(2,597) 2,727
					雑 収 入			(2,010) 1,575
					計			(7,174) 6,986
				(サンタクルズ支部)				
				サンフアン診療所	初 診 料	1,200人	(880) 920	(1,056) 1,104
					再 診 料	1,500	(220) 230	(330) 345
					往 診 料	500	(2,200) 2,310	(1,100) 1,155
					処 置 料	1,500	(730) 770	(1,095) 1,155
					注 射 料	2,500	(220) 230	(550) 575
					入 院 料	1,200	(330) 350	(396) 420
					薬 品 代	12月	(503,720) 528,910	(6,045) 6,347

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	令和5年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎					
				支部及び診療所	区	介	数量	単価	金額
								千円	千円
									(378)
									340
									(10,950)
									11,441
									(58,522)
									40,942
(H) 不動産売却収入	(170,000) 170,000	0	△ 170,000						
(H) 有償技術協力事業収入	(86,800) 86,800	91,600	4,800	有償専門参事連絡費	交付金負担金	相手側負担分			
				242,383千円	—	150,783千円	=	91,600千円	
(H) 雑収入	(24,364) 24,364	26,149	1,785	産別保険料預り金	4,754,290千円 × $\frac{5.5}{1,000}$	=	26,149千円		
(款) 他物受より受入									
(項) 他勘定より受入									
(B) 他勘定より受入	(184,902) 184,902	144,432	△ 40,470						

Date	Particulars	Debit	Credit
1998	To Balance b/d	1000	
1999	By Balance b/d		1000
2000	To Balance b/d	1000	
2001	By Balance b/d		1000
2002	To Balance b/d	1000	
2003	By Balance b/d		1000
2004	To Balance b/d	1000	
2005	By Balance b/d		1000
2006	To Balance b/d	1000	
2007	By Balance b/d		1000
2008	To Balance b/d	1000	
2009	By Balance b/d		1000
2010	To Balance b/d	1000	
2011	By Balance b/d		1000
2012	To Balance b/d	1000	
2013	By Balance b/d		1000
2014	To Balance b/d	1000	
2015	By Balance b/d		1000
2016	To Balance b/d	1000	
2017	By Balance b/d		1000

支 出 總 額

(单位 千円)

市 項 及 目 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
(款) 管 理 費	(10,882,435) 10,962,920	12,077,468	1,114,546	
I. 業務運営に必要経費	(9,544,048) 9,597,280	10,377,374	980,974	
1. 一般業務経費	(8,087,067) 8,106,016	8,660,043	554,027	
(1) 人 件 費	(6,823,333) 6,823,333	7,266,354	443,021	
(1) 既定定員分	(6,823,333) 6,823,333	7,202,286	378,953	
(項) 役員給与	(6,481,400) 6,481,400	6,829,503	348,103	
(目) 役員給与	(229,772) 229,772	220,005	△ 9,767	(1) 役員俸給 総 裁 1,041,000円 × 1人 × 12月 = 12,492 (12,492) 副 総 裁 856,000円 × 2人 × 12月 = 20,520 (20,520) 理 事 716,000円 × 11人 × 12月 = 94,380 (94,380) 監 事 626,000円 × 2人 × 12月 = 15,000 (15,000) (増減分) (777,330円 × 1人 × 1月) + (777,330円 × 1人 × 8月) = △ 7,176 (0) 計 145,886 (153,062) (2) 特別調整手当 11,866千円 × 0.08 × 12月 = 12,245 (12,245) (増減分) (777,330円 × 0.08 × 1人 × 1月) + (777,330円 × 0.08 × 1人 × 8月) = △ 575 (0) 計 11,670 (12,245) (3) 特別手当 11,866千円 × 1.08 × 3.8月 = 48,702 (48,702) 割増分 11,866千円 × 0.25 × 3.8月 = 11,274 (11,274) (増減分) (777,330円 × 1.33 × 0.5月) + (777,330円 × 1.33 × 1.4月) = △ 2,016 (0) 計 62,449 (64,465) 合 計 220,005 (229,772)

(24)

(單位 千円)

事項及「仮」科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
(甲) 職員基本給	(3,014,866) 3,014,866	3,167,750	152,884	(1) 職員俸給 (イ) 一般 $(259,361) \times 276,822 \text{円} \times 798 \text{人} \times 12 \text{月} = 2,650,848 (2,468,137)$ (ロ) 派遣職員 $(259,361) \times 276,822 \text{円} \times \frac{80}{100} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} = 183,367 (209,149)$ (ハ) 現採職員 伯 國 $(205,302) \times 219,465 \text{円} \times (48-9) \text{人} \times 12 \text{月} = 102,709 (118,254)$ その他 $(204,287) \times 218,380 \text{円} \times 119 \text{人} \times 12 \text{月} = 128,408 (120,121)$ 小 計 231,117 (238,375) 計 (イ) ~ (ハ) 3,065,332 (2,915,661)
				(2) 扶養手当 (イ) 一般 $(9,418) \times 9,844 \text{円} \times 798 \text{人} \times 12 \text{月} = 94,267 (89,712)$ (ロ) 派遣職員 $(9,418) \times 9,844 \text{円} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} = 8,151 (9,493)$ 計 (イ) ~ (ロ) 102,418 (99,205) 合 計 (1) ~ (2) 3,167,750 (3,014,866)
(甲) 職員諸手当	(2,389,375) 2,389,375	2,527,800	140,425	(1) 管理職手当 (イ) 一般 $(9,964) \times 10,595 \text{円} \times 798 \text{人} \times 12 \text{月} = 101,458 (95,776)$ (ロ) 派遣職員 $(9,964) \times 10,595 \text{円} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} = 8,772 (10,044)$ 計 (イ) ~ (ロ) 110,230 (105,820)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	概算基礎
				(2) 通勤手当 $\frac{8,730}{7,650} \times 798 \text{人} \times 1.2 \text{月} = 83,599 (75,601)$
				(3) 宿日直手当 (海外移住センター2人, 海外移住研修所1人, 沖縄支部1人, 船力隊4人) (イ) 宿日直 $2,400 \text{円} \times 8 \text{人} \times 52 \text{日} = 999 (999)$ (ロ) 宿直 $1,600 \text{円} \times 8 \text{人} \times 313 \text{日} = 4,007 (4,007)$ (ハ) 日直 $1,600 \text{円} \times 8 \text{人} \times 68 \text{日} = 857 (857)$ 計 (イ) ~ (ハ) $5,863 (5,863)$
				(4) 特別手当 (イ) 一般 職員俸給 扶養手当 $\frac{1,0165}{12}$ $(2,650,848 \text{円} + 94,267 \text{円}) \times 1,0253 \times \frac{4.9}{12} = 1,149,282 (1,064,166)$ 割増介 職員俸給 $\frac{0.011}{12}$ $2,650,848 \text{円} \times 0.0121 = 32,075 (27,150)$ 小計 $1,181,357 (1,091,316)$
				(ロ) 派遣職員 職員俸給 扶養手当 $\frac{4.9}{12}$ $(189,367 \text{円} + 8,151 \text{円}) \times \frac{4.9}{12} = 78,204 (85,403)$
				(ハ) 現採職員 伯岡 職員俸給 $\frac{1.5}{12}$ $1,027,094 \text{円} \times \frac{1.5}{12} = 12,839 (14,782)$ その他 職員俸給 $\frac{1}{12}$ $128,408 \text{円} \times \frac{1}{12} = 10,701 (10,010)$ 小計 $23,540 (24,792)$ 計 (イ) ~ (ハ) $1,283,101 (1,201,511)$
				(5) 寒冷地手当

(26)

(單位: 千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和52年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算基礎
				(1) 一般寒冷地手当
				職員俸給率 扶養手当率 3級地 $(276,822円 + 9,844円) \times \frac{30}{100} \times 10人 = 860 (806)$
				職員俸給率 扶養手当率 2級地 $(276,822円 + 9,844円) \times \frac{23}{100} \times 8人 = 527 (495)$
				職員俸給率 扶養手当率 1級地 $(276,822円 + 9,844円) \times \frac{17}{100} \times 15人 = 747 (694)$
				(1) 定額部分
				3級地 63,100円 × 10人 = 631 (631)
				2級地 49,100円 × 8人 = 393 (393)
				1級地 36,100円 × 15人 = 542 (542)
				(2) 北海道分
				81,600円 × 6人 = 313 (313)
				(3) 3級地及び2級地(除く北海道)
				3級地 26,100円 × 4人 = 68 (68)
				2級地 13,000円 × 8人 = 67 (67)
				計 (1) ~ (3) 4,348 (4,209)
				(6) 住居手当
				(2,900) 2,980円 × 798人 × 12月 = 28,537 (27,597)
				(7) 特別都市手当
				一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 (0.0165) (2,650,848円 + 94,267円 + 101,458円) × 0.0253 = 72,019 (44,098)
				(8) 住勤基本手当
				(1) 60人 306,466,666円 × 60人 × 12月 = 220,656 (195,338)
				(2) 69人 263,353,112円 × (84-15)人 × 12月 = 218,056 (245,219)
				計 (1) ~ (2) 438,712 (440,557)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	前年度比増△減額	積算基礎
				(9) 配偶者手当 (イ) 60人 $306,466.666 \text{円} \times \frac{40}{100} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} = 88,263 (78,136)$ (ロ) 69人 $263,353.174 \text{円} \times \frac{40}{100} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{87}{100} = 75,884 (85,337)$ 計 (イ) ~ (ロ) 164,147 (163,473)
				(10) 在外住居手当 (イ) 60人 $SF 5,947.831 \times 114 \text{円} \times \frac{50}{100} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} = 244,099 (216,054)$ (ロ) 69人 $US\$ 475.316 \times 229 \text{円} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{70}{100} = 63,088 (70,947)$ 計 (イ) ~ (ロ) 307,187 (287,001)
				(11) 子女教育手当 (イ) 60人 $24,512 \text{円} \times 60 \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{1}{3} = 5,883 (4,808)$ (ロ) 69人 $22,130 \text{円} \times (84-15) \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{42}{100} = 7,696 (8,656)$ 計 (イ) ~ (ロ) 13,579 (13,464)
				(12) 租税負担金 (伯国及びサント・ドミンゴ支部職員所得税) $364,724 \text{円} \times \frac{38 \text{人} \times 12 \text{月}}{84 \text{人} \times 12 \text{月}} \times 11.2\% = 18,478 (20,781)$ 合計 (1) ~ (12) 2,527,800 (2,389,375)
(甲) 超過勤務手当	(232,717) 232,717	249,655	16,938	一般職員単給単価 特別都市手当単価 $\frac{246,822 \text{円} + 7,521 \text{円}}{52 \times 44} \times 12 \text{月} \times 1.25 = 1,864.136 \text{円}$ $(1,730.51)$ (イ) $1,864.136 \text{円} \times (538+3) \text{人} \times 12 \text{月} \times 15 \text{H} = 181,530 (167,898)$ $(1,730.51)$ $1,864.136 \text{円} \times 56 \text{人} \times 12 \text{月} \times 10 \text{H} = 12,527 (11,629)$ $(1,730.51)$ $1,864.136 \text{円} \times (6,000 \text{H} + 5,000 \text{H} + 5,000 \text{H} + 4,000 \text{H}) = 37,283 (34,610)$ 計 231,340 (214,137)

(28)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増減額	積算 基 礎
				(iii) 現採職員
				宿 衛 $\frac{2,174,652,277円 \times 12月 \times 1.25}{52 \times 44} = 1,438,822円$
				(1,345.94) $1,438,822円 \times (48 - 9)人 \times 10H \times 12月 = 6,734(7,942)$
				(1,345.94) $1,438,822円 \times 2,200H \times \frac{39人}{88人} = 1,615(1,275)$
				計 8,349(9,217)
				その他 $\frac{218,380,252円 \times 12月 \times 1.25}{52 \times 44} = 1,431,623円$
				(1,339.22) $1,431,623円 \times 49人 \times 10H \times 12月 = 8,419(7,875)$
				(1,339.22) $1,431,623円 \times 2,200H \times \frac{49}{88人} = 1,547(1,488)$
				計 9,966(9,363)
				合 計 (i) ~ (ii) 249,655(232,717)
(ii) 休職者給与	(9,959) 9,959	10,746	787	俸 給 $\frac{(259,361)}{276,822円} \times \frac{80}{100} \times 4人 \times 12月 = 10,746(9,959)$
(iii) 法定福利費	(601,380) 601,380	648,358	46,978	(i) 健康保険料 ① 役員分 $(4704円 \times 14人 \times 12月 \times \frac{4.2}{1,000}) + (4704円 \times 1人 \times 11月 \times \frac{4.2}{1,000}) + (4704円 \times 1人 \times 4月 \times \frac{4.2}{1,000}) = 3,612(3,385)$
				(ii) 一般分 一般職員俸給 派遣職員俸給 共済手当 管理職手当 通勤手当 (2,650,848円 + 189,367円 + 102,418円 + 110,230円 + 83,599円) 宿日直手当 社居手当 特別給付手当 左勤基本手当 配偶者手当 + 5,863円 + 28,537円 + 72,019円 + 438,712円 + 164,147円 子女教育手当 超過勤務手当 + 13,579円 + 231,340円 $\times \frac{11.2}{1,000} = 171,556(155,616)$
				計 (i) ~ (ii) 116,168(159,451)

(单位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
				<p>(2) 厚生年金保険料</p> <p>(イ) 役員分 $(420千円 \times 14人 \times 12月 \times \frac{37}{1,000}) + (420千円 \times 1人 \times 11月 \times \frac{37}{1,000}) + (420千円 \times 1人 \times 4月 \times \frac{37}{1,000}) = 2,775 (2,913)$</p> <p>(ロ) 一般分</p> <p>一般職員俸給 派遣職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(2,650,848千円 + 183,367千円 + 102,418千円 + 110,230千円 + 83,599千円$ 宿日直手当 住居手当 特別都府手当 超過勤務手当 $+ 5,863千円 + 28,537千円 + 72,019千円 + 231,340千円)$</p> <p>$\times \frac{37}{1,000} = 128,325 (120,193)$</p> <p>計 (イ) ~ (ロ) 131,100 (123,106)</p> <p>(3) 厚生年金基金</p> <p>(イ) 役員分 $(420千円 \times 14人 \times 12月 \times \frac{39.5}{1,000}) + (420千円 \times 1人 \times 11月 \times \frac{39.5}{1,000}) + (420千円 \times 1人 \times 4月 \times \frac{39.5}{1,000}) = 3,039 (2,913)$</p> <p>(ロ) 一般分</p> <p>一般職員俸給 派遣職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(2,650,848千円 + 183,367千円 + 102,418千円 + 110,230千円 + 83,599千円$ 宿日直手当 住居手当 特別都府手当 超過勤務手当 $+ 5,863千円 + 28,537千円 + 72,019千円 + 231,340千円)$</p> <p>$\times \frac{39.4}{1,000} = 136,669 (120,193)$</p> <p>計 (イ) ~ (ロ) 139,708 (123,106)</p> <p>(4) 雇用保険料</p> <p>(イ) 一般職員俸給 派遣職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 $(2,650,848千円 + 183,367千円 + 102,418千円 + 110,230千円 + 83,599千円$ 宿日直手当 一般職員特別手当 派遣職員特別手当 寒冷地手当 住居手当 $+ 5,863千円 + 1,181,357千円 + 78,204千円 + 4,348千円 + 28,537千円$ 特別都府手当 超過勤務手当 $+ 72,019千円 + 231,340千円) \times \frac{9}{1,000} = 41,886 (37,656)$</p>

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
				(甲) 雑収入見合分 $4,732,130円 \times \frac{5.5}{1,000} = 26,027(24,364)$
				計 (イ) ~ (甲) 67,913(62,020)
				(5) 労働災害保険料
				(イ) 国内分
				一般職員俸給 扶養手当 管理職手当 通勤手当 宿日直手当 (2,650,848円 + 183,367円 + 102,418円 + 83,599円 + 5,863円)
				一般職員特別手当 寒冷地手当 住房手当 特別給付手当 煙退勤手当 (1,181,357円 + 4,348円 + 28,537円 + 72,019円 + 231,340円)
				$\times \frac{5}{1,000} = 22,269(20,678)$
				(ロ) 海外分
				$2,555,000円 \times \frac{11}{1,000} \times \frac{(140)}{129人} = 4,047(3,949)$
				計 (イ) ~ (ロ) 26,316(24,627)
				(6) 共済組合負担金
				$(382,816) \times \frac{(71.5)}{(1,000)} \times \frac{66,625}{1,000} \times 12月 = 32,173(31,140)$
				(7) 派遣職員共済給付制度負担金
				$306,466 \times \frac{66}{100} \times \frac{140}{100} \times 60人 \times 12月 \times \frac{12}{1,000} = 3,707(3,298)$
				(8) 派遣職員福利厚生基金納付金
				派遣職員俸給 (209,149) $183,367円 \times \frac{35}{1,000} = 6,417(7,320)$
				(9) 公務災害補償費
				(イ) $5,000円 \times 60人 \times 12月 = 3,600(3,314)$
				(ロ) 派遣職員俸給 同左の25% $(183,367円 + 45,842円) \times \frac{1.5}{1,000} = 344(392)$

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和56年度予算額	対前年度比較増△減額	算出式
				<p>(ハ) 伯国現採職員分</p> <p>職員俸給 特別手当 超過勤務手当 $(102,709千円 + 12,839千円 + 8,349千円) \times \frac{1.38}{100} = 1,710 (1,963)$</p> <p>(ニ) その他現採職員分</p> <p>職員俸給 $128,408千円 \times \frac{1.5}{1,000} = 193 (180)$</p> <p>計 (イ) ~ (ニ) 5,847 (5,849)</p> <p>(ロ) 海外福利費</p> <p>(イ) 伯国派遣職員社会保険料</p> <p>在留基本手当 配偶者手当 在外住居手当 子女教育手当 $(218,056千円 + 15,884千円 + 63,088千円 + 7,696千円) \times \frac{(39.84)}{(84-15)}人$ $\times \frac{50}{100} \times \frac{8}{100} = 8,881 (7,674)$</p> <p>(ロ) 伯国現採職員社会保険料</p> <p>職員俸給 特別手当 超過勤務手当 $(102,709千円 + 12,839千円 + 8,349千円) \times \frac{15.1}{100} = 18,708 (21,557)$</p> <p>(ハ) その他現採職員社会保険料</p> <p>職員俸給 特別手当 $(128,408 + 10,701) \times \frac{18}{100} = 25,040 (23,438)$</p> <p>(ニ) 社会統合プログラム基金納付金</p> <p>(ア) ジャミット (商企業)</p> <p>(年間仕切次高) 納付率 交換レート $CY \# 11,044,126 \times 0.0075 \times 24.21 = 2,047 (2,047)$</p> <p>(イ) ジェミス (金融業)</p> <p>所得税減税額 $1982年所得税見込$ $CY \# 2,800 \times 0.05 \times 24.21 = 3 (3)$</p> <p>自己資金による分 (所得税減税分と同額) 3 (3)</p>

(22)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				小計 ㉔～㉖ 2,053 (2,053)
				(休) 家族手当基金納付金(伯面) $(102,709円 + 12,839円 + 8,349円) \times \frac{4.3}{100} = 5,327 (6,139)$ 計 (4)～(休) 60,009 (60,863)
				合計 (1)～(10) 648,358 (601,380)
(H) 児童手当	(3,331) 3,331	3,789	△ 142	(1) 役員分 $(420円 \times 14人 \times 12月 \times \frac{0.9}{1,000}) + (420円 \times 1人 \times 11月 \times \frac{0.9}{1,000}) + (420円 \times 1人 \times 4月 \times \frac{0.9}{1,000}) = 67 (79)$ (2) 一般分 一般職員俸給 2,652,328円 + 183,367円 + 102,418円 + 110,230円 + 83,599円 前員手当 5,863円 + 住居手当 28,537円 + 特別休暇手当 72,019円 + 超過勤務手当 231,340円 $\times \frac{0.9}{1,000}$ = 3,122 (3,252) 計 (1)～(2) 3,189 (3,331)
項退職手当	(144,908) 144,908	145,824	916	
項退職手当	(144,908) 144,908	145,824	916	(1) 役員分 総 裁 $1,041,000円 \times \frac{36}{100} \times 1人 \times 12月 = 4,497 (4,497)$ 副 裁 $855,000円 \times \frac{36}{100} \times 2人 \times 12月 = 7,387 (7,387)$ 理 事 $715,000円 \times \frac{36}{100} \times 11人 \times 12月 = 33,977 (33,977)$ 監 事 $625,000円 \times \frac{36}{100} \times 2人 \times 12月 = 5,400 (5,400)$ (削減分) $(197,330円 \times 1人 \times \frac{36}{100} \times 1月) + (197,330円 \times 1人 \times \frac{36}{100} \times 8月) = \Delta 2,584 (0)$ 計 62,519 (55,103)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				(2) 一般職員、派遣職員分 一般職員俸給 派遣職員俸給 同士の25% (2,650,848千円 + 183,367千円 + 45,842千円) × 0.027411 = 79,540 (74,821)
				(3) 伯国現保職員分 勤続期間保証基金 (F. G. T. S) 職員俸給 特別手当 超過勤務手当 (102,707千円 + 12,837千円 + 8,347千円) × $\frac{8}{100}$ = 9,912 (11,380)
				(4) その他現保職員分 職員俸給 128,408千円 × 0.03 = 3,853 (3,604)
				合計 (1) ~ (4) 145,824 (144,908)
(項) 技術協力派遣職員給与	(197,025) 197,025	226,909	29,884	
(目) 技術協力派遣職員給与	(197,025) 197,025	226,909	29,884	(355,000) 376,300円 × $\frac{(555)}{603人月}$ = 226,909 (197,025)
(目) 新規増員	0	64,118	64,118	
(項) 役職員給与	0	63,723	63,723	
(目) 職員基本給	0	15,836	15,836	(1) 職員俸給 (国内) (イ) 184,016円 × 5人 × 6月 = 5,521 (0) (海外) (ロ) 184,016円 × 8人 × 6月 = 8,839 (0) 計 (イ) ~ (ロ) 14,354 (0) (2) 扶養手当 (イ) 19,000円 × 5人 × 6月 = 570 (0) (ロ) 19,000円 × 8人 × 6月 = 912 (0) 計 (イ) ~ (ロ) 1,482 (0) 合計 (1) ~ (2) 15,836 (0)

(単位 千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基
(B) 職員諸手当	0	42,135	42,135	(1) 通勤手当 (イ) $8,730円 \times 5人 \times 6月 = 262(0)$ (ロ) $8,730円 \times 8人 \times 6月 = 419(0)$ 計 (イ) ~ (ロ) $681(0)$ (2) 特別手当 (イ) 職員俸給 扶養手当 特別都市手当 $\frac{1.25}{6} = 3,383(0)$ $(14,354千円 + 1,482千円 + 402千円) \times \frac{1.25}{6}$ (ロ) 割増办 職員俸給 $14,354千円 \times 0.0121 = 174(0)$ 計 (イ) ~ (ロ) $3,557(0)$ (3) 住居手当 (イ) $2,980円 \times 5人 \times 6月 = 90(0)$ (ロ) $2,980円 \times 8人 \times 6月 = 143(0)$ 計 (イ) ~ (ロ) $233(0)$ (4) 特別都市手当 一般職員俸給 扶養手当 $(14,354千円 + 1,482千円) \times 0.0253 = 402(0)$ (5) 在勤基本手当 $306,466.666円 \times 8人 \times 6月 = 14,711(0)$ (6) 配偶者手当 $306,466.666円 \times \frac{40}{100} \times 8人 \times 6月 = 5,885(0)$ (7) 在外住居手当 $57,5947.831 \times 114円 \times \frac{50}{100} \times 8人 \times 6月 = 16,274(0)$

(单位:千元)

事項及科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(8) 子女教育手当				$24,512円 \times 8人 \times 6月 \times \frac{1}{3} = 392(0)$
合計 (1) ~ (8)				112,135(0)
(H) 超過勤務手当	0	1,451	1,451	職員奉給単価 特別都市手当単価 $\frac{(184,016円 + 5,136円)}{52 \times 44} \times 12月 \times 1.25 = 1,240.02円$ $1,240.02円 \times 13人 \times 15H \times 6月 = 1,451(0)$
(甲) 法定福利費	0	4,283	4,283	(1) 健康保険料 一般職員奉給 扶養手当 通勤手当 住居手当 特別都市手当 $(14,354円 + 1,482円 + 681円 + 233円 + 402円)$ 特別都市手当 配偶者手当 子女教育手当 超過勤務手当 $+ 14,711円 + 5,885円 + 392円 + 1,451円) \times \frac{4.2}{1,000} = 1,664(0)$ (2) 厚生年金保険料 一般職員奉給 扶養手当 通勤手当 住居手当 $(14,354円 + 1,482円 + 681円 + 233円)$ 特別都市手当 超過勤務手当 $+ 402円 + 1,451円) \times \frac{3.7}{1,000} = 689(0)$ (3) 厚生年金基金 一般職員奉給 扶養手当 通勤手当 住居手当 $(14,354円 + 1,482円 + 681円 + 233円)$ 特別都市手当 超過勤務手当 $+ 402円 + 1,451円) \times \frac{3.4}{1,000} = 733(0)$ (4) 雇用保険料 (4) 一般職員奉給 扶養手当 通勤手当 一般職員特別手当 $(14,354円 + 1,482円 + 681円 + 3,557円)$ 住居手当 特別都市手当 超過勤務手当 $+ 233円 + 402円 + 1,451円) \times \frac{9}{1,000} = 200(0)$ (H) 雑収入見合分 $22,160円 \times \frac{5.5}{1,000} = 122(0)$ 計 (1) ~ (H) 322(0)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	算 算 基 礎
				(5) 労働災害保険料
				(イ) 国内分
				一般職員俸給 扶養手当 通勤手当 一般職員特別手当 (14,354千円 + 1,482千円 + 681千円 + 3,557千円)
				住居手当 特別都市手当 超過勤務手当 $\frac{5}{1,000}$ + 233千円 + 402千円 + 1,451千円) $\times \frac{5}{1,000} = 112(0)$
				(ロ) 海外分
				$2,555,000$ 円 $\times \frac{11}{1,000} \times 8$ 人 = 112(0)
				計 (イ) ~ (ロ) 224(0)
				(6) 派遣職員共済給付制度負担金
				$306,466$ 円 $\times \frac{140}{100} \times 8$ 人 $\times 6$ 月 $\times \frac{12}{1,000} = 248(0)$
				(7) 共済組合員負担金
				$184,016$ 円 $\times 13$ 人 $\times 6$ 月 $\times \frac{66,625}{1,000} = 163(0)$
				(8) 公務災害補償費
				$5,000$ 円 $\times 8$ 人 $\times 6$ 月 = 240(0)
				合 計 (1) ~ (8) 4,283(0)
(甲) 児童手当	0	18	18	一般職員俸給 扶養手当 通勤手当 住居手当 (15,354千円 + 1,482千円 + 681千円 + 233千円)
				特別都市手当 超過勤務手当 $\frac{0.9}{1,000}$ + 402千円 + 1,451千円) $\times \frac{0.9}{1,000} = 18(0)$
(乙) 退職手当	0	395	395	
(丙) 退職手当	0	395	395	一般職員俸給 14,354千円 $\times 0.027411 = 395(0)$

(単位:十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比較 増減額	積算 基
(2) 管理経費	(1,254,439) 1,273,168	1,384,174	111,006	ODA $1,247,214 \times \frac{557}{995} = 698,189$
(1) 既定分	(1,254,439) 1,273,168	1,383,327	110,153	
(項) 業務諸費	(1,222,743) 1,239,877	1,347,954	110,077	
(用) 諸謝金	(52,814) 52,814	54,177	1,365	1. 親問謝金
				(1) 親問謝金 $\{593,000円 + (593,000 \times 0.08)\} \times 1人 \times 12月$ = 7,685 (7,685)
				(2) 特別慰労金 $\{(593,000円 \times 0.08) + (593,000円 \times 1.25)\} \times 3.8$ = 2,997 (2,997)
				(3) 退職慰労金 $593,000円 \times 1人 \times \frac{36}{100} \times 12月 = 2,562 (2,562)$
				(4) 社会保険料
				(a) 健康保険料 $5,840,000円 \times \frac{47}{1,000} = 265 (265)$
				(b) 厚生年金 $3,840,000円 \times \frac{30.5}{1,000} = 117 (117)$
				(c) 厚生年金保険 $3,840,000円 \times \frac{36.5}{1,000} = 140 (140)$
				小計 (a) ~ (c) 522 (522)
				計 (1) ~ (4) 13,766 (13,766)
				2. その他謝金
				(1) 技術顧問謝金 $(401,270)$ $417,320円 \times 1人 \times 12月 = 5,008 (4,815)$
				$(319,820)$ $332,620円 \times 4人 \times 12月 = 15,966 (15,351)$
				小計 20,974 (20,166)
				(2) 調査委託謝金 $(66,220)$ $68,870円 \times 2人 \times 12月 = 1,653 (1,589)$
				(3) 会計士謝金 $(49,720)$ $51,710円 \times 2人 \times 12月 = 1,241 (1,193)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(4) 医師謝金 $\frac{(135,080)}{140,480 \text{ 円}} \times 1 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 1,186 (1,621)$
				(5) 看護士謝金 $\frac{(48,620)}{50,560 \text{ 円}} \times 3 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 1,821 (1,750)$
				(6) 看護婦謝金 $\frac{(112,270)}{115,760 \text{ 円}} \times 1 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 1,461 (1,347)$
				(7) 菜金謝金 $88,420 \text{ 円} \times 1 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 1,061 (1,061)$
				(8) 入札予定両指図謝金 $3,550 \text{ 円} \times 20 \text{ 人} = 71 (71)$
				(9) 検査謝金 $4,250 \text{ 円} \times 20 \text{ 人} = 85 (85)$
				(10) 作業部会専門講師謝金 $3,310 \text{ 円} \times 5 \text{ 人} \times 5 \text{ 日} \times 2 \text{ 件} = 166 (166)$
				(11) 招待授受謝金
				海外 $138,142 \text{ 円} \times 4 \text{ 人} \times 1 \text{ 回} = 553 (553)$
				国内 $138,142 \text{ 円} \times 3 \text{ 人} \times 2 \text{ 回} = 829 (829)$
				計 $1,382 (1,382)$
				(12) 嘱託謝金
				(A) 一般 $\frac{(85,640)}{89,070 \text{ 円}} \times 3 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 3,207 (3,083)$
				$3,540 \text{ 円} \times 30 \text{ 人} = 106 (106)$
				(B) 語学
				英語 $\frac{(125,320)}{130,330 \text{ 円}} \times 1 \text{ 人} \times 12 \text{ 月} = 1,564 (1,504)$
				仏語 $18,030 \text{ 円} \times 60 \text{ 人月} = 1,082 (1,082)$
				西語 $18,030 \text{ 円} \times 60 \text{ 人月} = 1,082 (1,082)$
				(C) 入館地管理謝金
				$\frac{(104,770)}{108,960 \text{ 円}} \times (12 \text{ 月} + 4.8 \text{ 月}) \times 1 \text{ 人} = 1,831 (1,760)$
				計 (A) ~ (C) $8,872 (8,617)$
				合計 (1) ~ (12) $40,413 (39,048)$
				総計 1 + 2 $54,179 (52,814)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎																
(目) 赴任旅費	(12,382) 12,382	12,382	0	本部～附属機関 252,700円 × 49人 = 12,382																
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>介 介級</th> <th>基 準地</th> <th>日 当</th> <th>宿 泊料</th> <th>移 転料</th> <th>着 換手当</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赴任旅費</td> <td>3</td> <td>14,950円 × 2.5人 = 37,375円</td> <td>(1,100円 × 1日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 2,200円</td> <td>(5,100円 × 1泊) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 10,200円</td> <td>140,925 円</td> <td>(6,200円 × 5日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 62,000円</td> <td>252,700 円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	介 介級	基 準地	日 当	宿 泊料	移 転料	着 換手当	計	赴任旅費	3	14,950円 × 2.5人 = 37,375円	(1,100円 × 1日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 2,200円	(5,100円 × 1泊) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 10,200円	140,925 円	(6,200円 × 5日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 62,000円	252,700 円
区 分	介 介級	基 準地	日 当	宿 泊料	移 転料	着 換手当	計													
赴任旅費	3	14,950円 × 2.5人 = 37,375円	(1,100円 × 1日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 2,200円	(5,100円 × 1泊) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 10,200円	140,925 円	(6,200円 × 5日) × (1 + $\frac{2}{3}$ + $\frac{1}{5}$) = 62,000円	252,700 円													
(目) 職員旅費	(6,618) 6,616	6,966	0	<p>1. 役員分</p> <p>(1) 一般 28,905円 × 47回 = 1,363 (1,363)</p> <p>(2) 薬田研修コース開閉講式 13,140円 × 50回 = 657 (657)</p> <p>小計 2,020 (2,020)</p> <p>2. 職員分</p> <p>(1) 国内研修センター監査指導 19,278円 × 2人 × 5回 × 9回 = 1,735 (1,735)</p> <p>(2) 国内事務所予算会計指導 19,750円 × 2人 × 16回 = 632 (632)</p> <p>(3) 移住センター事務連絡 500円 × 2人 × 13回 = 13 (13)</p> <p>(4) 役員随行 20,880円 × 5人 × 5回 = 522 (522)</p> <p>(5) 業務状況視察 24,038円 × 2人 × 4回 = 1,923 (1,923)</p> <p>(6) 語学検定 20,167円 × 3人 × 2回 = 121 (121)</p> <p>小計 4,946 (4,946)</p> <p>計 1 + 2 6,966 (6,966)</p>																

市 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積 算 基 礎			
区 分	種 別	基 準 地	期 間	鉄 道 賃	日 当	宿 泊 料	計
役員旅費	役員	大 阪	3泊4日	5,421円×2=10,842円	765円×4日=3,060円	4,761円×3泊=14,283円	28,985円
コース開閉式	"	名 古屋	1泊2日	3,225円×2=6,450円	965円×2日=1,930円	4,760円×1泊=4,760円	13,140円
職員旅費							
国内研修センター(監査指導)	3	大 阪 名古屋 大阪波屋原	4泊5日	4,309円	722円×23日× $\frac{1}{5}$ = 3,321円	{(3,345円×12泊)+ (3,017円×6泊)}× $\frac{1}{5}$ = 11,648円	19,278円
国内事務所(予算会計指導)	4	大 阪	3泊4日	3,539円×2=7,078円	708円×4日=2,832円	3,280円×3泊=9,840円	19,750円
移住センター(事務連絡)	4		日帰り	500円	0	0	500円
役員随行	3	大 阪	3泊4日	2,957円	722円×4日=2,888円	3,345円×3泊=10,035円	20,880円
業務状況視察	3	大 阪	4泊5日	3,681円×2=7,378円	708円×5日=3,540円	3,280円×4泊=13,120円	24,038円
語学検定	3	大 阪	3泊4日	8,244円	722円×4日=2,888円	3,345円×3泊=10,035円	20,167円
(H) 庁 費	(1,133,971) 1,150,468	1,258,027	107,559	1. 人当庁費 (役員16人、本部522人、国際研修センター59人) 計597人 既 費 39,730円×(597-9)人 = 23,361(23,361) 2. 厚生費 (1) 人当厚生費 (役員16人、本部522人、国際研修センター59人、海外事務所47人) 計644人 既 費 3,900円×(644-9)人 = 2,477(2,461)			

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				(2) 職員厚生費
				(イ) 成人病予防及び精密検査費
				$\left(\begin{array}{l} \text{役員 16人, 本部 522人, 国際研修センター 59人,} \\ \text{海外事務所 47人, 移住センター 15人, 移住研修所 7人,} \\ \text{国内支部 63人, 計 732人} \end{array} \right)$
				既 定 $5,210円 \times (726-5)人 \times \frac{2}{3} = 2,504 (2,517)$
				(ロ) 海外帰国職員特別健康診断費
				$11,250円 \times 33人 \times 1 \times 2.5人 = 929 (929)$
				(ハ) 診療所運営費 $120,370円 \times 12月 = 1,450 (1,450)$
				(ニ) 海の家、山の家借上げ費 $359,280円 \times 5カ所 = 1,796 (1,796)$
				(ホ) 床敷借上げ費 $170,850円 \times 4カ所 \times 12月 = 8,201 (8,201)$
				(ヘ) 職員厚生施設借上げ費 $176,667円 \times 12月 = 2,120 (2,120)$
				(ト) グランド借上げ費
				野球場 $1,000円 \times 5H \times 2回 \times 12月 = 120 (120)$
				テニスコート $25,500円 \times 12月 = 306 (306)$
				計 (イ) ~ (ト) $17,426 (17,437)$
				合 計 (1) + (2) $19,903 (19,900)$
				3. 備品費
				(1) 既定備品
				キャビネット $27,118円 \times 17 = 461 (461)$
				戸 棚 $39,615円 \times 26 = 1,030 (1,030)$
				卓上電子計算機 $93,667円 \times 3 = 281 (281)$
				間仕切り $21,113円 \times 80 = 1,689 (1,689)$
				衝 立 $21,000円 \times 5 = 105 (105)$
				ロッカー $27,886円 \times 35 = 976 (976)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	費 算 基 礎	
				並 批	23,720円 × 25 = 593 (593)
				荷 子	8,840円 × 25 = 221 (221)
				欧文タイプライター	100,000円 × 2 = 200 (200)
				複 写 機	247,600円 × 5 = 1,238 (1,238)
				診療所備品	2,080 (2,080)
				その他備品	4,824 (4,690)
				小 計	13,698 (13,564)
				(2) カセットプリンター	350,000円 × 2 = 700 (700)
				(3) シュレッダー	500,000円 × 3 = 1,500 (1,500)
				(4) 電動タイプライター	300,000円 × 4 = 1,200 (1,200)
				(5) 応接セット	168,330円 × 3 = 505 (505)
				(6) その他前年度限り	0 (134)
				合 計 (1) ~ (6)	17,603 (17,603)
				4. 消耗品費	
				(1) 用紙帳簿類	243,683円 × 12月 = 2,947 (2,947)
				(2) 雑誌・新聞購読料	48,750円 × 12月 = 585 (585)
				(3) その他事務用品	73,500円 × 12月 = 882 (882)
				計 (1) ~ (3)	4,414 (4,414)
				5. 被 服 費	
				(1) 電話交換手・タイピスト・秘書	10,000円 × 15人 = 150 (150)
				(2) 通 販 手	20,000円 × 16人 × 2着 = 640 (640)
				計 (1) + (2)	790 (790)

(單位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
				6. 印刷装本費
				(1) 予算関係 $631円 \times 375部 \times 20種 = 4,736 (4,736)$
				(2) 経理決算関係 $654円 \times 290部 \times 15種 = 2,844 (2,844)$
				(3) 物品不動産管理関係及台帳類 $18,6円 \times 1,500部 \times 30種 = 836 (836)$
				(4) 法令規程集追録 $394円 \times 500部 \times 3回 = 591 (591)$
				(5) 事業計画集事例 $3,336円 \times 300部 \times 3回 = 3,002 (3,002)$
				(6) 関係法令例集(原文対比和訳) $550円 \times 100部 \times 7種 = 385 (385)$
				(7) 移住地概況 $423円 \times 400部 = 169 (169)$
				(8) 機関紙「移住研究」 $171円 \times 2,000部 \times 2回 = 683 (683)$
				(9) 移住執務月報 $468円 \times 100部 \times 2種 \times 12月 = 1,123 (1,123)$
				(10) 融資業務請報告用紙 $13,500円 \times 12月 = 162 (162)$
				(11) 入植地管理業務請用紙 $9,7円 \times 1,810枚 \times 4種 = 70 (70)$
				(12) 証憑書装本 $223円 \times 776冊 = 173 (173)$
				(13) その他諸資料 $62.3円 \times 250部 \times 30種 \times 12月 = 5,606 (5,606)$
				計 (1) ~ (13) $20,380 (20,380)$
				7. 通信運搬費
				(1) 電話料(旧庁舎及(新庁舎)
				(イ) 電話交換維持費 $56,944円 \times 3台 \times 12月 = 2,050 (2,050)$
				(ロ) 基本料 $1,932円 \times 50本 \times 3台 \times 12月 = 3,477 (3,477)$
				(ハ) 内線使用料 $149円 \times 350本 \times 3台 \times 12月 = 1,877 (1,877)$
				(ニ) 度敷料 $7.4円 \times 203回 \times 25日 \times 50本 \times 3台 \times 12月 = 67,666 (67,666)$
				(ホ) 市外通話料 $270円 \times 24通話 \times 350回 \times 12月 = 27,216 (27,216)$

(44)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				(1) 国際通話料 $8,126円 \times 5回 \times 19カ所 = 772 (772)$
				(1) 専用電話料
				外務省分 $2,250円 \times 12月 = 27 (27)$
				東京センター分 $1,625円 \times 2本 \times 12月 = 39 (39)$
				小 計 66 (66)
				計 (1) ~ (1) 103,124 (103,124)
				私宅電話公費負担分 $\Delta 1,974 (\Delta 1,974)$
				合 計 101,150 (101,150)
				(2) テレックス
				(1) 機器使用料 $22,125円 \times 2台 \times 12月 = 531 (531)$
				(11) 通 信 費 $840円 \times 20分 \times 25日 \times 12月 = 5,037 (5,037)$
				計 (1) + (11) 5,568 (5,568)
				(3) 郵 便 料
				(国 内)
				普通郵便 $37円 \times 306通 \times 25日 \times 12月 = 3,397 (3,397)$
				ハガキ $15円 \times 50通 \times 25日 \times 12月 = 225 (225)$
				遠 達 $156円 \times 26通 \times 25日 \times 12月 = 1,217 (1,217)$
				普 留 $238円 \times 30通 \times 25日 \times 12月 = 2,142 (2,142)$
				小 包 $505円 \times 150ヶ \times 12月 = 909 (909)$
				(国 外)
				航空便 $334円 \times 1,680通 \times 12月 = 6,749 (6,749)$
				小 包 $653円 \times 60ヶ \times 12月 = 470 (470)$
				計 15,109 (15,109)
				(4) 印刷物発送費
				(1) 事務用印刷物寄付 $554,417円 \times 12月 = 6,653 (6,653)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(II) 在外支部等伝票寄附送付 $12,275円 \times 1029 \times 12月 = 2,313 (2,313)$
				計 (I) + (II) 8,966 (8,966)
				(5) 電報料
				(I) 国内 $149円 \times 377通 \times 12月 = 566 (566)$
				(II) 国外 $3,718円 \times 250通 \times 12月 = 11,153 (11,153)$
				計 (I) + (II) 11,719 (11,719)
				合計 (I) ~ (5) 142,512 (142,512)
				8. 光熱水料
				(1) 共通相当割当額
				(イ) 三井ビル庁舎
				電 気 $34.4円 \times 56,25万kW \times 12月 = 23,220 (23,220)$
				ガ ス $167,060円 \times 12月 = 2,005 (2,005)$
				水 道 $234,000円 \times 12月 = 2,808 (2,808)$
				小 計 28,033 (28,033)
				(ロ) 経協ビル庁舎
				電 気 $19,040,040円 \times \frac{39.7}{100} = 7,559 (7,559)$
				ガ ス $864,760円 \times \frac{39.7}{100} = 343 (343)$
				燃 料 $1,846,310円 \times \frac{39.7}{100} = 733 (733)$
				水 道 $7,167,264円 \times \frac{39.7}{100} = 2,845 (2,845)$
				小 計 11,480 (11,480)
				計 (イ) + (ロ) 39,513 (39,513)
				(2) 電子計算機費 (経協ビル庁舎)
				電 気 $4.89円 \times \{34.2KVA + (55 \times 2KVA)\}$
				$\times (12月 \times 25日 \times 12月) = 3,577 (3,577)$
				合計 (1) + (2) 43,090 (43,090)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				2. 借料及び賃料
				(1) 事務所借料(三井ビル)
				(イ) 事務所(45~48階)
				5,500円 × 6,718.80m ² × 6月 = 221,720 (221,720)
				(5,500) 5,300円 × 6,718.80m ² × 6月 = 253,971 (221,720)
				小 計 475,691 (443,441)
				事務所(9階)
				5,300円 × 839.85m ² × 6月 = 26,707 (26,707)
				(5,300) 5,100円 × 839.85m ² × 6月 = 30,739 (26,707)
				小 計 57,446 (53,414)
				合 計 533,137 (496,855)
				(ロ) コ ア
				3,950円 × 664.36m ² × 6月 = 15,745 (15,745)
				(3,950) 4,610円 × 664.36m ² × 6月 = 17,978 (15,746)
				小 計 33,723 (31,491)
				(ハ) 倉 庫
				2,840円 × 51.22m ² × 6月 = 873 (873)
				(2,840) 3,240円 × 51.22m ² × 6月 = 996 (873)
				小 計 1,869 (1,746)
				(ニ) 車 庫
				(71,280) 81,260円 × 30台 × 12月 = 29,254 (25,661)
				計 (イ) ~ (ニ) 597,983 (555,753)
				(2) 経済協力センター土地借料
				(イ) アジア経済研究所所有地借料

(単位 千円)

市 項 及 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
				建築物敷地 $\left\{ \begin{array}{l} (368,370) \\ (386,770 \text{円} \times 0.06 \times 752.8 \text{m}^2) + 11,303,710 \text{円} \times \frac{752.8 \text{m}^2}{3,378.5 \text{m}^2} \end{array} \right\} \times \frac{39.7}{100} = 7,936 (7,558)$
				駐車場敷地 $\left\{ \begin{array}{l} (368,370) \\ (386,770 \text{円} \times 0.06 \times 306.9 \text{m}^2) + 11,303,710 \text{円} \times \frac{306.9 \text{m}^2}{3,378.5 \text{m}^2} \end{array} \right\} \times \frac{14.9}{2.1} = 5,433 (5,174)$
				小 計 13,369 (12,732)
				(4) 民有地借料 $\frac{(502,070)}{521,170 \text{円} \times 12 \text{月}} \times \frac{39.7}{100} = 2,511 (2,392)$
				(ハ) 国有地借料 (警視庁及び防衛庁) $\frac{(19,300)}{20,270 \text{円}} \times \frac{39.7}{100} = 8 (8)$
				計 (4) ~ (ハ) 15,888 (15,132)
				(3) セロックス借料 $\frac{(92,980)}{97,630 \text{円} \times 7 \text{台} \times 12 \text{月}} = 8,201 (7,810)$
				(4) 在外使宅借上料 3,674千円 + 89,763千円(自己収入見合分) = 93,437 (43,189)
				(5) 国内住宅借上料 $\frac{(38,430)}{44,450 \text{円} \times 48 \text{戸} \times 12 \text{月}} = 25,600 (22,137)$
				計 (1) ~ (5) 741,109 (644,021)
				10. 会 議 費
				理 事 会 205円 × 18人 × 4回 × 12月 = 177 (177)
				部 長 会 205円 × 23人 × 4回 × 12月 = 226 (226)
				全副支部長会議 314円 × 86人 × 1回 = 27 (27)
				関係各省連絡会議 318円 × 10人 × 6回 × 12月 = 229 (229)
				一般事務打合せ 200円 × 16人 × 24回 × 12月 = 922 (922)
				確立選考連絡会議 317円 × 10人 × 4回 × 12月 = 152 (152)
				特 別 会 議 63,590円 × 2回 × 12月 = 1,527 (1,527)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増減額	算 基	機
				計	3,260 (3,260)
				11. 交通費	
				地下鉄等	87円 × 2,567回 = 229 (229)
				自動車	327円 × 645回 = 211 (211)
				自動車燃料	6,576円 × 7台 × 2.5回 × 12月 = 13,807 (13,807)
				計	14,247 (14,247)
				12. 図書購入費	
				読路参考図書・和書	676円 × 720冊 = 487 (487)
				“ 洋書	1,797円 × 360冊 = 647 (647)
				計	1,134 (1,134)
				13. 賃 金	
				(1) 常備賃金	
				一般事務	(60,490) 62,910円 × 2人 × (12月 + 4.9月) = 2,126 (2,045)
				会計事務	(122,240) 127,130円 × 1人 × (12月 + 4.9月) = 2,148 (2,066)
				小 計	4,274 (4,111)
				(2) 臨時雇賃金	
					2,420円 × 6人 × 13日 × 8月 = 1,133 (1,133)
					2,420円 × 10人 × 14日 × 12月 = 4,066 (4,066)
					2,420円 × 1,390人 = 3,364 (3,364)
				小 計	8,570 (8,570)
				計 (1) + (2)	12,844 (12,681)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				14. 保 険 料
				(1) 自動車保険料
				強制賠償 $\frac{(42,210)}{44,320 \text{円}} \times \frac{(8)}{13 \text{台}} = 576 (338)$
				任意賠償 $\frac{(111,070)}{116,624 \text{円}} \times 20 \text{台} = 2,332 (2,221)$
				小 計 2,908 (2,559)
				(2) 火災保険料
				(イ) 経島ビル庁舎
				庁 舎 $280,000 \text{円} \times \frac{50}{100} \times \frac{116}{1,000} = 163 (163)$
				ボイラー $\{1 \text{台} \times (3,600 \text{円} \times \frac{7.82}{1,000} + 6,500 \text{円}) + (5,000 \text{円} \times \frac{0.3}{1,000})\} \times \frac{39.7}{100} = 15 (15)$
				小 計 178 (178)
				(ロ) 職員住宅
				$\frac{(1,768)}{2,542.4 \text{円}} + \frac{(153,400)}{(158,240 \text{円} \times \frac{4}{1,000})} + 160 \text{台 (自己収入分)} = 3,335 (2,542)$
				(ハ) 動 産
				$11,200 \text{円} \times \frac{4}{1,000} = 45 (45)$
				計 (イ) ~ (ハ) 3,398 (2,605)
				合 計 (1) + (2) 6,466 (5,324)
				15. 諸 税 公 課
				(1) 不動産取得税
				職員住宅 $\frac{(153,400)}{158,240 \text{円}} \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{100} = 3,798 (3,682)$
				(2) 固定資産税
				(イ) 職員住宅 $\frac{(1,762,868)}{2,119,897 \text{円}} \times \frac{14}{1,000} = 29,679 (27,480)$

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(Ⅱ) 経協ビル庁舎 $308,000 \text{ 円} \times \frac{80}{100} \times \frac{14}{1,000} = 3,450 (3,450)$
				(ハ) 償却資産税 $43,164 \text{ 円} \times \frac{14}{1,000} = 604 (604)$
				計 (Ⅱ) ~ (ハ) 33,733 (31,534)
				(3) 都市計画税
				(イ) 経協ビル庁舎 $308,000 \text{ 円} \times \frac{80}{100} \times \frac{3}{1,000} = 740 (740)$
				(ロ) 土地建物 $246,117 \text{ 円} \times \frac{3}{1,000} = 738 (738)$
				計 (イ) + (ロ) 1,478 (1,478)
				(4) 法人住民税 10 (10)
				(5) 自動車重量税
				$(37,800) (5) (50,400)$ $39,690 \text{ 円} \times 10 \text{ 台} + 52,920 \text{ 円} \times 3 \text{ 台} = 556 (340)$
				(6) 自動車税
				$(34,500) (77,000)$ $36,230 \text{ 円} \times 17 \text{ 台} + 80,850 \text{ 円} \times 1 \text{ 台}$
				$(28,500)$ $+ 29,930 \text{ 円} \times 2 \text{ 台} = 157 (221)$
				合 計 (1) ~ (6) 40,332 (39,765)
				16. 自動車購入費 $2,203 \text{ 円} \times (3) 3 \text{ 台} = 6,609 (6,609)$
				17. 自動車維持費 $151,997 \text{ 円} \times 20 \text{ 台} = 3,040 (3,040)$
				18. 修繕費
				(1) 機械器具修繕費
				タイプ係理 $13,917 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 167 (167)$
				会計器具係理 $84,250 \text{ 円} \times 4 \text{ 台} = 337 (337)$
				その他 $14,417 \text{ 円} \times 12 \text{ 月} = 173 (173)$
				計 677 (677)
				(2) 住宅等修繕
				(イ) 東京地区

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎	積算 基礎
				(a) 所沢住宅 (S.40. 3棟, 24戸)	
				畳取替	4,870円 × 10.5畳 × 10戸 = 512 (512)
				換気管	2,440円 × 14枚 × 10戸 = 341 (341)
				小計	853 (853)
				(b) 西八王子住宅 (S.45. 10棟, 17戸)	
				畳取替	4,870円 × 16.5畳 × 6戸 = 482 (482)
				換気管	2,440円 × 12枚 × 6戸 = 175 (175)
				小計	657 (657)
				(c) 宮前平住宅 (S.46. 10棟, 10戸)	
				畳取替	4,870円 × 16.5畳 × 5戸 = 402 (402)
				換気管	2,440円 × 15枚 × 5戸 = 183 (183)
				小計	585 (585)
				(d) 南海神住宅 (S.41. 1棟, 2戸)	
				畳取替	4,870円 × 16畳 × 2戸 = 156 (156)
				換気管	2,440円 × 10枚 × 2戸 = 49 (49)
				小計	205 (205)
				(e) 練馬谷住宅 (S.47. 8棟, 10戸)	
				畳取替	4,870円 × 18畳 × 7戸 = 614 (614)
				換気管	2,440円 × 17枚 × 6戸 = 249 (249)
				小計	863 (863)
				(f) 三軒茶屋住宅 (S.46. 3棟, 3戸)	
				畳取替	4,870円 × 12畳 × 3戸 = 175 (175)
				換気管	2,440円 × 4枚 × 3戸 = 29 (29)
				小計	204 (204)
				(g) 高円寺住宅 (S.46. 12棟, 7戸)	
				畳取替	4,870円 × 12畳 × 7戸 = 409 (409)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				換取替 $2,440円 \times 4枚 \times 7戸 = 69(69)$
				小計 478(478)
				(イ) 新原町田荘宅 (S44, 3棟, 12戸)
				風呂取替 $81,400円 \times 5戸 = 407(407)$
				換取替 $2,440円 \times 13枚 \times 6戸 = 190(190)$
				畳取替 $4,869円 \times 16.5畳 \times 6戸 = 482(482)$
				小計 1,079(1,079)
				(ロ) 京王北野マンション (S51, 2棟, 2戸)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 2戸 = 160(160)$
				換取替 $2,440円 \times 10枚 \times 2戸 = 49(49)$
				小計 209(209)
				(ハ) 横須浜ハイム (S51, 7棟, 1戸)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 1戸 = 80(80)$
				換取替 $2,440円 \times 10枚 \times 1戸 = 25(25)$
				小計 105(105)
				(ニ) ハ王子セントラルマンション (S51, 12棟, 10戸)
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 5戸 = 293(293)$
				換取替 $2,440円 \times 10枚 \times 5戸 = 122(122)$
				小計 415(415)
				(ホ) ハ王子セントラルマンション (S52, 3棟, 1戸)
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 1戸 = 58(58)$
				換取替 $2,440円 \times 10枚 \times 1戸 = 25(25)$
				小計 83(83)
				(ヘ) ハイネス立川 (S52, 11棟, 1戸)
				畳取替 $4,870円 \times 6畳 \times 1戸 = 29(29)$
				換取替 $2,440円 \times 2枚 \times 1戸 = 5(5)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度予算 増△減額	積算 基	礎
				小計	34 (34)
				(2) 町屋ハイム (S53. 3棟, 12戸)	
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 6戸 =$	351 (351)
				襖系替 $2,440円 \times 4枚 \times 6戸 =$	58 (58)
				小計	409 (409)
				(0) 相模大野住宅 (S41. 11棟, 10戸)	
				内壁塗装 $855円 \times 54.6m^2 \times 10戸 =$	467 (467)
				(P) 相模大野住宅 (S45. 10棟, 1戸) プレハブ造	
				風呂釜取替 $81,000円 \times 1戸 =$	81 (81)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 1戸 =$	80 (80)
				襖系替 $2,500円 \times 10枚 \times 1戸 =$	25 (25)
				小計	186 (186)
				(Q) 相武台住宅 (S45. 10棟, 4戸) プレハブ造	
				風呂釜取替 $81,250円 \times 4戸 =$	325 (325)
				畳取替 $4,870円 \times 16.5畳 \times 4戸 =$	322 (322)
				襖系替 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 =$	97 (97)
				小計	744 (744)
				(R) 根岸住宅 (S47. 3棟, 12戸)	
				風呂釜取替 $81,280円 \times 6戸 =$	488 (488)
				畳取替 $4,870円 \times 15畳 \times 6戸 =$	438 (438)
				襖系替 $2,440円 \times 10枚 \times 6戸 =$	146 (146)
				小計	1,072 (1,072)
				計 (A) ~ (R)	8,648 (8,648)
				(D) 地方	
				(a) 大阪センター住宅 (S44. 1棟, 4戸)	
				襖系替 $2,440円 \times 10枚 \times 4戸 =$	97 (97)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(b) 桃山台住宅 (S47, 2棟, 3戸)
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 = 175(175)$
				換紙替 $2,440円 \times 10枚 \times 3戸 = 73(73)$
				小計 248(248)
				(c) ルネ千里丘住宅 (S51, 7棟, 6戸)
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 3戸 = 175(175)$
				換紙替 $2,440円 \times 10枚 \times 3戸 = 73(73)$
				小計 248(248)
				(d) 須磨一ノ谷住宅 (S48, 6棟, 2戸)
				畳取替 $4,870円 \times 12畳 \times 2戸 = 117(117)$
				換紙替 $2,440円 \times 10枚 \times 2戸 = 49(49)$
				小計 166(166)
				(e) ヲゾン新大阪住宅 (S49, 2棟, 7戸)
				風呂盆取替 $8,167円 \times 6戸 = 487(487)$
				畳取替 $4,870円 \times 10.5畳 \times 5戸 = 258(258)$
				換紙替 $2,440円 \times 6枚 \times 4戸 = 59(59)$
				小計 802(802)
				(f) 岡内支那部借上住宅 (23戸)
				畳取替 $4,870円 \times 10.5畳 \times 12戸 = 614(614)$
				換紙替 $2,440円 \times 6枚 \times 12戸 = 176(176)$
				小計 790(790)
				計 (a) ~ (f) 2,351(2,351)
				(h) 宿舎管理費 (自己収入分) $434,930円 \times 12月 = 5,219(5,219)$
				(二) その他
				水回り排水管オーバーホール
				$2,440円 \times 40戸 \times 1回 = 97(97)$

(單位:千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基 礎
				費取替 $1,628円 \times 18冊 \times 150P \times \frac{1}{8} = 1,302 (1,302)$
				模写替 $1,628円 \times 20枚 \times 150P \times \frac{1}{3} = 1,627 (1,627)$
				計 3,026 (3,026)
				合 計 (1) ~ (5) 19,244 (19,244)
				(3) 各所修繕 $24,245円 \times 12月 = 290 (290)$
				(4) 特別修繕 899 (899)
				総 計 (1) ~ (4) 21,110 (21,110)
				19. 資料収集費
				賦課金 $76,000円 \times 9件 = 684 (684)$
				資料収集費 $25,500円 \times 12件 = 306 (306)$
				各種移住地関係資料 $12,713円 \times 20組 = 255 (255)$
				計 1,245 (1,245)
				20. 雑役務費
				(1) 支払手数料
				(イ) 海外為替送金手数料
				$\left\{ \begin{matrix} (2,970) \\ (3,120円 \times 2回) \end{matrix} + \begin{matrix} (890) \\ (730円 \times 10回) \end{matrix} \right\} \times 2,120件 = 32,945 (31,461)$
				(ロ) 国内送金手数料 $\begin{matrix} (270) \\ 280円 \times 315件 \times 12月 \end{matrix} = 1,058 (1,021)$
				(ハ) 雑手数料
				土地売買契約保証 $\begin{matrix} (4,790) \\ 5,030円 \times 5件 \times 12月 \end{matrix} = 302 (287)$
				委任状公正証書保証 $\begin{matrix} (1,370) \\ 1,440円 \times 2件 \times 12月 \end{matrix} = 35 (33)$
				登記簿本証明料 $\begin{matrix} (820) \\ 860円 \times 7件 \times 12月 \end{matrix} = 72 (67)$

(單位：千円)

事項及科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比 増△減額	積算 基礎	積算 実績
				推紙用紙	$\frac{(270)}{280 \text{ 円}} \times 10 \text{ 枚} \times 12 \text{ 月} = 34 (32)$
				小計	443 (421)
				計	(4) ~ (6) 34,446 (32,903)
				(2) 事務所管理委託費	
				(4) 三井ビル庁舎	
				事務用清掃料	$\frac{(350)}{370 \text{ 円}} \times 7,434.38 \text{ m}^2 \times 12 \text{ 月} = 33,009 (31,224)$
				電話交換管理委託費	$\frac{(930,870)}{917,410 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} = 11,727 (11,170)$
				小計	44,738 (42,394)
				(4) 経協ビル庁舎	
				(a) 事務所保管料	$\frac{(15,093,650)}{15,848,330 \text{ 円}} \times \frac{39.7}{100} = 6,292 (5,992)$
				(b) 事務所管理料	$\frac{(27,888,420)}{29,282,840 \text{ 円}} \times \frac{39.7}{100} = 11,625 (11,072)$
				(c) 事務所清掃料	$\frac{(27,188,870)}{28,548,310 \text{ 円}} \times \frac{39.7}{100} = 11,334 (10,794)$
				小計	29,251 (27,858)
				計	(4) ~ (4) 73,989 (70,252)
				(3) 職員採用試験広告料	$1,941 \text{ 円} \times 25 \text{ 行} \times 3 \text{ 段} \times 2 \text{ 刷} = 291 (291)$
				(4) 身体検査料	$1,005 \text{ 円} \times 100 \text{ 人} = 100 (100)$
				(5) 関係法令外注翻訳料	$\frac{(2,315)}{2,428 \text{ 円}} \times 1,000 \text{ 枚} = 2,428 (2,315)$
				(6) 事務省力化研究費	346 (346)
				(7) 職員住宅管理費(自己取入見合分)	22,147 (20,944)
				(8) 雑費	$\frac{(89,313)}{72,779 \text{ 円}} \times 12 \text{ 月} = 831 (831)$
				合計	(1) ~ (18) 134,578 (127,982)
				総合計	1 ~ 20 1,258,027 (1,150,468)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
(目) 共済会負担金	(17,247) 17,247	18,400	1,153	自己収入見合支出予算
(項) 交際費				
(目) 交際費	(2,177) 2,225	2,225	0	
(項) 外国旅費	(29,513) 31,066	31,142	76	
(目) 外国出張旅費	(28,185) 29,668	29,668	0	

区分	等級	人員	期間	航空費	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	計	目的地
国際会議出席				円	円	円	円		
(1) コロンボ会議	役員	1	21	346,074	54,274	(2,077円×21日) + (6,545円×20泊) = 174,516	1,573	576	テヘラン
"	"	2	1	250,351	44,100	(1,636円×21日) + (5,098円×20泊) = 136,316	1,573	432	"
(2) DAC会議	2	2	21	297,488×2人 666,380	44,100×2人 88,200	{ (1,636円×21日) + (5,098円×20泊) } × 2 = 202,632	1,573×2人 = 3,146	968	パリ
(3) ESCAP会議	2	1	21	106,988	44,100	(1,636円×21日) + (5,098円×20泊) = 136,316	1,573	289	バンコック
(4) UNIDO会議	2	1	21	312,278	44,100	(1,636円×21日) + (5,098円×20泊) = 136,316	1,573	494	パリ
(5) UNDP会議	2	1	21	215,989	44,100	136,316	1,573	398	ニューヨーク
(6) ADB会議	2	1	21	74,640	44,100	129,953	1,573	250	マニラ
先進国の技術協力実態調査									
(1) 技術協力実態調査	2	1	21	312,278	44,100	(1,636円×21日) + (5,098円×20泊) = 136,316	1,573	494	パリ
業務調査									
アジア地域	役員	1	21	296,985	54,274	(2,077円×21日) + (6,545円×20泊) = 174,516	1,573	527	インド、パキスタン ビルマ、インドネシア
"	3	1	21	174,516	39,013	(1,510円×21日) + (4,783円×20泊) = 127,370	1,573	350	"
中近東地域	3	1	21	276,211	39,013	127,370	1,573	444	トルコ、イラン アフガニスタン

事項及び科目		前年度予算額	昭和57年度予算額	前年度比増△減額	積算基礎					
区分	等級	人員	期間	航空賃 円	支度料 円	日当 円	宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
アフリカ地域	3	1	21	363,690	39,013		127,870	1,573	531	エチオピア ザール
中南米地域	3	1	30	331,662	39,013	(1,510円×30日)+(4,783円×29泊)=184,007		1,573	556	メキシコ、ブラ ジル、ベネズエラ
派遣専門職員等との業務 打合せ	2	2	16	151,142×2人 = 302,284	44,100×2人 = 88,200	[(1,573円×16日)+(4,846円×15泊)]×2人=195,716		1,573×2人 = 3,146	589	グアタマラ
中南米事務所長会議	2	3	10	251,711×3人 = 755,133	22,050×3人 = 66,150	[(1,573円×10日)+(4,846円×9泊)]×3人=178,032		1,573×3人 = 4,719	1,003	メキシコ
技術協力状況調査	2	1	14	108,681	22,050	(1,573円×14日)+(4,846円×13泊)=85,020		1,573	277	バンコック
"	4	2	14	103,212×2人 = 206,424	22,050×2人 = 44,100	[(1,322円×14日)+(4,154円×13泊)]×2人=145,020		1,573×2人 = 3,146	390	ニューデリー、グアタ マラ、インドネシア
供与機材状況調査	3	6	21	186,260×6人 = 1,117,560	39,013×6人 = 234,078	[(1,510円×21日)+(4,783円×20泊)]×6人=744,220		1,573×6人 = 9,438	2,125	バンコック、マニラ ジャカルタ、 クアラルンプール
業務調査										
(1) 中近東地域	役員	1	21	346,124	54,274	(2,077円×21日)+(6,545円×20泊)=174,517		1,573	576	テヘラン
"	1	1	21	347,131	49,189	(1,762円×21日)+(5,442円×20泊)=145,242		1,573	543	"
(2) アジア地域	役員	1	21	297,048	54,274	(2,014円×21日)+(6,230円×20泊)=166,874		1,573	520	インド、パキスタン ビルマ、インドネシア
"	2	1	21	214,070	44,100	(1,573円×21日)+(4,846円×20泊)=129,953		1,573	390	"
開発実施計画協議										
(1) 西アフリカ地域	役員	2	30	130,164×2人 = 260,328	65,905×2人 = 131,810	[(3,020円×30日)+(9,251円×29泊)]×2人=717,758		1,573×2人 = 3,146	2,314	ナイジェリア、 ガーナ、ザール
(2) 中近東地域	役員	1	30	112,979	65,905	(3,020円×30日)+(9,251円×29泊)=358,879		1,573	1,139	エジプト、パキスタン サウジアラビア、イラン シリア、ジョルダン

(単位 千円)

事項及び科目		前年度予算額		昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎				積算	備考
区	分	等級	人員	期間	航空賃 円	支度料 円	日当	宿泊料 円	旅行雑費 円	計	目的地
(3)	中南米地域	役員	1	30	647,445	65,905		358,879	1,573	1,074	メキシコ、グアテマラ ペルー、ブラジル
	調査指導連絡会議	役員	2	27	582,013×2人 = 1,164,026	54,274×2人 = 108,548		(13,020円×27日)+(9,251円×28日)×2人=493,216	1,573×2人 = 3,146	1,969	フェイス・アイルス基準
	一般調査指導										
(1)	南米地区	3	5	34	389,498×5人 2,181,200	47,370×5人 = 236,850		((1,510円×34日)+(4,783円×32日)×5人=1,021,980	1,573×5人 = 7,865	3,214	"
(2)	北米地区	3	1	16	218,985	39,013		(1,510円×16日)+(4,783円×14日)=91,122	1,573	381	トロント
	移住事務連絡会議	3	1	31	388,479	47,370		(1,510円×31日)+(4,783円×29日)=185,517	1,573	623	フェイス・アイルス
	在外経理指導調査 中南米地域	3	2	35	388,479×2人 = 776,958	47,370×2人 94,740		((1,510円×35日)+(4,783円×33日)×2人=1,211,378	1,573×2人 = 3,146	1,296	"
	予算関係指導調査	3	1	35	388,479	47,370		(1,510円×35日)+(4,783円×33日)=210,689	1,573	648	"
	訟務関係調査	3	1	43	388,479	47,370		(1,510円×43日)+(4,783円×41日)=261,033	1,573	699	"
	数市調査	監事	1	34	582,013	65,905		(2,077円×34日)+(6,545円×32日)=280,058	1,573	930	"
	"	3	1	34	388,479	47,370		(1,510円×34日)+(4,783円×32日)=204,396	1,573	642	"
	専門家語学検定										
(1)	アジア地域	2	2	30	143,093×2人 320,520	53,550×2人 107,100		((1,762円×30日)+(5,412円×29日)×2人=1,171,616	1,573×2人 = 3,146	816	ジャカルタ、マニラ バンコック
(2)	中近東アフリカ地域	2	1	30	231,219	53,550		(1,825円×30日)+(5,664円×29日)=219,006	1,573	506	キンシャサ、カイロ ナイロビ、テヘラン
(3)	中南米地域	2	1	30	291,174	53,550		219,006	1,573	565	フェイス・アイルス ボゴタ、メキシコ
	合計		59							34,756	

(單位：十円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算 基 礎																
(甲) 現地調査費	(1,328) 1,328	1,474	146	調査費 $\frac{(49,950)}{49,950円 \times 294人 \times \frac{229}{225}} = 1,474 (1,328)$																
(乙) 増員費																				
(丙) 業務諸費	0	853	853																	
(丁) 赴任旅費	0	385	385	$115,360円 \times 5人 \times \frac{2}{3} = 385 (0)$																
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準地</th> <th>等級</th> <th>鉄道賃</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>移転料</th> <th>看機手当</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋</td> <td>5</td> <td>(13,560) 13,560</td> <td>1,300円×1日 = 1,300円</td> <td>6,500円×1泊 = 6,500円</td> <td>110,000円×1/2 = 5,500円</td> <td>(1,300円+6,500円) ×5日 = 39,000円</td> <td>115,360</td> </tr> </tbody> </table>	基準地	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	移転料	看機手当	計	名古屋	5	(13,560) 13,560	1,300円×1日 = 1,300円	6,500円×1泊 = 6,500円	110,000円×1/2 = 5,500円	(1,300円+6,500円) ×5日 = 39,000円	115,360
基準地	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	移転料	看機手当	計													
名古屋	5	(13,560) 13,560	1,300円×1日 = 1,300円	6,500円×1泊 = 6,500円	110,000円×1/2 = 5,500円	(1,300円+6,500円) ×5日 = 39,000円	115,360													
(戊) 庁費	0	468	468	1. 人当庁費 $39,730円 \times 5人 = 199 (0)$ 2. 厚生費 (1) 人当厚生費 $3,900円 \times 5人 = 20 (0)$ (2) 職員厚生費 成人病予防及び検診検診費 $5,210円 \times 5人 = 26 (0)$ 3. 備品費 (初年度備品) $44,800円 \times 5人 = 223 (0)$ 計 1 ~ 3 $468 (0)$																

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 算 基 礎
(3) 運営審議会経費				
(項) 業務諸費	(1,089) 1,146	1,146	0	
(目) 諸謝金	(313) 329	329	0	2,350円 × 10人 × 14日 = 329 (329)
(目) 委員旅費	(197) 207	207	0	12,937円 × 4人 × 4回 = 207 (207)
(目) 印刷費	(579) 610	610	0	1. 印刷製本費 39円 × 50部 × 3巻 × 4回 = 23 (23) 2. 借料及び頒料 3,103円 × 4回 = 12 (12) 3. 会議費 1,244円 × 33人 × 14日 = 575 (575) 計 1 ~ 3 610 (610)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(4) 職員研修経費	(8,212) 8,369	8,369	0	
(項) 業務諸費	(8,212) 8,369	8,369	0	
(目) 謝金	(6,545) 6,686	6,686	0	
				1. 一般研修
				(1) 人事院方式監督者研修
				$3,570 \text{円} \times 6 \text{H} \times 8 \text{月} \times 2 \text{回} = 343 (343)$
				(2) 語学研修講師謝金(初級及び中級)
				英語
				$3,500 \text{円} \times 2 \text{H} \times 20 \text{日} \times 4 \text{コース} \times 5 \text{カ所} = 2,800 (2,800)$
				スペイン語
				$3,500 \text{円} \times 3 \text{H} \times 12 \text{週} \times 1 \text{コース} \times 1 \text{カ所} = 126 (126)$
				ポルトガル語
				$3,500 \text{円} \times 3 \text{H} \times 12 \text{週} \times 1 \text{コース} = 126 (126)$
				フランス語
				$3,500 \text{円} \times 3 \text{H} \times 12 \text{週} \times 1 \text{コース} = 126 (126)$
				小計
				3,178 (3,178)
				計 (1) + (2)
				3,521 (3,521)
				2. 実務及び専門研修
				(1) 通記講習(中・上級)
				$3,010 \text{円} \times 1 \text{H} \times 30 \text{人} \times 1 \text{人} = 90 (90)$
				(2) 金融実務講習
				$3,010 \text{円} \times 2 \text{H} \times 6 \text{日} \times 1 \text{人} = 36 (36)$
				(3) 語学研修(上級)
				$64,040 \text{円} \times 1 \text{人} \times 3 \text{コース} = 192 (192)$
				(4) 中南米駐在官・融資専門員合同研修(海外)
				$5,650 \text{円} \times 4 \text{人} \times \frac{229}{225} = 23 (23)$
				計 (1) ~ (4)
				341 (341)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				3. 委託研修
				(1) 労務人事、契約労働者参加研修
				19,400円 × 15コース × 2人 = 582 (582)
				(2) 研修管理費委託研修
				33,550円 × 2コース × 7人 = 470 (470)
				(3) 英語研修
				22,130円 × 1月 × 25人 = 553 (553)
				(4) フランス語、スペイン語、アラビア語、ポルトガル語研修
				13,380円 × 1月 × 3人 × 4種 = 161 (161)
				計 (1) ~ (4)
				1,766 (1,766)
				4. スペシャリスト養成研修
				(1) 開発エンジニア養成研修
				88,200円 × 12月 × 1人 = 1,058 (1,058)
				合計 1 ~ 4
				6,686 (6,686)
	(296)	312	0	1. 備品費
(用) 庁 費	312	312	0	語学研修用テープ
				1,840円 × 2セット × 3種 × 8カ所 = 88 (88)
				2. 図書購入費
				350円 × 4種 × 100冊 = 140 (140)
				3. 印刷製本費
				研修用資料作成費
				210円 × 4種 × 100冊 = 84 (84)
				合計 1 ~ 3
				312 (312)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	概算	基礎	破
(H) 旅費	(1,371) 1,371	1,371	0	1. 一般研修		
				(1) 人事院方式監督研修(3等級、2泊3日、センター)		
				(イ) 鉄道賃	$2,052円 \times 2 \times 31人 =$	127(127)
				(ロ) 日当・宿泊料	$\{(708円 \times 3日) + (3,280円 \times 2泊)\} \times 31人 =$	269(269)
				小計	(イ) + (ロ)	396(396)
				(2) 国内農副産品合同業務研修(4等級、3泊4日、センター)		
				(イ) 鉄道賃	$2,052円 \times 2 \times 31人 =$	127(127)
				(ロ) 日当・宿泊料	$\{(643円 \times 4日) + (2,251円 \times 3泊)\} \times 31人 =$	289(289)
				小計	(イ) + (ロ)	416(416)
				計	(1) + (2)	812(812)
				2. 専門研修		
				(1) 農薬試験研修(東京~平塚、4等級、10泊11日)		
				(イ) 鉄道賃	$6,250円 \times 2 \times 4人 \times 1回 =$	50(50)
				(ロ) 日当・宿泊料	$\{(643円 \times 11日) + (2,251円 \times 10泊)\}$ $\times 4人 \times 1回 =$	119(119)
				小計	(イ) + (ロ)	169(169)
				(2) 農薬機械技術研修(東京~内原、4等級、9泊10日)		
				(イ) 鉄道賃	$8,349円 \times 2 \times 3人 \times 1回 =$	50(50)
				(ロ) 日当・宿泊料	$\{(643円 \times 10日) + (2,251円 \times 9泊)\}$ $\times 3人 \times 1回 =$	81(81)
				小計	(イ) + (ロ)	131(131)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比増減額	積算基礎
				(3) 養蚕技術研修(東京~長野, 4等級, 9泊10日)
				(イ) 鉄道賃 8,750円 × 2 × 2人 × 1回 = 35 (35)
				(ロ) 日当・宿泊料 {(643円 × 10日) + (2,251円 × 9泊)}
				× 2人 × 1回 = 53 (53)
				小計 (イ) + (ロ) 88 (88)
				(4) 畜産技術研修(東京~白河, 4等級, 9泊10日)
				(イ) 鉄道賃 8,500円 × 2 × 2人 × 1回 = 34 (34)
				(ロ) 日当・宿泊料 {(643円 × 10日) + (2,251円 × 9泊)}
				× 2人 × 1回 = 53 (53)
				小計 (イ) + (ロ) 87 (87)
				(5) 農業土木技術研修 (東京~平塚, 4等級, 10泊11日)
				(イ) 鉄道賃 6,250円 × 2 × 2人 × 1回 = 25 (25)
				(ロ) 日当・宿泊料 {(643円 × 11日) + (2,251円 × 10泊)}
				× 2人 × 1回 = 59 (59)
				小計 (イ) + (ロ) 84 (84)
				計 (1) ~ (5) 559 (559)
				合計 1 + 2 1,371 (1,371)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
2. 海外事務所に必要な旅費	(846,328) 867,155	1,077,694	210,539	全額ODA
(項) 外国旅費	(321,618) 329,722	358,890	29,168	
(目) 外国赴帰任旅費	(167,637) 167,637	189,616	21,979	1. 海外事務所(テヘラン基準、家族構成2.5人 3等級)
				(1) 赴任 (新規 ⁽¹⁴⁾ 8件、交替赴任 ⁽¹¹⁾ 13件、計21件) ⁽¹⁵⁾
				航空賃 318,880円 × 2.5人 = 797,200円
				支度料 190,000円 × (1 + $\frac{2}{9}$) = 316,667円
				移転料 377,500円 × (1 + $\frac{15}{100}$) = 434,125円
				着後手当 13,555円 × $\frac{6}{3}$ × 10日 = 271,100円
				日当 3,200円 × $\frac{6}{3}$ = 6,400円
				旅行雑費 20,000円
				小計 1,845,492円 × 21件 = 38,755(27,682) ⁽¹⁵⁾
				(2) 帰国 (交替帰国 ⁽¹¹⁾ 13件)
				航空賃 318,880円 × 2.5人 = 797,200円
				移転料 377,500円 × (1 + $\frac{15}{100}$) = 434,125円
				着後手当 9,700円 × $\frac{6}{3}$ × 5日 = 97,000円
				日当 3,200円 × $\frac{6}{3}$ = 6,400円
				旅行雑費 9,570円
				小計 1,344,295円 × 13件 = 17,476(14,787) ⁽¹¹⁾
				計 (1) + (2) 56,231(42,469)
				2. 本部～海外支部交替旅費 (ブエノスアイレス基準、家族構成3.5人、3等級)
				(1) 赴任 (交替赴任 ⁽²¹⁾ 22人)
				航空賃 448,200円 × 3.5人 = 1,569

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減	換算 基 礎
				支度料 $150,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$
				移動料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$
				着後手当 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 10日 = 285$
				日当 $2,600円 \times \frac{8}{3} \times 3日 = 21$
				宿泊料 $8,100円 \times \frac{8}{3} \times 1泊 = 22$
				旅行雑費 $4,000円 \times 4人 = 16$
				小計 $2,556 \times \begin{matrix} (21) \\ 22件 \end{matrix} = 56,232 (53,646)$
				(2) 帰国 (交替帰国 22人)
				航空賃 $448,200円 \times 3.5人 = 1,569$
				移動料 $302,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 393$
				着後手当 $(850円 + 4,100円) \times \frac{8}{3} \times 5日 = 66$
				日当 $2,600円 \times \frac{8}{3} \times 3日 = 21$
				宿泊料 $8,100円 \times \frac{8}{3} \times 1泊 = 22$
				旅行雑費 $4 = 4$
				小計 $2,075 \times \begin{matrix} (21) \\ 22件 \end{matrix} = 45,650 (43,575)$
				計 (1) + (2) $101,882 (97,221)$
				3. 駐在員事務所 (テヘラン基準 家族構成 3.5人, 3等級)
				(3) 赴任 (交替赴任 2人)
				航空賃 $251,660円 \times 3.5人 = 881$
				支度料 $250,000円 \times (1 + \frac{2}{3}) = 250$
				移動料 $274,800円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 357$
				着後手当 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 10日 = 285$
				日当・宿泊料 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{3} \times 2日 = 57$

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比 増△減額	積算 基 礎
				旅行雑費 $2,500円 \times 3.5人 = 9$
				小計 $1,839 \times 6 = 11,034(9,195)$
				(2) 帰国(交替帰国 6人)
				航空賃 $251,660円 \times 3.5人 = 881$
				移転料 $274,800円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 375$
				着後手当 $(1,100円 + 5,100円) \times \frac{8}{9} \times 5日 = 83$
				日当・宿泊料 $(2,600円 + 8,100円) \times \frac{8}{9} \times 2日 = 57$
				旅行雑費 $2,500円 \times 3.5人 = 9$
				小計 $1,405 \times 6件 = 8,430(7,025)$
				計 (1) + (2) $19,464(16,220)$
				4. 海外支那間交替旅費 (サンパウロへアスンシオン基準 家族構成 3.5人 4等級)
				航空賃 $40,100円 \times 3.5人 = 140$
				移転料 $221,000円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 287$
				着後手当 $(3,200円 + 9,800円) \times \frac{8}{9} \times 10日 = 347$
				日当・宿泊料 $3,200円 \times \frac{8}{9} = 9$
				旅行雑費 $= 5$
				計 $788 \times 7件 = 5,516(5,516)$
				5. 海外支那間交替旅費 (サンパウロへブラジリア基準 家族構成 3.5人 4等級)
				航空賃 $24,000円 \times 3.5人 = 84$
				移転料 $128,460円 \times (1 + \frac{30}{100}) = 167$
				着後手当 $(2,330円 + 7,150円) \times \frac{8}{9} \times 5日 = 126$
				計 $377 \times 7件 \times \frac{229}{225} = 6,523(6,181)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				合計 1 ~ 5 189,616 (187,637)
(H) 子女呼寄せ旅費	(1,461) 1,538	1,384	△ 154	1. 海外事務所(テハロン基準) $(334,300円 \times \frac{75}{100} - 20,000円) \times (51人 - 15人) \times \frac{1}{3}$ $\times \frac{1}{2} = 1,384 (1,538)$
(H) 在外職員活動旅費	(56,529) 59,504	62,838	3,334	1. 海外事務所 (I) 既 設 航空賃 33,520円 × 1回 × 12月 × 23カ所 = 9,252 (8,849) 日当・宿泊料 {(1,818円 × 4日) + (5,664円 × 3泊)} × 1回 × 12月 × 23カ所 = 6,697 (6,406) 小 計 15,949 (15,429) (II) 新 設 航空賃 33,520円 × 1回 × 6月 × 2カ所 = 402 日当・宿泊料 {(1,818円 × 4日) + (5,664円 × 3泊)} × 1回 × 6月 × 2カ所 = 291 小 計 693 (0) 計 (I) + (II) 16,642 (15,429) 2. 海外支部 航空賃 35,970円 × 2回 × 12月 × 13カ所 = 11,223 (11,223) 日当・宿泊料 {(1,222円 × 4日) + (3,806円 × 3泊)} × 2回 × 12月 × 13カ所 = 5,087 (5,087) 計 16,310 × $\frac{229}{225}$ = 16,600 (15,730)

(70)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
				3. 駐在員事務所 既 災 分 $135,020円 \times 6ヵ所 \times 12月 = 25,924(25,924)$
				4. 融資管理旅費 (1) 現地一級融資の親現貸付及び既貸付債権管理旅費 $178,270円 \times 12月 \times \frac{229}{225} = 2,177(2,060)$ (2) 更生資金貸付及び指導旅費 $31,210円 \times 12月 \times \frac{229}{225} = 381(361)$ 計 (1) + (2) 2,558(2,421)
				5. 借法人清算活動旅費 航空賃 $25,920円 \times 2回 \times 5人 = 259$ 日当・宿泊料 $\{(3,420円 \times 7日) + (10,260円 \times 6泊)\} \times 2回 \times 5人 = 855$ 計 1,114(0) 合 計 1 ~ 5 62,838(59,504)
(B) 一時帰国旅費	(95,991) 101,043	105,052	4,009	1. 海外事務所(テヘラン基準) (1) 一時帰国旅費 航空賃 $351,700円 \times 2.5人 \times 1.5人 = 13,196$ 日 当 $1,812円 \times 1日 \times 2回 \times \frac{6}{3} \times 1.5人 = 109$ 小 計 (7,983) 13,305 (2) 急引帰国旅費 航空賃 $(600,160円 - 50,000円) \times 5.1人 \times \frac{2}{3} \times \frac{45}{1,000} = 842$ 1809

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				<p>(ハ) 海外事務部長会議出席旅費(2等級) 航空費・日当宿泊料</p> $\{600,760円 + (3,800円 \times 10日) + (11,400円 \times 9日)\} \times 25カ所$ $(16,297)$ $= 18,519$ <p>計 (イ) ~ (ハ) 32,666 (25,089)</p> <p>ニ. 海外支部(ブエノスアイレス基準)</p> <p>(イ) 一時帰国旅費 航空費 493,540円 × 3.5人 = 1,727 日当宿泊料 $\{(2,937円 \times 2日) + (2,657円 \times 1日) + 8,880\}$ $\times \frac{8}{9} \times 2往復 = 93$ 小計 1,820 × 20件 = 36,400 (36,400)</p> <p>(ロ) 尾引帰国旅費 航空費 (746,370円 - 50,000円) × 5件 = 3,482 (3,482)</p> <p>(ハ) 海外支部長会議出席旅費(2等級) 航空費・日当宿泊料 $\{774,770円 + (3,800円 \times 10日) + (11,400円 \times 9日)\}$ $\times 13カ所 = 11,892$ $(11,892)$ $= 11,892$ 計 (イ) ~ (ハ) 51,774 (51,774)</p> <p>三. 駐在員事務所(テヘラン基準)</p> <p>(イ) 一時帰国旅費 航空費 503,330円 × 3.5人 = 1,762 日当 4,200円 × 1日 × 2回 × $\frac{8}{9}$ = 22 小計 1,784 × 5件 = 8,920 (12,488)</p>

(22)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比増 減△減額	種 類	算 式	基 礎 数 値
				(Ⅶ) 帰国旅費		
				航空費	$(800,160円 - 50,000円) \times 1人$	= 550 (550)
				(Ⅷ) 駐在員家族帰国旅費		
				航空費	$800,160円 \times 16名$	= 9,603 (9,603)
				日当宿泊料	$\{(3,800円 \times 2日 \times 2) + (11,400円 \times 13日 \times 2)\}$ $+ \{(1,600円 + 8,100円) \times 6日\} \times 16名$	= 1,539 (1,539)
				小計		11,142 (11,142)
				計	(Ⅰ) ~ (Ⅷ)	20,812 (24,180)
				合計	1 ~ 3	106,052 (101,043)
(Ⅹ) 業務諸費	(512,506) 524,587	704,569	179,982			
(Ⅺ) 諸謝金	(15,433) 15,433	23,325	8,092	(1) 顧問謝金	$(142,710)$ $148,420円 \times 1人 \times 12月$	= 1,781 (1,713)
				(2) 嘱託謝金	$(66,280)$ $68,930円 \times 5人 \times 12月$	= 4,136 (3,977)
				(3) 弁護士謝金	$(41,920)$ (13) $43,600円 \times 13人 \times 12月$	= 6,802 (6,540)
				(4) 会計士謝金	$(35,080)$ $36,480円 \times 1人 \times 12月$	= 438 (421)
				(5) カナダ協力員謝金	$(17,360)$ $18,050円 \times 6人 \times 12月$	= 1,300 (1,250)
				(6) 遊学謝金	$(175,070)$ $182,070円 \times 1人 \times 12月$	= 2,185 (2,101)
				(7) ホストファミリー員謝金	$18,050円 \times 5人 \times 12月$	= 1,083 (0)
				(8) 委託謝金	$400,000円 \times 1人 \times 12月$	= 4,800 (0)
				(9) 伯法人清算関係依頼謝金		(0) 1,000
				(1) 弁護士謝金	500,000円	

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎																																								
(甲) 方	(370,973) 377,373	526,211	148,838	(ロ) 会計士謝金 500,000円 計 (1) ~ (9) 23,525 (15,433) 1. 入当庁費 $\frac{(62,210)}{62,210円 \times 177人 \times \frac{229}{225}} = 11,207 (10,920)$ 2. 厚生費 $\frac{(4,020)}{4,020円 \times 177人 \times \frac{229}{225}} = 724 (706)$ 3. 備品費 (1) 海外事務所 (イ) 既設分																																								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>品 名</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">バンコック地</td> <td>複 写 機</td> <td>1</td> <td></td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電動タイプライター</td> <td>2</td> <td>300</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>事務机・椅子</td> <td>4</td> <td>150</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>ファイルキャビネット</td> <td>5</td> <td>30</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>書 棚</td> <td>4</td> <td>150</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>応接セット</td> <td>2</td> <td>310</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>増買初年度備品</td> <td>事務机・椅子</td> <td>4</td> <td></td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(4,257) 4,257</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	品 名	数 量	単 価	金 額	バンコック地	複 写 機	1		1,300	電動タイプライター	2	300	600	事務机・椅子	4	150	600	ファイルキャビネット	5	30	150	書 棚	4	150	600	応接セット	2	310	620	増買初年度備品	事務机・椅子	4		387	小 計				(4,257) 4,257
区 分	品 名	数 量	単 価	金 額																																								
バンコック地	複 写 機	1		1,300																																								
	電動タイプライター	2	300	600																																								
	事務机・椅子	4	150	600																																								
	ファイルキャビネット	5	30	150																																								
	書 棚	4	150	600																																								
	応接セット	2	310	620																																								
増買初年度備品	事務机・椅子	4		387																																								
小 計				(4,257) 4,257																																								
				(ロ) 新設分																																								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>品 名</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ムカヅ</td> <td>事務机・椅子</td> <td>9</td> <td>150</td> <td>1,350</td> </tr> <tr> <td>会議テーブル・椅子</td> <td>3</td> <td>400</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	品 名	数 量	単 価	金 額	ムカヅ	事務机・椅子	9	150	1,350	会議テーブル・椅子	3	400	1,200																										
区 分	品 名	数 量	単 価	金 額																																								
ムカヅ	事務机・椅子	9	150	1,350																																								
	会議テーブル・椅子	3	400	1,200																																								

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増減額	積 算 基 礎				
				区 分	品 名	数 量	単 価	金 額
					応接セット	3	310	930
					書庫類	3	150	450
					複写機	3	1,300	3,900
					電動タイプライター	3	300	900
					卓上計算機	3	100	300
					金庫	3	100	300
				小 計				9,330
				(1) その他前年度限り				0 (11,971)
				計 (イ) ~ (ハ)				13,587 (11,971)
				(2) 海外支部				
				区 分	品 名	数 量	単 価	金 額
				アスンシオン他	複写機	2	1,300	2,600
					電動タイプライター	2	300	600
					輪転機	1		560
					電話機	2	150	300
					クーラー	3	290	870
					冷蔵庫	1		250
					応接セット	1		310
					書庫類	5	150	750
				事務机・椅子	5		4,077	
				小 計				6,647

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比 増減額	算 基
その他前年度限り				0 (6,647)
計				6,647 × $\frac{228}{225}$ = 6,736 (6,411)
(3) 駐在員事務所				
① 事務所		(23,250)		$\frac{24,410}{24,410}$ 円 × 16カ所 = 372
② 連絡所		(23,250)	(21)	$\frac{24,410}{24,410}$ 円 × 23カ所 = 561
計				① + ② = 952 (860)
合計				(1) ~ (3) = 21,275 (19,242)
4. 現地備入費				
(1) 海外事務所				
(イ) 既設分 (23カ所)				
高級クラーク		(793.84)	(8)	$\frac{825.20}{825.20}$ 円 × 13月 × 11人 × 229円 = 27,037 (17,918)
クラーク		(307.82)	(21)	$\frac{319.82}{319.82}$ 円 × 13月 × 26人 × 229円 = 24,759 (17,353)
タイピスト等		(214.25)	(23)	$\frac{223.55}{223.55}$ 円 × 13月 × 23人 × 229円 = 15,307 (13,340)
小計				67,105 (48,611)
(ロ) 新設分 (2カ所)				
高級クラーク				$\frac{825.20}{825.20}$ 円 × 6月 × 2人 × 229円 = 2,253
クラーク				$\frac{319.82}{319.82}$ 円 × 6月 × 2人 × 229円 = 879
タイピスト等				$\frac{223.55}{223.55}$ 円 × 6月 × 2人 × 229円 = 614
小計				3,746 (0)
計				(イ) + (ロ) = 70,851 (48,611)
(2) 海外支部		(47,910)		$\frac{49,830}{49,830}$ 円 × 13月 × 31人 × $\frac{229}{225}$ = 20,438 (18,621)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減	積 算 基 礎
				(3) 駐在員事務所
				① 事務所
				高級クラーク $\frac{(293,822)}{825,720 \text{円}} \times 13 \text{月} \times 6 \text{人} \times 229 \text{円} = 14,749$ (8,757)
				タイピスト等 $\frac{(214,265)}{223,555 \text{円}} \times 13 \text{月} \times 16 \text{人} \times 229 \text{円} = 10,648$ (8,489)
				小 計 25,397 (17,448)
				② 連絡所
				(イ) 既 設 办 $\frac{(87,421)}{90,211 \text{円}} \times 13 \text{月} \times 23 \text{カ所} \times 229 \text{円} = 6,225$ (5,198)
				計 ① + ② 31,622 (22,626)
				合 計 (1) ~ (3) 122,711 (90,198)
				5. 通信運搬費
				(1) 海外事務所
				(イ) 既 設 办 $\frac{(29,070)}{30,520 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 23 \text{カ所} = 8,424$ (7,765)
				(ロ) 新 設 办 $30,520 \text{円} \times 6 \text{月} \times 2 \text{カ所} = 366$ (0)
				(ハ) テレックス使用料
				① 既 設 $\frac{(910)}{960 \text{円}} \times 13 \text{月} \times 20 \text{日} \times 12 \text{月} \times 13 \text{カ所} = 38,938$ (31,941)
				② 新 設 $960 \text{円} \times 13 \text{月} \times 20 \text{日} \times 6 \text{月} \times 3 \text{カ所} = 4,493$ (0)
				小 計 (1) ~ (ハ) $52,221 \times \frac{229}{225} = 53,150$ (78,294)
				(2) 海外支部
				$\frac{(63,120)}{66,280 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 13 \text{カ所} \times \frac{229}{225} = 10,523$ (9,497)
				(3) 駐在員事務所

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(イ) 既設分 $\frac{(26,620)}{27,950 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 16 \text{ヵ所} = (5,111)$ $5,366$
				(ロ) テレックス使用料 既設分 $\frac{(2,220)}{2,330 \text{円}} \times 10 \text{月} \times 12 \text{月} \times 16 \text{ヵ所} = (4,262)$ $4,774$
				小計 (イ) + (ロ) $10,140 \times \frac{229}{225} = 10,320 (2,040)$
				合計 (イ) ~ (ロ) $13,993 (56,831)$
				6. テレックス設置費 $\frac{(1,948,850)}{2,046,290 \text{円}} \times (1) \times 3 \text{ヵ所} = 6,139 (1,949)$
				7. 賃料及び損料
				(1) 海外事務所
				(イ) 既設分 $\frac{(87,840)}{92,230 \text{円}} \times (18) \times \frac{229}{225} = (17,653)$ $16,897$
				(ロ) 合併分
				① ナイロビ (220m ²) 賃借料、管理費 $\frac{(976)}{(1,025 \times 1.2)} \times 12 \text{月} \times \frac{229}{217} = (14,052)$ $15,576$
				② フアランプール (220m ²) $\frac{(486)}{(510 \times 1.2)} \times 12 \text{月} \times \frac{229}{217} = (6,996)$ $7,750$
				③ ダレサラム (220m ²) $\frac{(1,326)}{(1,392 \times 1.2)} \times 12 \text{月} \times \frac{229}{217} = (19,092)$ $21,153$
				④ マニラ 賃借料 $\frac{P86.62}{\$7.687} / \text{m}^2 \times 300 \text{m}^2 \times 229 \text{円} = 773$ 管理費 $773 \times 0.2 = 155$
				小計 $928 \times 12 \text{月} = 11,136 (0)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基	算 式	算 額
				⑤ ダツカ		
				賃借料	$\frac{1,82,49}{34,8660} / m^2 \times 220 m^2 \times 229 m = 246$	
				管理費	$246 \times 0.2 = 49$	
				小 計	$295 \times 12月 = 3,540 (0)$	
				⑥ カトマンドウ		
				賃借料	$\frac{32,50}{11,72} / m^2 \times 220 m^2 \times 229 m = 138$	
				管理費	$128 \times 0.2 = 28$	
				小 計	$166 \times 12月 = 1,992 (0)$	
				計 ① ~ ⑥		61,147 (40,140)
				イ) 事務所借上		
				① バンコツク (300 m ²)		
				賃借料、管理費		
					$(1,375) (19,800)$	
					$(1,444 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{229}{217} = 21,943$	
				② ジヤカルダ (411.685 m ²)		
				賃借料、管理費		
					$(1,327) (18,429)$	
					$(1,393 \times 1.2) \times 12月 \times \frac{229}{225} = 20,416$	
				駐車場賃料	$(34) (393)$	
					$37 \times 12月 \times \frac{229}{225} = 452$	
				小 計		(18,822) 20,868
				計 ① ~ ②		42,811 (38,622)
				ロ) 新 設 办		
					$(128,320) (1,646)$	
					$134,740 円 \times 6月 \times 2ヶ所 \times \frac{229}{225} = 1,646 (0)$	

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増減率	算 出 基 礎
				(ホ) テレックス機器借料 (バンコック、マニラ、ボゴタ、ダッカ、メキシコ、北京) $\frac{(298,080)}{312,980 \text{円}} \times 6 \text{台} \times \frac{229}{225} = 1,911 (862)$
				計 (イ) ~ (ホ) 124,412 (78,455)
				(2) 海外支部
				(イ) 賃借料 $\frac{(4,334,870)}{4,551,400 \text{円}} \times 12 \text{月} \times \frac{229}{225} = 55,588 (52,016)$
				(ロ) 現採職員宿舍借料 $\frac{(80,360)}{84,380 \text{円}} \times 15 \text{人} \times 12 \text{月} \times \frac{1}{2} \times \frac{229}{225} = 7,729 (7,232)$
				(ハ) 旧法人解散後の事務所借料 $92,230 \text{円} \times 12 \text{月} \times 8 \text{台} = 8,854 (0)$
				小 計 (イ) ~ (ハ) 72,171 (54,195)
				(3) 駐在員事務所
				(イ) 事務所 $\frac{(59,950)}{62,950 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 10 \text{台} = 7,554 (9,352)$
				(ロ) 連絡所 $\frac{(59,950)}{62,950 \text{円}} \times 12 \text{月} \times 23 \text{台} = 17,374 (15,105)$
				小 計 (イ) ~ (ロ) $24,928 \times \frac{229}{225} = 25,371 (23,587)$
				合 計 (1) ~ (3) 221,954 (159,183)
				8. 自動車購入費
				(1) 海外事務所
				(イ) 既設分 $\frac{(13,26,780)}{1,393,120 \text{円}} \times 6 \text{台} = 8,359 (9,288)$
				マイワロバス $3,000,000 \text{円} \times 3 \text{台} = 9,000 (0)$

(82)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 算 基 礎
				(ロ) 新設分 $1,393,120 \text{円} \times 3 \text{台} = 4,179(0)$
				小 計 (イ) + (ロ) $21,538(9,288)$
				(2) 海外支那
				$(1,609,480)$ (14)
				$1,689,950 \text{円} \times 14 \text{台} \times \frac{229}{225} = 24,080(21,732)$
				(3) 駐在員事務所
				既設分 $(1,220,690)$ (6)
				$1,281,720 \text{円} \times 1 \text{台} = 8,972(7,324)$
				計 (1) ~ (3) $54,690(38,344)$
				9. 印刷製本費
				(1) 技術協力紹介カレンダー (B2版、カラー写真版、表紙共13枚綴)
				$800 \text{円} \times 10,000 \text{部} = 8,000(0)$
				(2) 技術協力事業手帳 (A6版、資料頁含む150頁)
				$370 \text{円} \times 10,000 \text{部} = 3,700(0)$
				計 (1) ~ (2) $11,700(0)$
				10. 海外事務所員賃金
				日本人学技建設員賃金 (自己収入見合分)
				$1,500 \text{ドル} \times 229 \text{円} \times 5 \text{カ国} = 1,718(0)$
				総 計 1 ~ 10 $526,211(377,373)$
(甲) 渡 切 費	(118,058) 123,687	145,867	22,180	1. 渡 切 費
				(1) 海外事務所
				(イ) 既設分
				$(663,33)$ (38,427)
				$696.32 \text{ドル} \times 12 \text{月} \times 23 \text{カ所} \times 229 \text{円} = 44,015$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	前年度比較 増△減額	積算 基 礎
				(イ) 新設金 $696,32 \text{円} \times 6 \text{月} \times 2 \text{加増} \times 229 \text{円} = 1,714$ 小計 (イ) + (ロ) $45,929 (38,427)$
				(2) 海外支部 (900.00) (1008.00) (31,312) (945.00円 × 10加増) + (1008.00円 × 3加増) × 12月 × 229円 = 34,695
				(3) 駐在員事務所 ① 事務所 (720.00) (30,000) 756.00円 × 12月 × 16加増 × 229円 = 33,242 ② 連絡所 (284.00) (21) (12,850) 246.00円 × 12月 × 23加増 × 229円 = 16,596 小計 ① + ② $48,837 (42,850)$ 計 (イ) ~ (ロ) $129,461 (112,589)$
				2. 勤務環境改善費 (1) 海外事務所

対象地域	保養地	航空 價	日当宿泊料	小計 円	人数 人	計 円
(アジア地域)						
Bangladesh	シンガポール	$134,270 \times 2.5 \text{人} = 335,675$	$\{30 \text{円} + (10 \text{円} \times 4 \text{人})\} \times 14 \text{日} \times 225 \text{円}$ = 220,500	556	(1) 2	1,112
ネパール	"	$154,720 \times 2.5 \text{人} = 386,800$	220,500	607	(1) 2	1,214
(中近東地域)						
サウジアラビア	ローマ	$266,970 \times 2.5 \text{人} = 667,425$	220,500	888	1	888
(アフリカ地域)						
ナイジェリア	マドリッド	$241,690 \times 2.5 \text{人} = 604,225$	220,500	900	1	900
タンザニア	ローマ	$309,330 \times 2.5 \text{人} = 773,325$	220,500	994	(1) 2	1,988

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算	対前年度比較増減額	積算基礎			
	対象地域	保養地	航空賃	日当宿泊料	小計	人数	計
	(中米地域)		円	円	千円	人	千円
	ボリビア(ラパス)	エノスアイレス	60,960 × 2.5人 = 152,400	220,500	378	(1) 2	(373) 746
	(その他地域)						
	パプアニューギニア	シドニー	154,000 × 2.5人 = 385,000	220,500	606	(0) 1	606
	計					(6) 11	(4,318) 7,454
				7,454 × $\frac{229}{225}$			= 7,587 (4,164)
				(2) 駐在員事務所			
	対象地域	保養地	航空賃	日当宿泊料	小計	人数	計
	(アジア地域)		円	円	千円	人	千円
	バンラディッシュ	シンガポール	134,270 × 3.5人 = 469,945	{30円 × (10円 × 4人)} × 14日 × 225円 = 220,500	690	1	690
	ネパール	"	154,920 × 3.5人 = 541,520	220,500	762	1	762
	(アフリカ地域)						
	エチオピア	ローマ	247,190 × 3.5人 = 865,165	220,500	1,086	1	1,086
	タンザニア	"	309,330 × 3.5人 = 1,082,655	220,500	1,303	1	1,303
	マラウイ	"	328,240 × 3.5人 = 1,148,840	220,500	1,369	1	1,369
	カ...	マドリッド	292,000 × 3.5人 = 1,022,000	220,500	1,243	1	1,243
	計					(6) 6	(6,453) 6,453

(単位、千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	換算	基礎	環	
						$6,453 \times \frac{229}{225} = 6,568 (6,224)$	
				計 (1) + (2)		14,155 (10,388)	
3. 高地对策費							
(1) 海外事務所							
	対象地域	保養地	航空賃	日当・宿泊料	小計	回数	計
			円	円	円	回	円
	メキシコ	アカプルコ	$(18,570 \times 2.5人) \times 3家族 = 139,425$	$\{30円 + (10円 \times 2人)\} \times 3家族 \times 4日 \times 225円 = 135,000$	275	(1) 3	(275) 825
	ボゴタ	サンタマルタ	$(19,490 \times 2.5人) \times 2家族 = 97,450$	90,000	187	(1) 3	(187) 567
	ラバース	サンタクルス	$(18,820 \times 2.5人) \times 2家族 = 47,050$	45,000	92	(1) 3	(92) 276
							(554) 1,662
							$1,662 \times \frac{229}{225} = 1,692 (534)$
							(2) 駐在員事務所
	対象地域	保養地	航空賃	日当・宿泊料	小計	回数	計
			円	円	円	回	円
	アジズババ	アスマラ	$(34,340 \times 3.5人) \times 1家族 = 120,190$	$\{30円 + (10円 \times 2人)\} \times 4日 \times 1家族 \times 225円 = 63,000$	183	(1) 3	(183) 549
							$549 \times \frac{229}{225} = 559 (176)$
				計 (1) + (2)			2,251 (710)
				合計 1 ~ 3			145,867 (123,687)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基礎
(H) 移住地管理費	(8,042) 8,044	8,966	872	
				1. サンファン・オキナワ移住地境線清掃費
				サンファン移住地境線 $120 \text{ km} \times \frac{1}{2} \times \frac{(10,520)}{11,050} \text{ 円} = 663$
				オキナワ " $234 \text{ km} \times \frac{1}{2} \times \frac{(10,520)}{11,050} \text{ 円} = 1,293$
				境線巡回見回り謝金 $(6,320) \text{ 円} \times 2 \text{ 回} \times 12 \text{ 月} = 158$
				小 計 $2,114 \times \frac{229}{225} = 2,152 (1,942)$
				2. グアタパラ移住地管理費 (事業団所有地区画保全のための排水路清掃費分担金)
				・底地区所有内訳
				事業団所有面積 35.0 ha
				入植者利用面積 843
				計 $1,193$
				保全費内訳
				ア. 幹線排水路補修(延長8,500m)年1回
				ドラグライン経費 $(2,830) \text{ 円} \times \frac{8,500 \text{ m}}{4.0 \text{ ha}} = 601$
				ブルドーザー経費 $(2,300) \text{ 円} \times 5.0 \text{ ha} = 121$
				小 計 $(716) \text{ 円} = 752$
				イ. 支線排水路補修(延長17,500m)年2回
				ドラグライン経費 $(2,830) \text{ 円} \times \frac{17,500 \text{ m}}{6.0 \text{ ha}} \times 2 \text{ 回} = 1,733$
				ブルドーザー経費 $(2,300) \text{ 円} \times 5.0 \text{ ha} \times 2 \text{ 回} = 242$
				小 計 $(1,881) \text{ 円} = 1,975$

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増減額	積算 基 礎
ウ.排水機運転				ポンプ $\frac{(2,500)}{2,630 \text{円} \times 240 \text{ha} \times 2 \text{回}} = 1,200$ 計 ア～ウ $3,797$
事業田負担額				$3,989 \times \frac{350}{1,193} \text{ha} \times \frac{229}{225} = 1,191 (1,014)$
エ.アンデス移住地管理費				
(1) 水利税				
水利税賦課面積				$\frac{\text{総面積}}{(1,257 \text{ha} - 570 \text{ha})} = 687 \text{ha}$
税 額				$\frac{(5,220)}{5,480 \text{円}} \times 687 \text{ha} = 3,765 (3,586)$
(2) 水路維持費(事業田負担分)				
主水路				$\frac{(90)}{95 \text{円} \times 845 \text{m} \times 2 \text{回}} = 162$
幹線水路				$\frac{(45)}{47 \text{円} \times 1,289 \text{m} \times 2 \text{回}} = 121$
支線水路				$\frac{(25)}{26 \text{円} \times 2,662 \text{m} \times 2 \text{回}} = 138$
小 計				$421 (403)$
(3) 分水口維持費				
分水口(大)				$\frac{(82,800)}{86,940 \text{円} \times 1 \text{箇所} \times \frac{687}{1,257} \text{ha}} = 48$
" 小				$\frac{(48,900)}{51,350 \text{円} \times 6 \text{箇所} \times \frac{687}{1,257} \text{ha}} = 168$
小 計				$216 (205)$
計				$(1) \sim (3) 4,402 \times \frac{229}{225} = 4,480 (4,045)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
				4. 融資管理業務印刷製本費 現地融資の貸付、回収管理等に要する諸様式の印刷代 $\frac{(100)}{105 \text{円}} \times 10,700 \text{部} \times \frac{229}{225} = 1,143 (1,033)$
(項) 施設費	(12,204) 12,846	14,235	1,389	合計 1 ~ 4 8,966 (8,094)
(目) 施設費	(12,204) 12,846	14,235	1,389	職員宿舍建設 (イ) アシシオン支部 アルトパラナ事務所 パラグアイ農薬総合試験場 (ロ) サンタクルス支部 サンタクルス農薬総合試験場 $\text{工事費} \frac{(61,580)}{64,660 \text{円}} \times 70 \text{m}^2 \times 3 \text{棟} = (12,932) 13,579$ $\text{工事雑費} 13,579 \text{円} \times 0.03 = (388) 407$ $\text{計} 13,986 \times \frac{229}{225} = 14,235 (12,846)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	依	算	基	礎	
3. 国際協力調査研究調査及び効果測定費	(14,544) 15,349	15,574	265	全額ODA				
(1) 国際協力調査研究調査費	(6,033) 6,350	6,464	114					
(甲) 外国旅費	(4,552) 4,771	4,843	52					
(乙) 外国出張旅費	(4,101) 4,317	4,317	0					
区分	等級	人員	期間	航空費	旅費料	日当・宿泊料	旅行雑費	計
1. 国際協力調査	号	人	日	円	円	円	円	円
アジア地域 (バンコク基準)	3	4	30	96,050×4人 = 384,200	48,418×4人 = 193,672	{(1,672×30日)+(5210×29日)} × 4人 = 805,000	1,608×4人 = 6,432	1,389
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	2	30	268,000×2人 = 536,000	48,418×2人 = 96,836	{(1,672×30日)+(5210×29日)} × 2人 = 402,500	1,608×2人 = 3,216	1,039
小計		6						2,428
2. 効果測定調査								
アジア地域 (ダッカ基準)	3	2	30	140,530×2人 = 281,060	48,418×2人 = 96,836	{(1,672×30日)+(5210×29日)} × 2人 = 402,500	1,608×2人 = 3,216	784
アフリカ地域 (ナイロビ基準)	3	(1) 1	30	268,000×1人 = 268,000	48,418×1人 = 48,418	{(1,672×30日)+(5210×29日)} × 1人 = 201,250	1,608×1人 = 1,608	519
中南米地域 (リオ基準)	3	1	30	335,100×1人 = 335,100	48,418×1人 = 48,418	{(1,672×30日)+(5210×29日)} × 1人 = 201,250	1,608×1人 = 1,608	586
小計		(4) 4						1,889
合計		(10) 10						4,317

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増減額	算 算 基 礎
(目) 現地調査費	(451) 474	526	52	$(98,390) / 0.3310 \times 51 - 1 \times \frac{227}{225} = 526 (474)$
(項) 業務諸費	(1,481) 1,559	1,621	62	
(目) 諸謝金	(581) 612	634	22	(1) 会議出席謝金 $(2,740) / 2,850 \text{円} \times 9 \text{人} \times 6 \text{回} = 154 (148)$ (2) 外国資料謝金 $(580) / 400 \text{円} \times 100 \text{枚} \times 8 \text{種} = 480 (484)$ 計 (1) + (2) 634 (612)
(目) 委員旅費	(62) 65	65	0	会議上京旅費(大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(8,686 \text{円} + 12,922 \text{円}) \times 3 \text{人} = 65 (65)$
(目) 職員旅費	(59) 62	62	0	会議打合旅費(大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(7,740 \text{円} + 12,922 \text{円}) \times 3 \text{人} = 62 (62)$
(目) 印刷費	(779) 820	860	40	(1) 印刷製本費 調査報告書作成費 $(180) / 189 \text{円} \times 450 \text{部} \times 9 \text{種} = 765 (729)$ (2) 通信運搬費 連絡通函費 $(4,330) / 4,550 \text{円} \times 6 \text{種} = 27 (26)$ (3) 会議費 出張前・帰国打合せ $(180) / 190 \text{円} \times 10 \text{人} \times 6 \text{回} \times 6 \text{種} = 68 (65)$ 計 (1) + (2) + (3) 860 (820)
(2) 業務用及び学術調査研究会 経費	(3,168) 3,335	3,430	95	
(項) 業務諸費	(3,168) 3,335	3,430	95	
(目) 諸謝金	(851) 896	934	38	(1) 委員謝金 $(1,900) / 1,980 \text{円} \times 7 \text{人} \times 4 \text{回} \times 8 \text{委員会} = 444 (426)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	前年度と比較増△減額	概算	基	決
				(2) 調査資料等作成謝金 (470) 470円 × 100部 × 10巻 =		470 (470)
				計 (1) + (2)		934 (876)
(目) 委員旅費	(781) 822	822	0	委員上京旅費(大阪基準, 3等級, 3泊4日) (11,197円 + 12,293円) × 5人 × 2回 =		822 (822)
(目) 印刷費	(1,536) 1,617	1,674	57	(1) 印刷製本費		
				(i) 委員会資料 (130) 130円 × 100部 × 6回 × 2委員会 =		168 (156)
				(ii) 委員会報告書 (290) 300円 × 100部 × 2委員会 =		60 (58)
				(iii) 報告書作成 (430) 450円 × 200部 × 2巻 =		180 (172)
				(iv) 調査資料作成 (240) 250円 × 200部 × 10巻 =		500 (480)
				計 (i) ~ (iv)		908 (866)
				(2) 通信運搬費		
				連絡通信費 (1,490) 1,560円 × 12回 =		19 (18)
				(3) 図書購入費		
				研究図書 (1,490) 1,560円 × 28巻 =		44 (30)
				(4) 会議費		
				(i) 委員会 400円 × 10人 × 8回 × 3委員会 =		96 (96)
				(ii) 研究発表会 380円 × 7人 × 10回 =		27 (27)
				計 (i) + (ii)		123 (123)
				(5) 賃金		
				臨時雇員 (2,510) 2,610円 × 3人 × 27日 × 0.962 =		580 (580)
				合計 (1) ~ (5)		1,674 (1,617)

項目及び科目	前年度予算	当年度予算	対前年度比増減	積算	算定	基礎	炭		
(3) 技術協力要請等関係途上国調査費	< 5,343 5,624	5,680	56						
(取) 外国旅費	< 5,343 5,624	5,680	56						
(目) 外国出張旅費	< 4,845 5,100	5,100	0						
	区 分	等級	人員	期間	航空費	支度料	日当・宿泊料	旅行雑費	計
	東南アジア (バンコク基準)	3	2	30	236,070 × 2人 = 472,180	65,786 × 2人 = 131,572	{(332.0 × 30日) + (9965 × 27日)} × 2人 = 772,170	2,185 × 2人 = 4,370	< 1,385 1,385
	西南アジア (テヘラン基準)	3	2	30	725,390 × 2人 = 1,450,780	131,572	772,170	4,370	< 1,664 1,664
	中近東・アフリカ (カイロ基準)	3	2	30	527,160 × 2人 = 1,054,320	131,572	772,170	4,370	< 2,051 2,051
	合 計		4						< 5,100 5,100
(目) 現地調査	< 4,98 524	580	56		(180,970) 170,020円 × 34-△ × $\frac{22}{22.5}$	=	580	< 524	

(単位 千円)

項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
4. 情報管理に必要経費	(14,411) 15,170	15,396	226	全額ODA
(1) 統計費				
(項) 業務諸費				
(目) 方 費	(1,744) 1,836	1,861	25	1. 備品費
				(1) ファイルキャビネット ^(3,770) 3,960円 × 4個 = 16 (15)
				(2) カードボックス ⁽¹⁸³¹⁰⁾ 18,230円 × 1個 = 19 (18)
				計 (1) ~ (2) 35 (33)
				2. 印刷製本費
				(1) 実績表(和文) 240円 × 500部 × 4回 = 480 (480)
				(2) " (英文) 410円 × 300部 × 2回 = 246 (246)
				(3) 統計カード ⁽⁸⁾ 9円 × 2,000部 = 18 (16)
				(4) 統計帳票 ⁽³⁷⁾ 40円 × 2,220部 × 3巻 = 266 (246)
				計 (1) ~ (4) 1,010 (988)
				3. 賃 金
				実績統計等臨時雇員 ^(2,510) 2,610円 × 300人月 × 0.962 = 753 (753)
				4. 通信運搬費
				(1) 実績表(国内) ⁽³⁸⁾ 40円 × 150部 × 4回 = 24 (23)
				(2) " (海外) ⁽⁴⁸⁾ 50円 × 100部 × 2回 = 10 (10)
				計 (1) ~ (2) 34 (33)
				5. 会議費
				検封作成打合せ 160円 × 15人 × 12回 = 29 (29)
				合 計 1 ~ 5 1,861 (1,836)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概 算 基 礎
(2) 資料費				
(項) 業務諸費	< 5,214 5,489	5,570	81	
(目) 諸謝金	< 707 745	775	30	1. 外国資料網送料 < 520 540円 × 50枚 × 20種 = 540 (520)
				2. 情報資料分析謝金 < 450 470円 × 100枚 × 5件 = 235 (225)
				計 1 ~ 2 775 (745)
(目) 片 費	< 4,507 4,744	4,795	57	1. 資料収集費
				(1) 資料購入費 (図書費相用)
				イ) 外国雑誌等 750円 × 5種 × 12回 = 45 (45)
				ロ) 国内雑誌等 370円 × 20種 × 12回 = 89 (89)
				ハ) 外国図書 1,500円 × 100部 = 150 (150)
				ニ) 国内図書 (一般) 370円 × 300部 = 111 (111)
				ホ) 〃 (専門) 1,850円 × 50部 = 93 (93)
				ヘ) 世界経済情報サービス「ARCLレポート」年間 = 216 (216)
				ト) 新聞縮刷版 1,110円 × 5種 × 12回 = 67 (67)
				チ) その他資料 1,860円 × 5種 × 12回 = 112 (112)
				小 計 1) ~ 4) 883 (883)
				(2) マイクロフィルム作成費
				イ) 専門家報告書 < 7 235円 × 20枚 × 2,000件 = 274 (280)
				ロ) 一般資料 < 7 235円 × 100枚 × 100件 = 74 (70)
				小 計 1) ~ 2) 368 (350)
				計 (1) ~ (2) 1,251 (1,233)
				2. 備品費
				マイクロフィルムキャビネット < 52430 53,050円 × 2個 = 110 (105)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎
				3. 印刷製本費	
				(1) 資料室蔵書目録	780円 × 500部 = 390 (390)
				(2) 刊行物資料目録	⁽⁸⁸⁾ 90円 × 500部 × 2回 = 90 (88)
				(3) 図書目録カード用紙	⁽⁸⁾ 10円 × 3,000部 = 30 (24)
				(4) 新刊資料作成	160円 × 100部 × 20種 = 320 (320)
				(5) 図形技術協力実績	410円 × 500部 = 205 (205)
				(6) 分析情報資料作成	380円 × 100部 × 5件 = 190 (190)
				計 (1) ~ (6)	1,175 (1,167)
				4. 会議費	
				国際機関情報収集打合せ	220円 × 20人 × 12回 = 53 (53)
				5. 消耗品費	
				(1) コピー用紙	
				⁽¹⁵⁾ 15.8円 × (90枚 × 1,500冊) + (100枚 × 100冊)	= 375 (375)
				(2) 現像液(MA)	1570円 × 5瓶 = 8 (8)
				(3) 現像液(MN)	4520円 × 5瓶 = 23 (23)
				計 (1) ~ (3)	426 (406)
				6. 借料及び賃料	
				五反静電ファックス受信機のための借料	
					105,050円 × 12月 = 1,261 (1,261)
				7. 賃金	
				(1) 図書資料整理臨時雇	^(2,510) 2,610円 × 2人 × 73日 × 0.962 = 366 (366)
				(2) マイクロフィルム夜間作業	^(2,510) 2,610円 × 1人 × 61日 × 0.962 = 153 (153)
				計 (1) ~ (2)	519 (519)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増減率	積算 基礎
				合計 1 ~ 7 4,795 (4,744)
(3) 技術協力情報整備費				
(ア) 業務費	(2,936) 3,071	3,077	6	
(イ) 諸謝金	(1,773) 1,866	1,872	6	図書資料室の一般公開に伴う整備費 (1,500) (1) 資料整理費 1,560円 × 1人 × 4時間 × 2.5日 × 1月 = 156 (150) (2) 目録整理費 イ) 目録カード(和語)作成 460円 × 1,950冊 = 897 (877) ロ) 〃 (洋書)作成 630円 × 1,300冊 = 819 (819) 小計 ア) ~ ロ) 1,716 (1,716) 合計 (1) ~ (2) 1,872 (1,866)
(ロ) 職買旅費	(141) 149	149	0	専門図書館連絡会議出席(大阪延津、3等級、3泊4日) (11,686円 + 12,442円) × 1人 × 3回 × 4件 × 1/2 = 149 (149)
(目) 労務費	(1,022) 1,076	1,076	0	1. 印刷製本費 (1) 報告書作成 180円 × 150部 × 4件 = 96 (96) (2) 資料作成 70円 × 40部 × 3種 × 4件 = 34 (34) 計 130 (130) 2. 会議費 図書資料整備打合せ 220円 × 12人 × 3回 × 4件 = 32 (32) 3. 賃金 臨時雇員 (2,570) 2,570円 × 56日 × 2人 × 0.962 = 281 (281) 4. 雑費 技術協力情報整備費 633 (633)

(単位 千円)

帯 表 及 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比 増△減%	算 基	礎
				合 計 1 ~ 4	1,076 (1,076)
(4) フィルムライブラリー経費					
(項) 業 務 諸 費					
(目) 方 費	(655) 689	708	19	1. 消 耗 品 費	
				(1) フィルム(白黒)	140円 × 200本 = 28 (28)
				(2) " (カラー)	590円 × 200本 = 118 (118)
				計 (1) ~ (2)	146 (146)
				2. 備 品 費	
				キャビネット	(21,350) 22,420円 × 2個 = 45 (43)
				3. 買 上 げ 費	
				(1) 映画フィルム買上げ	(74,890) 78,630円 × 3本 = 236 (225)
				(2) スライド買上げ	(10,880) 11,420円 × 12本 = 137 (131)
				計 (1) ~ (2)	373 (356)
				4. 雑 役 務 費	
				(1) フィルムプリント	120円 × 200本 = 24 (24)
				(2) フィルム焼付	38 (38)
				(3) スライド製作複写	50円 × 1,000枚 = 50 (50)
				計 (1) ~ (3)	112 (112)
				5. 会 議 費	
				打合せ会議	220円 × 12人 × 12回 = 32 (32)
				合 計 1 ~ 5	708 (689)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	後 継 基 礎
(5) 調査用収集資料等整備費				
(項) 業務諸費				
(目) 庁 費	(3,862) 4,065	4,160	95	1. 印刷製本費
				(1) 収集資料コピー作成費 ⁽¹⁹⁾ 2,075円 × 250頁 × 100部 = 500 (475)
				(2) 関係収集資料目録作成費 2,690円 × 300部 = 807 (807)
				(3) 専門分野別目録作成費 2,690円 × 300部 = 807 (807)
				(4) 地図目録作成費 1,620円 × 300部 = 486 (486)
				計 (1) ~ (4) 2,600 (2,575)
				2. 備品費
				リーダープリンター ^(1,490) 1,560千円 × 1台 = 1,560 (1,490)
				合 計 1 ~ 2 4,160 (4,065)

事項及び科目	前年度予算額	平成57年度 予算額	対前年度比較 増減額	概算
5. 電子計算機に必要経費				ODA
(甲) 業務諸費	(229,327) 233,227	235,352	2,023	$295,352 \times \frac{557}{975} = 131,750$
(目) 諸謝金	(42,454) 44,688	46,711	2,023	1. プログラム等委託費
				(1) 人事・給与システムプログラム開発費
				システム開発費 $\frac{(364,800)}{379,400円} \times 6月 = 2,277 (2,189)$
				プログラミング $\frac{(210)}{220円} \times 10,000ステップ = 2,200 (2,100)$
				小計 4,477 (4,289)
				(2) 経費予算管理システムプログラム開発費
				システム開発費 $\frac{(364,800)}{379,400円} \times 6月 = 2,277 (2,189)$
				プログラミング $\frac{(210)}{220円} \times 10,000ステップ = 2,200 (2,100)$
				小計 4,477 (4,289)
				(3) 調査団・プロジェクト専門家派遣システム開発費
				システム開発費 $\frac{(364,800)}{379,400円} \times 6月 = 2,277 (2,189)$
				プログラミング $\frac{(210)}{220円} \times 10,000ステップ = 2,200 (2,100)$
				小計 4,477 (4,289)
				(4) 協力隊員派遣情報システム開発費
				システム開発費 $\frac{(364,800)}{379,400円} \times 2月 = 759 (730)$
				プログラミング $\frac{(210)}{220円} \times 5,000ステップ = 1,100 (1,050)$
				小計 1,859 (1,780)
				(5) 移住地経営経営資源分析システム開発費
				システム開発費 $\frac{(429,200)}{446,400円} \times 6月 = 2,677 (2,575)$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎	概算
				プログラミング	$\frac{(240)}{250 \text{円}} \times 5,000 \text{スタッフ} = 1,250 (1,200)$
				小計	3,927 (3,775)
				(6) 移住事業実況統計システム開発費	
				システム開発費	$\frac{(466,500)}{485,200 \text{円}} \times 6 \text{月} = 2,912 (2,797)$
				プログラミング	$\frac{(260)}{270 \text{円}} \times 10,000 \text{スタッフ} = 2,700 (2,600)$
				小計	5,612 (5,397)
				(7) 統計システム開発費	
				システム開発費	$\frac{(497,100)}{570,800 \text{円}} \times 6 \text{月} = 3,065 (2,947)$
				プログラミング	$\frac{(380)}{300 \text{円}} \times 8,000 \text{スタッフ} = 2,400 (2,240)$
				小計	5,465 (5,187)
				計	(1) ~ (7) 30,296 (29,008)
				2. パンチ業務費	
				(1) 専門家登録関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 1,000 \text{人} \times 30 \text{枚} = 2,010 (1,920)$
				(2) 専門家派遣関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 1,000 \text{人} \times 30 \text{枚} = 2,010 (1,920)$
				(3) 専門家経費関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 1,000 \text{人} \times 30 \text{枚} = 2,010 (1,920)$
				(4) 研修費受入関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 1,000 \text{人} \times 30 \text{枚} = 2,010 (1,920)$
				(5) 人事給与関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 1,000 \text{人} \times 30 \text{枚} = 2,010 (1,920)$
				(6) 統計関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 22,000 \text{枚} = 1,807 (1,728)$
				(7) 協力隊派遣関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 10,000 \text{枚} = 670 (640)$
				(8) 農家経営統計関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 50,000 \text{枚} = 3,350 (3,200)$
				(9) DAC統計関係	$\frac{(64)}{67 \text{円}} \times 8,000 \text{枚} = 536 (512)$
				計	(1) ~ (9) 16,415 (15,680)
				合計	1 + 2 46,711 (44,688)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和47年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算	基礎
(E) 方 費	(186,873) 188,641	188,641	0	1. 備品費 (電子計算機室用備品)	
				(1) 入力紙票保倍庫	72,000円 × 1台 = 72 (72)
				(2) ディスク・バック格納庫	24,000円 × 1台 = 24 (24)
				(3) マニュアルハンガー	65,000円 × 2台 = 130 (130)
				(4) データファイルキャビネット	44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(5) カード・キャビネット	44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(6) テープ・キャビネット	44,500円 × 2台 = 89 (89)
				(7) テープ搬送用コンテナ	11,000円 × 2個 = 22 (22)
				(8) エッジ・カード・トラック	6,000円 × 1個 = 6 (6)
				(9) データ・トラック	45,000円 × 1個 = 45 (45)
				計 (1) ~ (9)	643 (643)
				2. 消耗品費	
				(1) 80罫カード(汎用)	0.75円 × 910,000枚 = 710 (710)
				(コボリアンプル)	0.89円 × 100,000枚 = 89 (89)
				(2) 連続用紙(1マート)	1.34円 × 820,000枚 = 1,150 (1,150)
				(2マート)	4.64円 × 160,000枚 = 743 (743)
				(3) 磁気テープ	5,878円 × 115巻 = 676 (676)
				(4) コンソール・タイプライター用紙	1.26円 × 50,000枚 = 63 (63)
				(5) コンソール・タイプライター用リボン	280円 × 100本 = 28 (28)
				(6) カード穿孔機用リボン	630円 × 200本 = 126 (126)
				(7) フロートシート用紙	250円 × 300冊 = 75 (75)
				(8) 接続テープ	3,700円 × 10巻 = 37 (37)

000)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度実績	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減○	費 算 益 礎
				(9) 設計用紙 245円 × 1,000冊 = 245 (245)
				(10) ラインプリンター・リボン 4450円 × 50本 = 223 (223)
				(11) 漢字入力用紙 855円 × 100,000枚 = 855 (855)
				(12) ト ナ ー 1,780円 × 8カートン = 16 (16)
				(13) 環 線 液 6,300円 × 35本 = 221 (221)
				(14) 紙 テ ー プ 450円 × 104巻 = 45 (45)
				計 (1) ~ (14) 5,354 (5,354)
				3. 印刷製本費
				(1) マスタ関係用紙印刷(受入・派遣・経理・人事・給与)
				11.15円 × 10,000セット × 11種 = 1,226 (1,226)
				(2) 要請関係用紙 10.67円 × 1,500セット × 1種 = 16 (16)
				(3) 登録 10.75円 × 5,000セット × 4種 = 215 (215)
				(4) 送金 10.75円 × 5,000セット × 11種 = 593 (593)
				(5) 統計 10.75円 × 5,000セット × 6種 = 323 (323)
				(6) 経理 13円 × 5,000セット × 6種 = 390 (390)
				(7) 人事 10.75円 × 5,000セット × 5種 = 270 (270)
				(8) 給与 10.75円 × 5,000セット × 5種 = 270 (270)
				(9) 移住履歴帳等 10.75円 × 5,000セット × 5種 = 270 (270)
				(10) コード・ブック・マニュアル等作成 723円 × 100部 × 12種 = 927 (927)
				(11) スペーシング・チャート等作成 11.37円 × 50,000セット × 1種 = 568 (568)
				(12) 移住管理統計関係用紙 12.26円 × 10,000セット × 5種 = 613 (613)
				(13) DAC 15.5円 × 5,000セット × 5種 387 (387)
				計 (1) ~ (13) 6,070 (6,070)

(10)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	概算
				4. 交通費
				運給打合せ
				(1) 自動車 $654円 \times 20回 \times 12月 = 157 (157)$
				(2) 地下鉄 $67円 \times 40回 \times 12月 = 32 (32)$
				計 (1) + (2) $189 (189)$
				5. 図書購入費
				(1) 電子計算機系参考図書
				和書 $826円 \times 23冊 = 20 (20)$
				洋書 $2203円 \times 20冊 = 44 (44)$
				定期印刷物 $4378円 \times 5冊 = 22 (22)$
				小計 $86 (86)$
				(2) 要覧等研修図書資料
				要覧等研修図書 $2035円 \times 8冊 = 56 (56)$
				要覧会資料 $1761円 \times 2冊 \times 12回 \times \frac{1}{4} = 21 (21)$
				小計 $77 (77)$
				計 (1) + (2) $163 (163)$
				6. 会議費
				(1) システム分析打合せ $205円 \times 6人 \times 2回 \times 12月 = 30 (30)$
				(2) 電算関係打合せ $615円 \times 12人 \times 12月 = 87 (87)$
				(3) その他打合せ $205円 \times 5人 \times 12月 = 12 (12)$
				計 (1) ~ (3) $131 (131)$
				7. 借料及び賃料
				継続借料 (4~3月)
				電子計算機日立M型(端末機, 漢字入出力表題を含む)借料
				$12,774.4円 \times 12月 = 153,288 (153,288)$

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算 基礎
8. 賃金				臨時職員 (2,510) $2,510円 \times 180日 \times 2人 \times 0.75 \times 0.96 = 872 (872)$
9. 雑費				7. 雑費
(1) 電子計算機運用管理費				
(イ) オペレータ				$262,104円 \times 3人 \times 12月 = 9,436 (9,436)$
(ロ) パンクマ				$105,324円 \times 2人 \times 12月 = 2,528 (2,528)$
(ハ) コーダ				$105,324円 \times 2人 \times 12月 = 2,528 (2,528)$
(ニ) 漢字入力タイピスト				$131,000円 \times 3人 \times 12月 = 4,847 (4,847)$
小計				(イ) ~ (ニ) 19,539 (19,539)
(2) 機械室清掃				$28,416円 \times 12月 = 305 (305)$
(3) 回線使用料				$280,000円 \times 12月 = 3,360 (3,360)$
計				(1) ~ (3) 21,931 (21,931)
合計				1 ~ 9 188,641 (188,641)

(単位 千円)

専項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減	概 算 基 礎
6. 広報に必要経費				
(1) 広報出版費				
(甲) 業務諸費	(86,813) 87,931	96,021	6,090	金額 O D A
(印) 謝 金	(1,139) 1,199	1,213	14	1. 事業用謝金(英文) ⁽³⁷⁶⁾ 380円 × 100枚 = 38 (38)
				2. 国際協力誌原稿料 ⁽³⁷⁶⁾ 380円 × 250枚 × 12月 = 1,140 (1,128)
				3. 講師謝金 ⁽⁵⁶⁰⁾ 580円 × 4回 × 1人 × 15回 = 35 (33)
				計 1 ~ 3 1,213 (1,199)
(B) 職員旅費	(482) 507	507	0	1. 講師旅費 (大阪基準 2泊3日 特級) (10,550円 + 10,157円) × 2人 × 5回 = 207 (207)
				同行旅費等 (大阪基準 2泊3日 3等級) (10,550円 + 9,087円) × 5回 = 98 (98)
				2. 国際協力誌取材費 (10,550円 + 6,265円) × 12回 = 202 (202)
				計 1 ~ 2 507 (507)
(B) 方 費	(12,592) 13,255	14,502	3,247	1. 印刷製本費 ⁽¹⁰⁴⁾ ⁽⁵⁹⁵⁰⁾
				(1) 国際協力誌 110円 × 2,250部 × 12月 = 2,970 (2,426)
				(2) 事業用概要(英文) ⁽⁴⁶⁹⁾ 430円 × 3,000部 = 1,290 (1,226)
				(3) 事業用概要(和文) ⁽¹²⁶⁾ 130円 × 6,000部 = 780 (758)
				(4) 事業用パンフレット(英文、和文) ⁽¹⁰³⁾ 210円 × 8,000部 × 2種 = 1,760 (1,641)

1040

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	当年度予算額	対前年及比較増減	費 用	基 礎
				小 計 (1) ~ (4)	13,400 (11,051)
				2. 通信運搬費	
				展示パネル搬送運搬料 (69,536)	(2) 23,010円 × 10回 = 730 (139)
				3. 借料及び賃料	
				会場・取写機賃料等 (89,536)	23,010円 × 10ヶ所 = 730 (895)
				4. 会 議 費	
				国際協力誌等編集	143円 × 15ヶ所 × 12回 = 26 (26)
				新聞発表打合せ	349円 × 20人 × 12回 = 83 (83)
				小 計	109 (109)
				5. 賃 金	
				臨時雇員増上料	(24,200円 × 7日 × 3人) × 1回 = 51 (51)
				6. 雑 役 務 費	
				(1) ホスター作成費 (87)	70円 × 300枚 × 10巻 = 210 (207)
				(2) ホスター掲載料 (144)	150円 × 150枚 × 10巻 = 225 (216)
				(3) 展示品作成(グラフ作成) (13,244)	13,910円 × 5枚 = 89 (66)
				(4) 写真パネル白紙 (6,957)	2,300円 × 20枚 = 146 (139)
				(5) 写真パネル・カラー (20,864)	21,910円 × 20枚 (10) = 438 (208)
				(6) 旗 聖 (104,307)	109,520円 × 2枚 = 219 (208)
				(7) 広報写真プリント焼付	103 (98)
				(8) スライド製本複写 (34)	36円 × 2,000本 = 72 (68)
				小 計 (1) ~ (8)	1,482 (1,210)
				合 計 1 ~ 6	16,502 (13,255)

(単位：千円)

事項及び科目	前年度予算	本年度予算	対前年度比較 増△減額	算 基																						
(甲) 広報諸費	(72,600) 74,990	77,299	2,829	<p>1. マスメディア広報</p> <p>(1) テレビフィルム製作・放送費</p> <p>〔30分番組、Bタイム 13回(1クール13話)、3局ネット〕 日曜日放送</p> <p>(イ) 〔(728,566) / 764,990円 × 6本〕 + 〔(210,708) / 956,240円 × 4本〕 + 〔(1,156,652) / 1,214,480円 × 1本〕 + 〔(1,366,062) / 1,434,370円 × 1本〕 = 11,064 (10,537)</p> <p>(ロ) 電波料 東京放送(T.B.S)、中部放送(C.B.C)、毎日放送(大阪放送) (463,220円 + 402,040円 + 445,740円) × 13回 = 12,043 (17,043)</p> <p>計 (イ) + (ロ) 28,107 (27,580)</p> <p>(2) 記事掲載料</p> <p>パシフィックフレンド記事 5回分 1,377 (1,311) ルック・ジャパン記事 2回分 5,985 (5,681) 関西経済ジャーナル誌 4回分 1,377 (1,311)</p> <p>計 8,739 (8,303)</p> <p>(3) ルポライター等取付費 (ルポライター1名を中南米・アフリカ等々国へ派遣する。)</p> <p>(イ) 取 材 費 (i) 派遣旅費 1,244 (1,244)</p>																						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>派遣回</th> <th>等級</th> <th>期日</th> <th>乗数</th> <th>航空運賃</th> <th>旅費</th> <th>日 当</th> <th>宿泊料</th> <th>旅行雑費</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中南米</td> <td>亜、世、秘、幕</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>513,410</td> <td>24,290</td> <td>3,321 × 50日 = 166,050</td> <td>9,964 × 49日 = 488,236</td> <td>2,185</td> <td>1,244,171</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	派遣回	等級	期日	乗数	航空運賃	旅費	日 当	宿泊料	旅行雑費	合 計	中南米	亜、世、秘、幕	2	50	1	513,410	24,290	3,321 × 50日 = 166,050	9,964 × 49日 = 488,236	2,185	1,244,171
地 域	派遣回	等級	期日	乗数	航空運賃	旅費	日 当	宿泊料	旅行雑費	合 計																
中南米	亜、世、秘、幕	2	50	1	513,410	24,290	3,321 × 50日 = 166,050	9,964 × 49日 = 488,236	2,185	1,244,171																

事項及び科目	前年度予算	昭和57年度予算	対前年度比較増△減額	費 用 基 礎																												
				(ii) 現地調査費 (機材含む) 352 (317)																												
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>通訳備上料</th> <th>車両増上料</th> <th>会議費</th> <th colspan="2">資 材 費</th> <th>合 計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <th>フィルム代</th> <th>ライト・バッテリー</th> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(3,522) 3,350円×5冊×5冊</td> <td>(3,192) 4,022円×5冊×6冊</td> <td>(1,596) 1,680円×10人×5冊</td> <td>(3,000円×6×6) カラー</td> <td>(3,192) 3,350円×5冊</td> <td rowspan="3">円 351,660</td> </tr> <tr> <td>(22,800) = 8,320円</td> <td>(95,750) = 120,660円</td> <td>(22,800) = 84,000円</td> <td>(254) 310円×150本 (14,100) = 46,500円</td> <td>(15,960) = 16,750円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	通訳備上料	車両増上料	会議費	資 材 費		合 計				フィルム代	ライト・バッテリー		(3,522) 3,350円×5冊×5冊	(3,192) 4,022円×5冊×6冊	(1,596) 1,680円×10人×5冊	(3,000円×6×6) カラー	(3,192) 3,350円×5冊	円 351,660	(22,800) = 8,320円	(95,750) = 120,660円	(22,800) = 84,000円	(254) 310円×150本 (14,100) = 46,500円	(15,960) = 16,750円					
通訳備上料	車両増上料	会議費	資 材 費		合 計																											
			フィルム代	ライト・バッテリー																												
(3,522) 3,350円×5冊×5冊	(3,192) 4,022円×5冊×6冊	(1,596) 1,680円×10人×5冊	(3,000円×6×6) カラー	(3,192) 3,350円×5冊	円 351,660																											
(22,800) = 8,320円	(95,750) = 120,660円	(22,800) = 84,000円	(254) 310円×150本 (14,100) = 46,500円	(15,960) = 16,750円																												
				計 (i) + (ii) 1,576 (1,563)																												
				(iii) 取材報告費																												
				原稿綴装料 (1,910) 1,910円 × 1,000枚 = 1,910 (1,836)																												
				報告会謝金 (4,570) 4,570円 × 3冊 × 2冊 = 29 (28)																												
				計 1,939 (1,864)																												
				合 計 (i) + (iii) 3,535 (3,427)																												
				(4) アンケート調査費 (対象2,000人)																												
				調査企画費 328 (304)																												
				調査準備費 2,274 (2,185)																												
				調査実施費 4,280 (4,076)																												
				集 計 費 564 (537)																												
				分 析 費 251 (247)																												
				報告書作成費 338 (322)																												
				計 8,055 (7,671)																												
				(5) 雑誌国庫報費																												
				(i) 和文国庫報 (1,880) 1,970円 × 2,000部 = 3,940 (3,760)																												

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増減額	実績	基礎
				(ロ) 英文年報	
				(1,760)	
				1,850円 × 1,500部 =	2,775 (2,640)
				計	6,715 (6,400)
				(6) 映画製作(地域・分県別シリーズ 30分, 16mmカラー)	
				(制作スタッフ5名, 35日間)	
				企画費	1,289 (1,228)
				スタッフ費	5,446 (5,189)
				機材費	2,437 (2,321)
				フィルム費	4,007 (3,818)
				編集費	916 (872)
				録音費	618 (589)
				ロケーション費	2,953 (2,574)
				計	22,668 (21,589)
				合計 (1) ~ (6)	72,799 (74,970)

事項及び科目	前年度予算額	現行年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎										
7. 青森県外協力業務に必要な経費	(265,558) 270,370	277,274	6,714	駒ヶ根駅前所のみ ODA 109,363											
(1) 協力隊事務局に必要な経費	(164,393) 167,541	167,931	390	本部経費全額非 ODA 167,931											
(項) 業務諸費	(164,393) 167,541	167,931	390												
(印) 謝金	(895) 942	942	0	(1) 協力隊運営委員会 2,050円 × 16回 × 8回 = 262 (262) (2) 履修者タスク謝金 56,660円 × 1人 × 12月 = 680 (680) 計 942 (942)											
(印) 旅費	(2,418) 2,545	2,545	0	(1) 検査検収等 (広島基準 3等級 2泊3日 超滞在費) 17,220円 × 8回 × 12月 = 1,653 (1,653)											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>鉄道賃</th> <th>日当</th> <th>宿泊料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>5,640</td> <td>10,300円 × 3日 = 3,090</td> <td>4,245円 × 2泊 = 8,490</td> <td>17,220円</td> </tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計	3	5,640	10,300円 × 3日 = 3,090	4,245円 × 2泊 = 8,490	17,220円	
等級	鉄道賃	日当	宿泊料	計											
3	5,640	10,300円 × 3日 = 3,090	4,245円 × 2泊 = 8,490	17,220円											
				(2) 駒ヶ根返送 (3等級 2泊3日) 37,180円 × 2回 × 12月 = 892 (892)											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>鉄道賃</th> <th>日当</th> <th>宿泊費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>17,780</td> <td>1,600円 × 3日 = 4,800</td> <td>2,300円 × 2泊 = 4,600</td> <td>37,180円</td> </tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日当	宿泊費	計	3	17,780	1,600円 × 3日 = 4,800	2,300円 × 2泊 = 4,600	37,180円	
等級	鉄道賃	日当	宿泊費	計											
3	17,780	1,600円 × 3日 = 4,800	2,300円 × 2泊 = 4,600	37,180円											
				計 2,545 (2,545)											
(印) 赴任旅費	(1,102) 1,102	1,102	0	駒ヶ根駅前所赴任 (駒ヶ根基準 3等級) 275,530円 × 2人 × 2回 = 1,102 (1,102)											

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和三十七年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基						
				等級	飲 道 費	形 紙 料	着 後 手 当	日 当	宿 料 料	計
				3	8852円×3.5人		(1600+7300) ×5日× $\frac{8}{3}$	1,500円× $\frac{8}{3}$	7300円× $\frac{8}{3}$	円
					31,120	102,000	= 118,670	= 4,270	= 19,470	275,530
(自) 方 費	(152,778) 162,952	163,342	370	1. 人 当 方 費	38,420円 × (85 - 16人) = 2,651 (2,651)					
				2. 厚 生 費	1,273 (1,273)					
				1) レクリエーション	3,200円 × 87人 = 339 (339)					
				2) 一般定期健康診断経費	500円 × 87人 × 2回 = 87 (87)					
				3) 海外帰国職員特別健康診断経費	22,000円 × 3.5 × 11人 = 847 (847)					
				3. 備 品 費	1,557 (1,557)					
				1) 空 調 機	585					
				2) ダイキンパッケージ	324,000円 × 3台 = 972					
				4. 通 信 運 搬 費	16,583 (16,583)					
				1) 電 話 料	10,228 (10,228)					
				① 基 本 料	1,777円 × 25本 × 12月 = 534 (534)					
				② 度 敷 料	6.8円 × 69通話 × 25本 × 25円 × 12月 = 3,537 (3,537)					
				③ 市 外 通 話 料	246円 × 6通話 × 25円 × 10本 × 12月 = 4,429 (4,429)					
				④ 国 際 通 話 料	7,476円 × 16通話 × 12月 = 1,436 (1,436)					
				⑤ 交 換 台 費 持 費	22,470円 × 12月 = 270 (270)					
				⑥ 内 線 使 用 料	37円 × 50本 × 12月 = 22 (22)					
				2) テレックス	2,018 (2,018)					
				① 使 用 基 本 料	13,600円 × 12月 = 164 (164)					
				② 通 信 料	772.80円 × 8分 × 25円 × 12月 = 1,854 (1,854)					

<単位 千円>

事業及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比増減額	概算	基礎	概算
				3) 郵便料		2,721 (2,721)
				④ 国内	34円 × 58通 × 25日 × 12月 =	575 (575)
				⑤ 海外	180円 × { (400人 × 4月) + (200人 × 12月) + (300人 × 7月) + (70人 × 4月) + (20人 × 10回 × 12月) }	1,580 (1,580)
				⑥ 印刷物送達費	42,150円 × 12月 =	566 (566)
				4) 電報料		1,616 (1,616)
				④ 国内	137円 × 355通 × 12月 =	582 (582)
				⑤ 海外	144円 × 30通 × 20通 × 12月 =	1,034 (1,034)
				5. 消耗品費		2,115 (2,115)
				1) 感光紙	900円 × 50冊 × 12月 =	540 (540)
				2) ロール感光紙	3,130円 × 25巻 × 12月 =	939 (939)
				3) 項目別分類カード	10円 × 15,000枚 =	150 (150)
				4) 整理用ファイル	260円 × 600枚 =	156 (156)
				5) その他事務用紙	22,500円 × 12月 =	330 (330)
				6. 自動車維持費	157,270円 × 2台 =	315 (315)
				7. 光熱水料		16,509 (16,509)
				1) 電気		7,174 (7,174)
				2) ガス		1,040 (1,040)
				3) 重油		3,395 (3,395)
				4) 水道		4,900 (4,900)
				8. 印刷製本費		3,684 (3,684)
				1) 決算計画及実施要領関係	180円 × 50部 × 25種 × 12月 =	2,700 (2,700)
				2) 協力隊毎次報告書	410円 × 2,400部 =	984 (984)

(111)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算定式	基 礎
9. 交通費					561 (561)
1) 愛車自動車				1,350円 × 25日 × 12月 =	405 (405)
2) 自動車備上				520円 × 25日 × 12月 =	156 (156)
10. 図書購入費					
参考図書				860円 × 20冊 × 12月 =	206 (206)
11. 会議費					1,346 (1,346)
1) 協力隊運営委員会				210円 × 20人 × 8回 =	34 (34)
2) 派遣打合せ等				210円 × 20人 × 40回 × 4回 =	672 (672)
3) 歓迎迎会				400円 × 200人 × 8回 =	640 (640)
12. 燃料及び潤滑					
セロックス 基本料				(366,130) (522,610) 384,440円 + 548,240円 =	933 (889)
13. 修理費					8,716 (8,716)
1) ボイラ-取替工事					2,020 (0)
2) 屋上防水工事					6,696 (0)
3) 前年度限り					0 (8,716)
14. 賃金					
臨時備人				(2,510) 2,610円 × 20日 × 5人 × 12月 =	3,012 (3,012)
15. 諸税公課					6,928 (6,599)
1) 固定資産税				(380,000) 392,000円 × $\frac{17}{1,000}$ =	6,783 (6,460)
2) 自動車税				(31,500) 33,080円 × 2台 =	66 (63)
3) 自動車重量税				(32,800) 32,690円 × 2台 =	79 (76)
16. 保険料					392 (355)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	備 考	算定額	基 礎 的 算 定 額
				1) 火災保険料		189 (180)
				2) 自動車保険料	(82320) 91,690円 × 2台 =	183 (175)
				12. 雑費		76,581 (76,581)
				1) 事務所保守料		80,251 (80,251)
				④ 管理費及清掃費		72,198 (72,198)
				⑤ その他 (設置費除決定検査費等)		8,053 (8,053)
				2) 海外為替送金料		15,381 (15,382)
				④ 隊員分 (新規・再派遣)	{(3,450円 × 2回) + (1,480円 × 2回)} × 300件 =	2,958 (2,958)
				⑤ 隊員分 (継続・帰国)	{(3,450円 × 1回) + (1,480円 × 4回)} × 400件 =	11,832 (11,832)
				⑥ 駐在員調整費	{(3,450円 × 4回) + (1,480円 × 4回)} × 30件 =	572 (572)
				3) 隊員バツ作成費	380円 × 360人 =	137 (137)
				4) 蛍光灯取替	430円 × 615本 × $\frac{1}{2}$ =	132 (132)
				5) 職員委託研修費		679 (679)
				① 語学 (仏、英語)	100,590円 × 5コース =	503 (503)
				② 事務管理関係	35,110円 × 5コース =	176 (176)
				庁費計	1 ~ 17	163,342 (162,952)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増△減	積算 基礎										
(2) 駒ヶ根創設所に必要な経費	(101,165) 102,829	109,363	6,534	全額 O D A										
(項) 業務諸費	(101,165) 102,829	109,363	6,534											
(目) 職員旅費	(929) 978	978	0	業務打合せ等(東京基準 3等級 1泊2日) 22,180円 × 3回 × 12月 = 978 (978)										
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>鉄道賃</th> <th>日 当</th> <th>宿泊料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>15,880</td> <td>1,600円 × 2日 = 3,200</td> <td>8,100円 × 1泊 = 8,100</td> <td>22,180 円</td> </tr> </tbody> </table>	等級	鉄道賃	日 当	宿泊料	計	3	15,880	1,600円 × 2日 = 3,200	8,100円 × 1泊 = 8,100	22,180 円
等級	鉄道賃	日 当	宿泊料	計										
3	15,880	1,600円 × 2日 = 3,200	8,100円 × 1泊 = 8,100	22,180 円										
(目) 方 費	(100,236) 101,851	108,385	6,534	1. 備品費 5,559 (3,591) 1) 訓練用備品 5,559 (0) 2) 前年度限り 0 (3,591) 2. 通信運搬費 2,611 (2,611) 1) 電話料 2,581 (2,581) ① 基本料 2,600円 × 10本 × 12月 = 312 (312) ② 市外通話料 345円 × 7通話 × 25日 × 10本 × 12月 = 2,245 (2,245) ③ 内線使用料 50円 × 40回 × 12月 = 24 (24) 2) 郵便料 50円 × 50通 × 12月 = 30 (30) 3. 消耗品費 2,997 (2,856) 1) トイレットペーパー・清掃関係消耗品 (56,110) 58,920円 × 12月 = 707 (673) 2) 感光紙 (1,270) 1,330円 × 40冊 × 12月 = 638 (610) 3) ロール感光紙 (4,400) 4,620円 × 20巻 × 12月 = 1,109 (1,056)										

(14)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算定額	基礎
4) 事務用品				(43,080) 45,230円 × 12月 =	543(517)
4) 自動車維持費				(213,680) 224,360円 × 2台 =	449(427)
5. 光熱水料					13,764(13,107)
1) 電 気				(700,780) 735,820円 × 12月 =	8,830(8,409)
2) ガ ス				(58,570) 61,460円 × 12月 =	738(702)
3) 重 油				(332,990) 342,640円 × 12月 =	4,196(3,996)
6. 諸 税 公 課					15,136(14,416)
1) 地方税(建物)				(837,877) 881,810円 × $\frac{17}{1000}$ =	14,991(14,277)
2) 自動車重量税				(37,800) 32,670円 × 2台 =	79(76)
3) 自動車税				(31,500) 33,680円 × 2台 =	66(63)
7. 積料及び損料					2,169(2,030)
1) 敷地積料				(80) 65円 × 18,996坪 =	1,235(1,140)
2) ゼロックス積料				(418,910) 基本料 437,860円 + 超過分 470,690円 =	934(890)
8. 保 険 料					257(245)
1) 火災保険料(建物、不動産)					74(70)
2) 自動車保険料				(87,310) 91,670円 × 2台 =	183(175)
9. 雑 役 務 費					60,443(57,568)
1) 訓練所管理委託費				(4,405) 4625円 × 12月 =	55,500(52,860)
2) その他(設置関係法定検査等)					4,943(4,708)
計					108,385(101,851)

(単位 千円)

項 目 及 び 科 目	前年度予算額	現行157年度予算額	対前年度比較増△減額	算 基
II. 事業運営に必要経費	(82,030) 86,345	92,072	5,227	(全額 ODA 92,072)
1. 研修員授入業務経費	(10,230) 10,766	11,095	329	
(印) 業務諸費	(10,230) 10,766	11,095	329	
(目) 謝 金	(145) 153	161	8	カリキュラム作成報酬 (220) 250円 × 5枚 × (125 + 25) × 1/5 = 113 (108) 奥徳調査謝金 (150) 160円 × 300回 = 48 (45) 計 161 (153)
(目) 職 員 旅 費	(3,455) 3,637	3,637	0	(1) 研修先打合せ案内(大阪基準、3等級、3泊4日) (2,548円 + 10,017円) × 14回 × 12月 = 2,951 (2) 管 理 旅 費 (3等級、1泊2日) 筑波農業センター 8,323円 × 1回 × 12月 = 71 (71) 神奈川センター 4,940円 × 1回 × 12月 = 60 (60) 名古屋センター 2,041円 × 1回 × 12月 = 109 (109) 大阪センター 10,530円 × 1回 × 12月 = 127 (127) 兵庫センター 10,930円 × 1回 × 12月 = 131 (131) 筑波センター 8,323円 × 1回 × 12月 = 100 (100) 小 計 627 (598) (3) 調査打合せ旅費(大阪基準3等級、1泊2日) 10,956円 × 2人 × 4回 = 88
(目) 方 費	(4,630) 4,776	2,297	321	1. 印刷製本費 (38) 40円 × 2,000部 × 3種 = 240 (228) (170) 研修インフォメーション作成 179円 × 100部 × 120 = 2,148 (2,040) (380) 研修終了狂喜 400円 × 2,600部 = 1,040 (988)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
研修員コース				(100) 105円 × 2,600部 × 2機 = 546(520)
研修員名簿年度別				(240) 252円 × 600部 = 151(144)
研修員名簿固別				(120) 126円 × 150部 × 30回 = 567(540)
研修員調査票				(8) 84円 × 2,200部 = 18(18)
研修員カード(集計用)4カード				(15) 16円 × 2,200部 = 36(33)
Technical Training in Japan				(80) 84円 × 4,000部 = 336(320)
調査表作成費				(120) 126円 × 1,950部 = 246(234)
調査報告書				(510) 536円 × 650部 = 348(332)
業種別調査報告書				(430) 452円 × 90部 = 41(39)
小 計				5,717(5,436)
2. 通信運搬費				
研修機関実態調査料				(16) 17円 × 2,000部 = 34(32)
3. 会議費				
インフォメーション作成打合せ				210円 × 5人 × 3回 × 12月 = 38(38)
策定段入計画作成等打合せ				96円 × 8人 × 100件 × 3回 = 230(230)
個別段入計画作成等打合せ				96円 × 8人 × 400件 = 307(307)
研修監理業務打合せ				96円 × 3人 × 120件 = 35(35)

(単位: 円)

申請及び科目名	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				研修機関実地調査打合せ $240円 \times 70人 \times 10回 = 24(24)$
				小計 634(634)
				4. 交 通 費
				関係各府連絡 $(40) 42円 \times 80回 \times 12月 = 40(38)$
				$(300) 315円 \times 50回 \times 12月 = 189(180)$
				関係事務連絡 $(80) 84円 \times 3,000件 = 252(240)$
				研修資料内 $(600) 630円 \times 400件 = 252(240)$
				小計 733(698)
				5. 賃 金
				(力一卜臨時業務員) $(2,510) 2,610円 \times 24回 \times 2人 = 120(120)$
				6. 雑 役 務 費
				研修期間更新手数料 $(1,120) 2,180円 \times 50件 = 59(56)$
				計 (1~6) 7277(6976)

(118)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減	繰 上 げ	繰 下 げ	基 礎
2. 印刷製本費	(7,117) 7,810	8,170	380	金額 O D A		
(甲) 業務費	(2,419) 2,810	8,170	380			
(目) 謝金	(45) 48	50	2	調査対象国確定のための講師謝金 (2,990) $4,150円 \times 21 \times 3人 \times 24人 = 50 (48)$		
(印) 版頁液費	(117) 123	123	0	調査用台紙及び調査報告(大阪基準3等級、2頁3日) (8,069円 + 2,304円) $\times 4人 \times 2回 = 123$		
(印) 方 費	(7,257) 7,639	8,017	378	1. 印刷製本費		
				調査製作費 (20) $21円 \times 3,000部 = 63 (60)$		
				同窓会規則印刷費 (330) $317円 \times 170部 \times 2部 = 118 (112)$		
				KENSHU-IN誌作成費 (1,203) $126円 \times 8,810部 \times 4部 = 4,440 (4,229)$		
				日本語テキスト (70) $74円 \times 120部 \times 4巻 \times 2回 = 70 (95)$		
				参考文献 (1,800) $1,890円 \times 34部 \times 2人 = 12 (11)$		
				小 計		4,734 (4,507)
				2. 通信運搬費		1,130 (1,076)
				調査票送付等 (16) $17円 \times 2回 \times 100人 \times 30回 \times 2復 = 20 (19)$		
				KENSHU-IN誌送料 (30) $31.5円 \times 8,810部 \times 4回 = 1,110 (1,057)$		

(単位:円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比増△減額	演 講 基 礎
				<p>3. 構 品 費</p> <p>技術フィルム購入 $(52,230)$ $54,840円 \times 2本 = 110 (104)$</p> <p>4. 消 耗 品 費</p> <p>KENSU-1N 蒸封筒作成費 (9.6) $10円 \times 8.810部 \times 4回 = 353 (338)$</p> <p>総名カード作成費 (43) $445円 \times 8.810部 \times 4回 = 1,586 (1,515)$</p> <p>日本標準調子テープ $(1,510)$ $1,590円 \times 3巻 \times 10本 \times 2回 = 96 (91)$</p> <p>小 計 2,035 (1,944)</p> <p>5. 会 議 費</p> <p>実態調査打合せ $140円 \times 10人 \times 3回 \times 24人 = 8 (8)$</p> <p>計 1 ~ 5 8,017 (7,639)</p>

(129)

専項及び科目	前年度予算額	昭和67年度予算額	対前年度比較増△減額	(単位 千円)	
				概算	基礎
3. 専門家フォローアップ業務経費					
(項) 業務諸費	(3,416) 3,598	3,755	159	全換 ODA	
(目) 謝金	(239) 252	264	12	エキスパート誌原稿料 (220) 440円 × 20枚 × 5冊 × 6回 =	264 (252)
(目) 職員旅費	(114) 120	120	0	帰国専門家地域別会議旅費 (8,553円 + 11,446円) × 6人 × 1回 =	120
(目) 印刷費	(3,063) 3,224	3,371	147	1. 印刷製本費 エキスパート誌作成費 (180) 189円 × 2,260部 × 6回 =	2,563 (2,441)
				2. 通信運搬費 エキスパート誌送料 (160) (1) 海外 168円 × 750部 × $\frac{1}{2}$ 輸率 × 6回 =	378 (360)
				(2) 国内 30円 × 1,000部 × 6回 =	180 (174)
				計 (1) ~ (2)	558 (534)
				3. 交通費 (1) 事務連絡 (50) 53円 × 5人 × 12月 =	3 (3)
				(2) 事務連絡 (380) 400円 × 5人 × 12月 =	24 (23)
				計 (1) ~ (2)	27 (26)
				4. 会議費 (1) 帰国専門家総会 380円 × 1,500人 × $\frac{1}{3}$ =	190 (190)
				(2) 帰国専門家地域別会議 220円 × 50人 × 3回 =	33 (33)
				計 (1) ~ (2)	223 (223)
				合計 1 ~ 4	3,371 (3,224)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	積 算 基 礎
4. 専門家派遣業務経費				
(項)業務諸費	(3,904) 4,109	4,197	88	金額 O D A
(目)請 詢 金	(565) 575	619	24	1. 専門家選考委員会謝金 $\frac{(2,170)}{2,260円 \times 3人 \times 220件} \times \frac{1}{10} = 149 (143)$
				2. 専門家身上調査謝金 $\frac{(3,620)}{3,760円 \times 220件} \times \frac{1}{5} = 165 (159)$
				3. 市場調査謝金 $\frac{(3,660)}{3,870円} \times 80件 = 305 (293)$
				計 619 (595)
(目)搬 賃 費	(1,073) 1,129	1,129	0	1. 派遣業務打ち合わせ(大阪基準, 4等級, 2泊3日) $(10,877円 + 6,186円) \times 358件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} = 705$
				2. 検査検取搬運立合(大阪基準, 4等級, 2泊3日) $(9,488円 + 6,186円) \times 220件 \times \frac{1}{10} = 345$
				3. 資料収集及び連絡(大阪基準, 3等級, 3泊4日) $(9,758円 + 10,019円) \times 4回 = 79$
				計 1,129
(目)方 費	(2,266) 2,385	2,447	84	1. 印刷製本費
				定期報告書作成 $\frac{(150)}{158円} \times 50部 \times 3種 \times 12月 = 284 (270)$
				派遣計画作成 $\frac{(160)}{168円} \times 115部 \times 12月 = 232 (221)$
				インボイス、パンキングリスト、輸送伝票等作成
				$\frac{(320)}{336円} \times 120冊 \times 4種 = 161 (154)$
				専門家業務報告書、業務連絡、調査報告書、行動日程表等作成
				$\frac{(150)}{158円} \times 3冊 \times 5種 \times 387 \times \frac{1}{2} = 461 (346)$

等項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増減率	概算	基礎
				計	1,138 (1,083)
				2. 備品費	
				キャビネット	$\frac{(14,200)}{12,010円} \times \frac{(1)}{2台} = 34 (16)$
				3. 交通費	
				一般事務連絡	$\frac{(44)}{46円} \times 3回 \times 22日 \times 12月 = 40 (33)$
					$\frac{(370)}{387円} \times 4回 \times 10日 \times 12月 = 187 (222)$
				専門家送迎	$\frac{(860)}{(903円 + 126円)} \times 450人 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} = 77 (74)$
				計	300 (331)
				4. 会議費	
				選考委員会及び選考打ち合せ	$180円 \times \frac{(11)}{11人} \times 220件 \times \frac{1}{3} = 87 (87)$
				各省連絡	$180円 \times 5人 \times 13箇所 \times 12月 \times \frac{1}{3} = 47 (47)$
				帰国報告会	$180円 \times 10人 \times 220件 \times \frac{1}{2} = 195 (195)$
				携行機材品目打ち合せ	$180円 \times 5人 \times 220件 \times \frac{1}{3} = 40 (40)$
				調査打ち合せ	$180円 \times 5人 \times 40回 = 36 (36)$
				計	408 (408)
				5. 図書購入費	
				関係図書	$\frac{(750)}{790円} \times 20種 = 16 (15)$
				6. 賃金	
				資料作成備人費	$\frac{(2,510)}{2,610円} \times 106日 \times 2人 = 553 (532)$
				合計 (1 ~ 6)	2,449 (2,385)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	当年度予算額	対前年度比較増△減額	概算	基礎
5. 機材供与業務経費					
(項)業務諸費	(1,558) 1,640	1,680	40	全額 O D A	
(目)諸謝金	(609) 641	666	25	仕様書作成謝金	(3,830) 3,280円 × 10枚 × 25冊 × 1/2 = 498 (479)
				仕様書翻訳料 (和文外訳訳)	(540) 520円 × 5枚 × 3復 × 20冊 = 168 (162)
				計	666 (641)
(印)蔵頁版費	(251) 264	264	0	仕様書合せ、捺取及び組立台(大阪基準 3等級 3泊14日)	(8,840円 + 10,020円) × 2復 × 14冊 × 1/2 = 264 (264)
(印)片費	(678) 735	750	15	1. 印刷製本費	
				仕様書作成	(160) 168円 × 38冊 = 6 (6)
				図面(トレース流付)	(2370) 2,489円 × 2復 × 15冊 × 1/2 = 25 (24)
				品名リスト	(270) 305円 × 2復 × 20冊 × 10部 = 122 (116)
				インボイス・パッキングリスト作成	(740) 987円 × 2復 × 20部 = 39 (38)
				計	192 (184)
				2. 備品費	
				キャビネット	(18,800) 18,740円 × 2台 = 39 (38)
				3. 消耗品費	
				ファイル	(38) 40円 × 600枚 = 24 (29)
				4. 図書購入費	
				執務参考図書	(750) 788円 × 50復 = 39 (38)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	概算基礎
5. 交通費				(300) タクシー $315円 \times 20回 \times 12月 = 76 (72)$ (40) 地下鉄 $42円 \times 140回 \times 12月 = 20$ 計 $96 (92)$
6. 会議費				(180) 実施計画打合せ $190円 \times 10人 \times 6回 = 11 (11)$ 仕様製作打合せ $180円 \times 5人 \times 2回 \times 38件 = 69 (69)$ 調査打合せ $180円 \times 5人 \times 2回 \times 8件 = 14 (14)$ 計 $94 (94)$
7. 賃金				(2,510) 資料作成従事者 $2,510円 \times 106日 \times 1人 = 266 (266)$ 合計 (1~7) $750 (735)$

(単位: 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較額△減額	費 質 基 礎
6. 技術協力センター事業費				
(項) 業務諸費	(2,985) 3,142	3,245	103	全額ODA
(目) 謝 金	(839) 883	922	39	1. 専門家選考委員謝金 (2,070) 2,260円 × 5人 × 1回 × 2件 = 23 (21)
				2. 専門家身上調査謝金 (3,450) 3,590円 × 20人 × $\frac{2}{3}$ = 51 (48)
				3. 仕様書作成謝金 (2,070) 2,150円 × 70枚 × 2件 = 316 (290)
				4. 仕様書作成謝金 (417) 440円 × 7頁 × 70枚 × 2件 = 451 (409)
				5. 委員謝金 (1,030) 1,070円 × 4人 × 9回 × 2件 = 81 (74)
				計 1 ~ 5 922 (838)
(目) 職員旅費	(201) 233	233	0	1. 調査船乗立合(大阪基準 3等級 3泊4日) (2586 + 10,018)円 × 4回 × 2件 = 141 (141)
				2. 検定建設旅費 (2586 + 10,018)円 × 3回 × 5人 = 264 (264)
				3. 調査建設旅費 (2586 + 10,018)円 × 5回 × 2件 = 176 (176)
				4. 専門家採寸打合せ (2586 + 10,018)円 × 3回 × 1件 = 52 (52)
				計 1 ~ 4 633 (633)
(目) 庁 費	(1,545) 1,626	1,690	64	1. 備品費 (21,200) 22,260円 × 3台 = 67 (64)
				2. 消耗品費 (38) 40円 × 600枚 = 24 (23)
				3. 印刷製本費 (120)
				(1) 仕様書作成 和文 127円 × 25部 × 50種 × 2件 = 318 (300)
				英文 (120) 127円 × 18部 × 50種 × 2件 = 229 (216)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
				(2) 図面作成(トレス焼付)
				(2810) 2,950円 × 15巻 × 2枚 = 87 (84)
				(3) 品目リスト (260) 273円 × 20部 × 2巻 × 4枚 = 44 (42)
				(4) 通関手関係書類(インボイス・パッキングリスト等)
				(520) 546円 × 20部 × 3巻 × 4枚 = 131 (125)
				(300) 315円 × 20部 × 3巻 × 4枚 = 76 (72)
				(5) 調達資料
				(300) 315円 × 10部 × 3巻 × 2枚 = 19 (18)
				(160) 168円 × 5部 × 2巻 × 7枚 = 12 (11)
				(6) 専門家選考委員会 (300) 315円 × 30部 × 4巻 = 38 (36)
				(7) 渡航前打合せ関係資料 (300) 315円 × 30部 × 4巻 = 38 (36)
				(8) 報告書用紙 (160) 168円 × 100部 × 2巻 = 34 (32)
				(9) 定款報告書用紙 (160) 168円 × 40部 × 2巻 = 13 (13)
				計 (1) ~ (9) 1,041 (985)
				4. 図書購入費
				執務参考図書 (750) 790円 × 70巻 = 55 (53)
				5. 交通費
				(1) 一般連絡事務交通費 40円 × 50回 × 4枚 = 8 (8)
				(2) " (380) 399円 × 15回 × 8枚 = 48 (46)

(単位: 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基	礎
				6. 会議費	
				(1) 仕稼製作成打合せ	(220) 230円 × 20人 × 2回 × 4件 = 35 (35)
				(2) 調査打合せ	(220) 230円 × 26人 × 2回 × 4件 = 46 (46)
				(3) 研務打合せ	(220) 230円 × 10人 × 2回 × 4件 = 18 (18)
				(4) 視察演説打合せ	(220) 230円 × 10人 × 2回 × 2件 = 9 (9)
				(5) 専門家選考委員会	(220) 230円 × 15人 × 2回 × 2件 = 13 (13)
				(6) 帰国報告会	(220) 230円 × 40人 × 2回 = 18 (18)
				(7) 渡航前打合せ	220円 × 15人 × 2回 × 2件 = 13 (13)
				(8) 長置関係打合せ	220円 × 17人 × 2回 × 17件 = 82 (82)
				計 (1~8)	234 (234)
				7. 賃金	
					(2,570) 2,610円 × 85日 × 1人 = 213 (213)
				合 計 1 ~ 7	1,670 (1,626)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算 基 礎
7. 開発調査業務費				
(項) 業務諸費	(4,337) 4,585	4,716	379 (15)	全額 ODA
(目) 謝金	(1,254) 1,320	1,353	99 (33)	1. 資料翻訳(英和訳) $\frac{(490)}{500円} \times 60頁 \times 17件 = 510 (500)$
				2. / (特殊訳) $\frac{(480)}{500円} \times 50頁 \times 17件 = 425 (417)$
				3. 調査オリエンテーション講師謝金 $\frac{(1,570)}{1,530円} \times 2時間 \times 3人 \times 17件 = 166 (160)$
				4. 業務的委員会委員謝金(交通、運輸、水資源) $\frac{(1,450)}{1,510円} \times 5人 \times 3業種 \times 3回 = 68 (65)$
				5. プロジェクト選定委員会 $\frac{(1,450)}{1,510円} \times 5人 \times 3業種 \times 3回 = 68 (65)$
				6. コンサルタント選定委員会委員謝金 $\frac{(1,450)}{1,510円} \times 10人 \times 4回 = 60 (58)$
				7. 開発調査実績報告翻訳 $\frac{(1,090)}{1,120円} \times 50枚 = 56 (55)$
				合計 1 ~ 7 1,353 (1,320)
(目) 購買旅費	(365) 384	384	19 (0)	1. 調査団派遣打合せ $(8,667 + 3,734)円 \times 2回 \times 2.5件 \times \frac{1}{3} = 207 (207)$
				2. 調査団機材検収給付立合 $(8,667 + 3,734)円 \times 1回 \times 15件 \times \frac{1}{3} = 62 (62)$
				3. 地方団員打合出席旅費 $(8,667 + 3,734)円 \times 3人 \times 2回 = 74 (71)$
				4. 相手国関係者案内旅費

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基	礎
				$(8,669 + 3,734) \text{円} \times 1 \times 10 \text{冊} \times \frac{1}{5} =$	41 (41)
				合 計 1~4	384 (384)
(目) 方 費	(2,718) 2,861	2,979	118	1. 備 品 費	
				(1) キャビネット $(15,230)$ 16,520円 × 6 =	99 (94)
				(2) 地図整理棚 $(11,240)$ 11,800円 × 5 =	59 (56)
				(3) 備品補修費 $(3,740)$ 3,930円 × 30点 =	118 (112)
				計	276 (262)
				2. 印刷製本費	
				(1) 欧 文 $(3,740)$ 3,927円 × 1巻 × 14冊 =	55 (52)
				(2) 和 文 $(1,490)$ 1,565円 × 2巻 × 14冊 =	44 (42)
				(3) 地 図 $(4,450)$ 4,73円 × 10巻 × 14冊 =	66 (63)
				(4) トレーズ (84) $(1,490)$ 1,565円 × 30枚 =	47 (45)
				(5) 実行計画作成費 (120) 126円 × 10巻 × 10部 × 14冊 =	176 (168)
				(6) 各種統計作成費 (220) 231円 × 2巻 × 10部 × 14冊 =	65 (57)
				(7) 地図図面作成費 $(2,240)$ 2,352円 × 10巻 × 15冊 =	353 (336)
				(8) 資料作成費 (160) 168円 × 50部 × 7巻 × 15冊 =	882 (840)
				(9) 調査用手引作成費 (160) 168円 × 300冊 =	50 (48)
				(10) 開巻調査資料 (220) 231円 × 100部 × 4巻 =	92 (88)
				(11) 地図索引目録 $(1,150)$ 1,210円 × 100部 =	121 (115)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算	基礎
				計 (1) ~ (1)	1751 (1859)
				3. 交通費	
				(1) 調査前連絡 $\frac{444}{46円} \times 30回 \times 14件 =$	19 (18)
				$\frac{300}{375円} \times 20回 \times 14件 =$	88 (84)
				(2) 帰国後連絡 $\frac{444}{46円} \times 20回 \times 14件 =$	13 (12)
				$\frac{300}{375円} \times 15回 \times 14件 =$	66 (63)
				(3) プロジェクト調査連絡会 $\frac{300}{375円} \times 2回 \times 2人 \times 12月 =$	15 (14)
				計 (1) ~ (3)	201 (191)
				4. 会議費	
				(1) 調査日誌打ち合せ $220円 \times 10人 \times 10回 \times 14件 =$	308 (308)
				(2) 関係機関打ち合せ $220円 \times 10人 \times 14件 =$	31 (31)
				計 (1) ~ (2)	339 (339)
				5. 通信運搬費	
				調査報告書追加資料 $\frac{780}{820円} \times 20kg \times 11件 \times \frac{1}{5} =$	36 (34)
				6. 賃金	
				資料作成費 $\frac{2,570}{2,610円} \times 70日 \times 1人 =$	176 (176)
				合 計 1 ~ 6	2,979 (2,861)

(単位:千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増減額	表	算	基	礎
8. 保健医療協力業務経費							
(項) 業務経費	(2527) 2923	8106	183	全額ODA			
(目) 諸謝金	(1015) 1068	1112	44	委員会謝金 委員会	(2,180) $2,270円 \times 15人 \times 2回 \times \frac{1}{2} =$	314	(33)
				専門協会	(2,190) $2,270円 \times 15人 \times 6回 \times \frac{1}{2} =$	102	(98)
				専門家選打合せ謝金	(2,180) $2,270円 \times 3人 \times 68件 \times \frac{1}{10} =$	46	(44)
				打合せ会謝金	(1,810) $1,870円 \times 2回 \times 5件 =$	19	(18)
				壮健蓄成謝金	(1,450) $1,510円 \times 9棟 \times 28件 =$	381	(365)
				翻訳料	(490) $510円 \times 4頁 \times 10棟 \times 26件 =$	530	(510)
				計		1112	(1068)
(目) 職員旅費	(1894) 1994	1994	0	調査打合せ旅費(広島基準 5等級 2泊3日)	(2687 + 6,144)円 $\times 4人 \times 13件 \times \frac{1}{2} =$	206	(206)
				専門家選打合せ(大阪基準 3等級 3泊4日)	(2583 + 10,018)円 $\times 68件 \times \frac{1}{3} =$	399	(399)
				専門家採用打合せ旅費	(2583 + 10,018)円 $\times 68件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{5} =$	160	(160)
				専門家派遣連絡旅費	(2583 + 10,018)円 $\times 68件 \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{4} =$	200	(200)
				旅行機内施設演立合旅費	(2583 + 10,018)円 $\times 68件 \times \frac{1}{4} =$	300	(300)
				帰国専門家等特別会費出席旅費(大阪基準 3等級 3泊4日)	(2583 + 10,018)円 $\times 4人 =$	71	(71)
				旅行壮健蓄成打合せ旅費及び演立合(大阪基準 3等級 3泊4日)			

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算	対前年度比較増減額	積算	基礎
				$(2,583 + 1,018)円 \times 2種 \times 28件 \times \frac{1}{3} =$	658 (658)
				計	1,994 (1,994)
(目) 委員旅費	(740) 779	779	0	委員上京旅費(大阪基準 3等級 3泊4日)	
				委員会 $(10,956 + 8,517)円 \times 15人 \times 2回 \times \frac{1}{3} =$	195 (195)
				専門部会 $(10,956 + 8,517)円 \times 15人 \times 6回 \times \frac{1}{3} =$	584 (584)
				計	779 (779)
(目) 庁費	(3,878) 4,082	4,221	139	1. 印刷製本費	
				定期報告用紙作成 (160) $168円 \times 50部 \times 2種 \times 12月 =$	202 (192)
				調査印紙資料 (220) $23円 \times 30部 \times 3種 \times 8月 =$	166 (158)
				派遣計画書作成費 (150) $158円 \times 50部 \times 12月 =$	95 (90)
				人選打合せ資料 (160) $168円 \times 20部 \times 25種 =$	84 (80)
				専門業務報告書、事務連絡用紙 (150) $158円 \times 3冊 \times 3種 \times 13人 \times \frac{1}{2} =$	95 (90)
				委員会資料 (300) $315円 \times 20部 \times 8種 =$	50 (48)
				図面作成(トレース焼付) $(3,120)$ $3,276円 \times 10種 \times 2件 =$	66 (62)
				仕様書作成、和文 (70) $70円 \times 30枚 \times 5種 \times 6件 =$	63 (63)
				英文 (160) $168円 \times 30枚 \times 5種 \times 2件 =$	50 (48)
				インボイス・パッキングリスト (280) $399円 \times 10部 \times 2種 \times 30件 =$	239 (228)

(単位 円)

事項及び科目	前年度予算	本年度予算	対前年度比較 増△減額	積算	基礎	礎
				品目リスト	(300) 375円 × 2種 × 20部 × 30件 =	378 (360)
				調査資料	(300) 375円 × 20部 × 2種 × 28件 × 1/3 =	118 (112)
				計		1,606 (1,531)
				2. 通信運搬費		
				海外向	(140) 147円 × 130部 × 3回 =	57 (55)
				国内向	(24) 25円 × 300部 × 3回 =	23 (22)
				計		80 (77)
				3. 消耗品費		
				医学雑誌購入費	(2,600) 2,730円 × 6種 × 10冊 =	164 (156)
				4. 交通費		
				一般連絡 地下鉄	(50) 53円 × 1,370回 =	73 (69)
				自動車	(380) 399円 × 1,370回 =	547 (521)
				専門家送迎		
					(900) (160) (945 + 168)円 × 2 × (短期138人 + 長期85人 + 大学教授等25人) × 1/2 =	276 (262)
				空港送迎	(820) (110) (861 + 137)円 × 2 × 8件 × 2送迎 =	32 (30)
				計		928 (882)
				5. 会議費		
				施設利用打合せ	250円 × 10人 × 3回 × 13件 =	98 (98)
				専門家選打合せ	220円 × 10人 × 68件 × 1/3 =	50 (50)
				専門家派遣打合せ	150円 × 10人 × 48件 × 1/3 =	34 (34)
				専門家帰国報告会	150円 × 30人 × 90件 × 1/3 =	135 (135)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和47年度予算額	対前年度比較増△減額	積算	基礎	破
				専門家旅行費打合せ	$150円 \times 10人 \times 68件 \times \frac{1}{3} =$	34 (34)
				帰国専門家地域別会議	$400円 \times 30人 \times 3回 =$	37 (37)
					$400円 \times 150人 \times \frac{1}{3} =$	20 (20)
				仕様書打合せ	$150円 \times 10人 \times 2回 \times 28件 =$	84 (84)
				設計図仕様打合せ	$220円 \times 10人 \times 2回 \times 2件 =$	9 (9)
				機械調整打合せ	$150円 \times 10人 \times 28件 =$	42 (42)
				検査検査打合せ	$150円 \times 10人 \times 2回 \times 28件 =$	84 (84)
				委員会打合せ専門部会	$380円 \times 15人 \times 7回 =$	40 (40)
					計	667 (667)
				6. 図書購入費	(1880)	
				業務参考図書	$1524円 \times 40種 =$	79 (75)
				7. 賃 金	(2510)	
				資料作成個人	$2610円 \times 126日 \times 2人 \times 0.962 =$	633 (633)
				8. 備 品 費	(20460)	
				キャビネット	$21480円 \times 3台 =$	64 (61)
					合 計 / ~ 8	4,221 (4,082)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基 礎
2 製林業協力業務経費				
(項)業務諸費	(5,909) 6,220	6,382	162	全額ODA
(目)謝 謝 金	(1,127) 1,186	1,233	47	熱帯熱帯専門家謝金 (43,540) $45,590円 \times 5種 \times 3人 = 684 (658)$ 製林業協力委員謝金 (2,390) $2,490円 \times 10人 \times 4回 = 100 (96)$ 専門家選考謝金 (800) $830円 \times 5人 \times 5件 = 21 (20)$ 仕様書作成謝金 (2,390) $2,490円 \times 10種 \times 137プロジェクト = 324 (311)$ 翻訳謝金 (780) $800円 \times 10種 \times 137プロジェクト = 104 (101)$ 計 1,233 (1,186)
(目)職 買 旅 費	(1,090) 1,148	1,148	0	※産前連絡(広島基準 3等級、3泊4日) $(2,845円 + 2,950円) \times 3回 \times 10プロジェクト \times \frac{1}{3} = 198 (198)$ ※産打合調査検収等(広島基準 3等級 2泊3日) $(2,845円 + 2,950円) \times 4回 \times 12プロジェクト = 950 (950)$ 計 1,148 (1,148)
(目)庁 費	(3,692) 3,886	4,001	115	1. 交 通 費 一般事務連絡 (44) $46円 \times 40回 \times 12月 \times 2件 = 44 (42)$ (210) $221円 \times 50回 \times 12月 \times 2件 = 265 (252)$ 検収連絡 (380) $399円 \times 250回 = 100 (95)$ 計 409 (389) 2. 会 議 費

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	積算基礎
				派遣前打合せ国際報告会 150円×(20人×2回+30人×1回)×15件= 158(158)
				社務部作成打合せ 160円×10人×3回×13プロジェクト = 62(62)
				通関船積関係打合せ 160円×10人×(3×3)回×13プロジェクト = 187(187)
				船積関係打合せ 160円×10人×3回×13プロジェクト = 62(62)
				農薬委員会打合せ 160円×10人×3回×13プロジェクト = 62(62)
				要員募集関係説明会 220円×9人×6回 = 12(12)
				専門家帰国報告会 160円×20人×13回 = 42(42)
				計 585(585)
				3. 印刷製本費
				通関船積関係資料 (220) 231円×50部×2種×12プロジェクト外 = 277(277)
				社務部作成(和文) (210) 221円×50部×20プロジェクト外× $\frac{2}{3}$ = 147(147)
				社務部作成(英文) (410) 431円×30部×20プロジェクト外× $\frac{2}{3}$ = 172(172)
				品目リスト (330) 347円×30部×20プロジェクト外× $\frac{2}{3}$ = 139(139)
				図面作成 (2894) 3,025円×5巻×20プロジェクト外× $\frac{2}{3}$ = 202(193)
				通関船積関係 (550) 578円×3巻×200部 = 347(334)
				農薬委員会資料 (240) 252円×30部×4回 = 30(29)
				要員選考委員会資料 (240) 252円×50部×5巻 = 63(60)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算	昭和57年度 予算	対前年度比較 増△減	積算基礎
				定期報告書作成 $\frac{(290)}{305円} \times 150部 \times 5種 = 229 (218)$
				専門家手引作成 $\frac{(410)}{431円} \times 100部 = 43 (41)$
				計 284 (286)
4. 賃金				資料作成係人費 $\frac{(2510)}{2,610円} \times 99日 \times 4人 = 974 (994)$
5. 図書購入費				業務参考書 $\frac{(1650)}{1,233円} \times 5巻 \times 12プロジェクト = 164 (99)$
				農業専門図書 $\frac{(2470)}{2,574円} \times 5巻 \times 11プロジェクト = 143 (136)$
				計 247 (235)
6. 通信運搬費				図書資料海外送料 290円 $\times 5回 \times 11プロジェクト = 16 (16)$
7. 備品費				電子卓上計算機 $\frac{(96,000)}{100,800円} \times 1台 = 101 (96)$
				計 (1~7) 4,001 (3,886)

事項及び科目	前年度予算額	昭和三十七年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算	基礎
10. 産業関係協力業務経費					
(甲) 業務諸費	(2,746) 2,891	2,925	84	全般ODA	
(イ) 諸謝金	(295) 311	323	12	開発技術専門家謝金	(43,470) 45,210円 × 1人 × 4回 = 181 (174)
				専門家選考会議謝金	(720) 750円 × 5人 × 3件 = 11 (11)
				資料作成翻訳謝金	(360) 370円 × 10頁 × 10種 = 37 (36)
				仕様書作成謝金	(2,170) 2,260円 × 5巻 × 5件 = 57 (54)
				仕様書翻訳謝金	(710) 730円 × 10頁 × 5件 = 37 (36)
				計	323 (311)
(ロ) 職員旅費	(384) 404	404	0	(大阪基準 3等級)	
				機材調達等打合せ(2泊3日)	(2,769円 + 6,876円) × 9回 = 131 (131)
				機材調達等打合せ(2泊3日)	(2,769円 + 6,876円) × 9回 = 131 (131)
				機材調達等打合せ(3泊4日)	(2,769円 + 10,021円) × 8回 = 142 (142)
				計	404 (404)
(ハ) 庁費	(2,067) 2,126	2,248	22	1. 交通費	
				一般事務連絡	41円 × 300回 = 12 (12)
					(380) 377円 × 300回 = 120 (116)
				計	132 (126)
				2. 会議費	
				機材調達等打合せ	220円 × 10人 × 90回 = 198 (198)
				専門家報告会	380円 × 35人 × 1回 = 13 (13)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	算 基
				仕様書作成打合せ $220円 \times 10人 \times 25回 = 55 (55)$
				専門家会議打合せ $220円 \times 10人 \times 5回 = 22 (22)$
				計 288 (288)
				3. 印刷製本費
				湖池田池造計画書作成 $(160) 168円 \times 30部 \times 10種 = 50 (48)$
				仕様書編纂等作成 $(160) 168円 \times 30部 \times 20種 \times 4冊 = 403 (384)$
				指導用資料作成 $(230) 242円 \times 50部 \times 5種 \times 4冊 = 242 (230)$
				計 695 (662)
				4. 通信運搬費
				資料運送料 $(160) 168円 \times 60部 \times 3種 \times 7冊 = 212 (201)$
				5. 図書購入費
				専門図書 $(2240) 2352円 \times 10部 \times 8種 = 188 (199)$
				執務参考図書 $(1490) 1565円 \times 10種 = 16 (15)$
				計 204 (194)
				6. 備品費
				キャビネット等 275 (262)
				7. 賃金
				資料作成人費 $(2,510) 2,610円 \times 88日 \times 2人 = 442 (442)$
				合 計 (1 ~ 7) 2248 (2196)

(140)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算	昭和57年度 予算	対前年度比較 増△減額	概算 基礎
11. 開発協力業務経費				
(項) 業務諸費	(2,195) 2,311	2,371	△ 60	全額ODA
(目) 謝金	(416) 438	452	14	1. 資料翻訳料 英文和訳 (580) 800円 × 50頁 × 5冊 = 150 (145) 邦文和訳 (830) 850円 × 40頁 × 5冊 = 170 (166)
				2. 開発協力関係研修料 (2,540) 2,640円 × 5人 × 10回 = 132 (127)
				計 (1 + 2) 452 (438)
(目) 職員旅費	(202) 213	213	0	(大阪基準 3等級 3泊4日) 開発協力事業職員旅費 (2,325円 + 13,775円) × 10回 = 213 (213)
(目) 庶費	(1,577) 1,660	1,906	46	1. 図書購入費 洋書 (4,380) 4,600円 × 100部 = 460 (438) 和書 (2,190) 2,300円 × 100部 = 230 (219) 定期刊行物 (26,260) 27,570円 × 10部 = 276 (263) 計 966 (920)
				2. 印刷製本費 開発協力関係印刷物作成 21円 × 944枚 × 10巻 = 198 (198)
				3. 賃金 統計力一転記録機賃 (2,510) 2,610円 × 216人日 × 0.962 = 542 (512)
				合計 (1 ~ 3) 1,906 (1,660)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算 基礎
12. 開発投資業務経費				
(項) 業務諸費	(5,129) 5,451	5,650	199	全額ODA
(目) 諸謝金	(1,240) 1,726	1,790	64	融資審査技術顧問謝金 (42,350) 44,040円 × 13件 = 573 (551)
				資料翻訳料 (41,540) 42,790円 × 13件 = 556 (540)
				評価謝金 (211,730) 220,200円 × 3件 = 661 (635)
				計 1,790 (1,726)
(目) 旅費	(262) 276	276	0	開発投資打合せ(大阪基準 3席級 3泊4日) (2456円 + 13,274円) × 13回 = 276 (276)
(目) 広告費	(3,277) 3,449	3,584	135	1. 図書購入費
				専門書 (4,760) 5,000円 × 30巻 = 150 (143)
				法律書等一般書 (2,380) 2,500円 × 30巻 = 75 (71)
				外国文献購入 (4,760) 5,000円 × 50巻 = 250 (238)
				国内雑誌購入 (480) 504円 × 12冊 × 20巻 = 121 (115)
				外国雑誌購入 (950) 998円 × 12冊 × 10巻 = 120 (114)
				計 716 (681)
				2. 印刷製本費
				審査中間報告書 (540) 567円 × 80部 × 20冊 = 907 (864)
				審査報告書 (540) 567円 × 80部 × 20冊 = 907 (864)
				計 1,814 (1,728)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増△減額	算 算 基 礎
3. 交通費				
関係機関連絡				90円 × 400回 = 36 (36)
				(570) 200円 × 200回 = 120 (114)
計				156 (150)
4. 会議費				
振興費等打合せ				260円 × 20人 × 3回 × 12月 = 187 (187)
関係各省連絡打合せ				260円 × 20人 × 3回 × 12月 = 187 (187)
個別案件調整会議				240円 × 20件 × 3回 × 13人 = 203 (203)
関係機関等打合せ				240円 × 15ヶ所 × 20人 = 78 (78)
融資審査会議				260円 × 10人 × 2回 × 13件 = 68 (68)
計				723 (723)
5. 旅費及び送料				
関係機関等打合せ会場送料				
				(8,350) 8,220円 × 10ヶ所 × 2回 = 175 (167)
計				3,584 (3,449)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和67年度 予算額	対前年度比較 増△減額	概算	基礎
13、無償協力業務経費	(6,154) 6,478	2,658	180		
(項)業務諸費	(6,154) 6,478	2,658	180	全額ODA	
(目)謝金	(1,270) 1,295	1,337	44	(1) 資料翻訳料	(53,120) 54,770円 × 30冊 × 1/2 = 821 (797)
				(2) 調査資料収集、整理及び立案	518 (498)
				計	1,337 (1,295)
(目)職員旅費	(1,531) 1,611	1,211	0	(1) 関係機関打合せ旅費(大阪基準 3等級 3泊4日)	(21,112円 + 32,971円) × 20回 = 1,082 (1,082)
				(2) 被援助国政府職員同行旅費(立寄基準 4等級 5泊6日)	(29,978円 + 45,614円) × 7回 = 527 (527)
				計 (1) + (2)	1,611 (1,611)
(目)庁費	(3,393) 3,572	3,708	136	(1) 交通費	
				関係機関連絡	(150) 158円 × 4回 × 12月 × 25件 = 190 (180)
				計	1,680円 × 2回 × 12月 × 25件 = 1,008 (960)
				(2) 図書購入費	
				専門書	(6,160) 6,470円 × 10冊 = 65 (62)
				法律等一般書	(3,080) 3,230円 × 10冊 = 32 (31)
				外国文献	(6,160) 6,470円 × 20冊 = 129 (123)
				国内雑誌	(410) 640円 × 12月 × 10冊 = 77 (73)

(14)

(単位: 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較差△減額	概算	基礎	
				外国雑誌	$\frac{(1840)}{1930円} \times 12月 \times 10部 = 232$	(221)
				計		535 (510)
				(3) 印刷製本費		
				業務資料の作成	$\frac{(450)}{283円} \times 80部 \times 20件 = 1,073$	(1,040)
				(4) 会議費		
				関係各室打合せ	$280円 \times 20人 \times 2回 \times 30件 = 280$	(280)
				関係各課打合せ	$280円 \times 10人 \times 1回 \times 30件 = 70$	(70)
				計		350 (350)
				(5) 賃金		
				臨時雇員	$\frac{(2,510)}{2,610円} \times 2人 \times \frac{(106)}{106日} = 532$	(532)
				合計	(1) ~ (5)	3,708 (3,572)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比較増△減額	備 考 基 礎
14. 特殊機材仕様書作成業務経費	(18,471) 19,443	20,041	598	金額 0 DA
(項) 業務経費	(18,471) 19,443	20,041	598	
(目) 諸謝金	(14,651) 15,422	15,862	440	1. 特別発注機材仕様書作成のための実地設計作業費 $\frac{(3,157,570)}{2,904,720 \text{円}} \times \frac{(160)}{175 \text{件}} \times \frac{1}{40} = 12,708.150 \text{円}$ $= 12,708 (12,630)$ 175件の内訳 { センタ- 21, 機械試与 64, 濃林 42 保健医療 37, 産業関係 11 (単価内訳) (1) 直接人件費 主任技師 $\frac{(32,400)}{34,000 \text{円}} \times \frac{(23)}{20 \text{日}} \times \frac{(745,200)}{1 \text{人日}} = 680,000 \text{円}$ 技師 A $\frac{(27,810)}{29,700 \text{円}} \times \frac{(23)}{20 \text{日}} \times \frac{(639,699)}{1 \text{人日}} = 594,000 \text{円}$ 計 1,274,000円 (1,384,899) (2) 諸経費 $\frac{(1,384,899)}{1,274,000 \text{円}} \times \frac{90}{100} = 1,146,600 \text{円}$ (3) 技術経費 $\frac{(1,384,899)}{1,274,000 \text{円} + 1,146,600 \text{円}} \times \frac{20}{100} = 484,120 \text{円}$ 単価合計 (1) ~ (3) 2,904,720円 (3,157,570) 2. 仕様書作成経費 (1) 仕様書作成料金 $\frac{(3,260)}{3,990 \text{円}} \times 5 \text{種} \times \frac{(160)}{175 \text{件}} \times \frac{1}{4} = 742 (652)$ (2) 仕様書印刷料 $\frac{(53,510)}{55,120 \text{円}} \times \frac{(160)}{175 \text{件}} \times \frac{1}{4} = 2,412 (2,110)$

(146)

審 査 仮 び 科 目	前年度予算額	昭和57年度 予 算 額	対前年度比較 増△減額	基 礎	(単位:千円)
				計 (1) + (2)	3,154 (2,792)
				合 計 1 + 2	15,862 (15,122)
(目)職 員 旅 費	(1,807) 1,804	1,904	0	(大阪基準 4泊5日 3等級)	
				(1) 機材検取 (2,605 + 16,992)円 × 58件 =	1,427 (1,427)
				(2) 船積立会 23,855円 × 20件 =	477 (477)
				計 (1) + (2)	1,904 (1,904)
(目)庁 費	(2,011) 2,117	2,275	158	1. 交 通 費	
				機材検取 (230)	
				242円 × 20人 × 4回 × 12月 =	232 (221)
				2. 会 議 費	
				(1) 機材検取打合せ 370円 × 10人 × 50回 =	185 (185)
				(2) 仕訳打合せ 370円 × 12人 × 10回 =	44 (44)
				計 (1) + (2)	229 (229)
				3. 賃 金	
				臨時減賃 (2,519)	
				2,610円 × 223日 × 0.962 =	560 (560)
				4. 図 書 購 入 費	
				(1) 専 門 書 (5,200)	
				5,460円 × 10種 =	55 (52)
				(2) 一 般 書 (1,100)	
				1,160円 × 8種 =	9 (9)
				計 (1) + (2)	64 (61)
				5. 備 品 費	
				ガラス書庫 (18,000)	
				50,400円 × 2台 =	101 (96)
				6. 消 耗 品 費	
				フイル 60円 × 500枚 =	30 (30)
				7. 印 刷 製 本 費	
				検取目リスト (1,130)	
				1,210円 × 106部 × 175冊 × $\frac{1}{20}$ =	1,059 (920)
				合 計 1 ~ 7	2,275 (2,117)

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	見直し予算額	対前年度比較増△減額	積算基礎
15. 地域別・国別調査及び 評価に必要経費	0	3,011	3,011	全額ODA
(1) 国別資料作成経費				
(項) 業務諸費	0	536	536	
(目) 印刷製本費	0	536	536	(1) 印刷製本費 国別資料作成費 100円 × 450部 × 10回 = 450千円
				(2) 通信運搬費 通信運搬費 2,250円 × 6回 = 14千円
				(3) 会議費 資料作成検討会 200円 × 10人 × 6回 × 6回 = 72千円
				計 (1) ~ (3) 536千円
(2) 国別委員会経費				
(項) 業務諸費	0	1,785	1,785	
(目) 諸謝金	0	212	212	(1) 委員謝金 2,000円 × 7人 × 4回 × 2回 = 112千円
				(2) 調査資料等作成謝金 500円 × 100枚 × 2回 = 100千円
				計 (1) + (2) 212千円
(目) 委員旅費	0	848	848	奈良上京旅費 (大阪基準 3等級 2泊3日) {(2,200円 + 4,200円) × 2 + 1,900円 × 3日 + 990円 × 2泊} × 3人 × 3回 × 2回 = 848千円
(目) 印刷製本費	0	225	225	(1) 印刷製本費 (i) 委員会資料 150円 × 50部 × 4回 × 2委員会 = 60千円 (ii) 委員会報告書 300円 × 50部 × 2委員会 = 30千円

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度予算額	対前年度比増減額	演算基礎
				(iii) 報告書作成 $500円 \times 100部 \times 2委員会 = 100千円$
				(iv) 調査費作成費 $250円 \times 100部 \times 2部 = 50千円$
				計 (i) ~ (iv) = 240千円
				(2) 通信運搬費
				通局連絡費 $1,500円 \times 8回 = 14千円$
				(3) 図書購入費
				研究図書 $1,800円 \times 10冊 \times 2回 = 36千円$
				(4) 会議費
				(i) 委員会 $300円 \times 15人 \times 4回 \times 2委員会 = 36千円$
				(ii) 研究懇談会 $300円 \times 20人 \times 2回 = 12千円$
				小計 (i) + (ii) = 48千円
				(5) 賃金
				臨時雇員 $2,610円 \times 2人 \times 77日 \times 0.962 = 387千円$
				合計 (1) ~ (5) = 225千円
(3) 調査調整に必要経費				
(甲) 業務諸費	0	690	690	
(甲) 謝金	0	120	120	個別情報入手 $2,000円 \times 3時間 \times 20人 = 120千円$
(甲) 旅費	0	142	142	会議打合せ費 (大阪基準、3等級、2泊3日) $\{ (2,200円 + 4,600円) \times 2 + 1,900円 \times 3日 + 7,900円 \times 2泊 \}$ $\times 3人 = 142千円$
(甲) 印刷費	0	428	428	(1) 印刷製本費
				調査報告書作成費 $200円 \times 100部 \times 10冊 = 200千円$
				(2) 通信運搬費 $2,000円 \times 10冊 = 20千円$

(単位 千円)

事項及び科目	前年度予算額	昭和57年度 予算額	対前年度比 増△減額	説明 算式 基礎
				<p>(3) 会議費 出張前・帰国後打合 $300円 \times 10人 \times 5回 = 15千円$</p> <p>(4) 賃金 臨時雇員 $2,670円 \times 1人 \times 77日 \times 0.262 = 193千円$</p> <p>小計 (1) ~ (4) = 1,128千円</p>